intuos 4



ユーザーズガイド
for Windows® / Macintosh®

製品の保証についてのお願い

保証規定をよくお読みになり、お買い上げから 1 年間は保証書を保管してください。保証書に販売店による記入がない場合は、直ちに販売店にお申し出になるか、ご購入時の領収書（またはその写し）を保証書に添付して保管してください。保証書に、販売店による記入も領収書の添付もない場合は、保証書が無効になります。

電波障害自主規制等について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受像器に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

商標について

Wacom、Intuos は、株式会社ワコムの登録商標です。

Adobe、Acrobat、Adobe Reader、Photoshop は、アドビシステムズ社の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Apple、Apple ロゴ、Macintosh は、米国およびその他の国で登録されたアップルコンピュータ社の登録商標です。

Windows は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の会社名、および製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。なお、本文中では「TM」「®」マークを表記しておりません。

著作権について

付属のタブレットドライバの著作権は、株式会社ワコムにあります。

タブレットドライバ、および本書の内容の一部または全部を、無断で複製、転載することは禁止されています。

タブレットドライバを含む本製品の仕様、および本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

Intuos® 4 ユーザーズガイド for Windows®/Macintosh®
Version 2.0, Rev G2209

上記の年は、このマニュアルが作成された年を示しています。
しかしながら、マニュアルがユーザに公開される日は、該当するワコム製品が市場に導入される時と同時です。

目　次

本書について

本書は、Intuos4 の使い方や機能について説明しています。本書に記載される情報は、Windows と Macintosh コンピュータに共通するもので、特に指定のない限り、Windows の画面を使用しています。

- 目次または索引で項目をクリックすると、その項目に移動することができます。
- Intuos4 を使うでは、Intuos4 の使い方を習得します。タブレットの様々な機能、Intuos4 の各入力デバイスの特徴と機能を説明するとともに、初めてお使いになるユーザ向けの練習についても説明します。
- Intuos4 をカスタマイズするでは、作業しやすいように Intuos4 を最適化する方法を説明します。
- トラブルシューティングでは、タブレットと入力デバイスのテストおよびトラブルシューティングの情報が記載されています。トラブルシューティング情報 では、よくある質問に対する回答が掲載されています。
- 付録には、タブレットとそのほかの機器のお手入れについて、ソフトウェアのアンインストール方法、ライセンスなど様々な情報が掲載されています。また、AutoCAD で作業するときに役立つ情報や、Windows Vista におけるペンとデジタルインク機能についても説明しています。

補足：本書では、タブレットドライバのインストールに関する情報は、記載しておりません。タブレットドライバのインストールについては、製品に付属する「クイックスタートガイド」、およびタブレットドライバ CD に収録の自動ソフトウェアインストーラを参照してください。

オンラインマニュアルを初めて利用する場合、本書の使い方を読んで確認してください。

- ダイアログボックス、コントロールパネルなどのオプションの名前は、「　」で囲んで表示しています。
- 画面でマニュアルを拡大するには、ビューアのズームインツールを使用してください。
- 特定のコンピュータハードウェア、オペレーティングシステム、ソフトウェアに関する情報は、この製品には含まれておりません。これらの情報については、ハードウェア、オペレーティングシステム、アプリケーションに付属するマニュアルをお読みください。
- Intuos4 の機能（筆圧、傾き、消しゴム機能など）は、多くのソフトウェアでサポートされています。これらのソフトウェアで、Intuos4 の機能を最大限に活用する方法については、各ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。製品情報もご覧ください。

タブレットドライバおよび本製品の仕様、および本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

本書の使い方

本書の中を移動するには、次のボタンやテキストをクリックします。

	表紙へ移動します。
目次	目次のはじめへ移動します。
索引	索引のはじめへ移動します。
	見た順に表示を戻ります。
	ページ番号順に戻ったり、進んだりします。
トピック	トピックへ移動します。
	次のトピックへ進みます。

Adobe Reader には、本書の使用および印刷のための追加的なツールが用意されています。使い方については、Adobe Reader のヘルプをご覧ください。

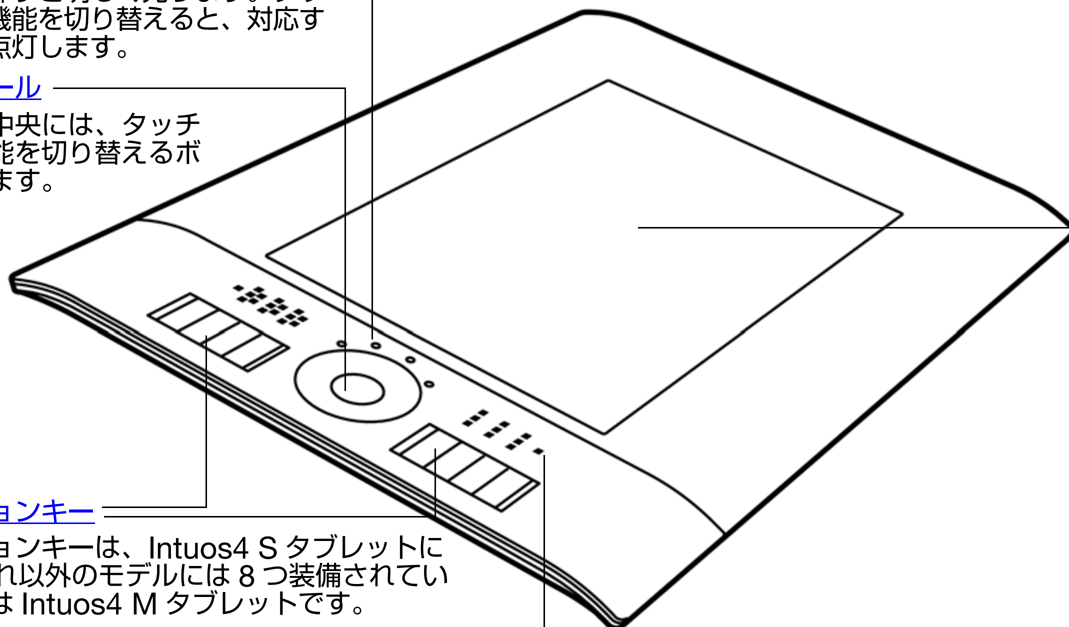
Intuos4 を使う

このセクションでは、Intuos4 ペンタブレットについて紹介します。

Intuos4 は、作業エリアとして使用するタブレットと、タブレット上で使用するペンやマウスで構成されています。

ペンタブレットを初めて使う場合は、次のセクションをお読みになり、Intuos4 ペンタブレットおよび入力デバイスの使い方を習得してください。

タブレットの機能



ステータスランプ

電源がオンになると、ランプの 1 つがほんのり明るくなります。ペンやマウスのスイッチを押すと明るく光ります。タッチホイール機能を切り替えると、対応するランプが点灯します。

タッチホイール

ホイールの中央には、タッチホイール機能を切り替えるボタンがあります。

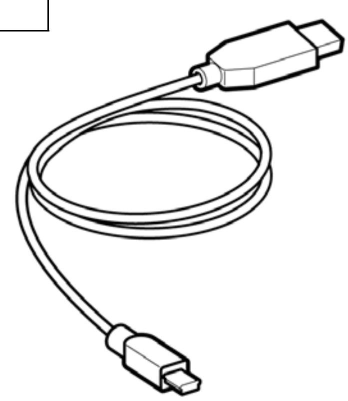
ファンクションキー

ファンクションキーは、Intuos4 S タブレットには 6 つ、それ以外のモデルには 8 つ装備されています。右図は Intuos4 M タブレットです。

ファンクションディスプレイ

現在のファンクションキーの設定を表示します。

Intuos4 S タブレットには、ファンクションディスプレイは装備されていません。



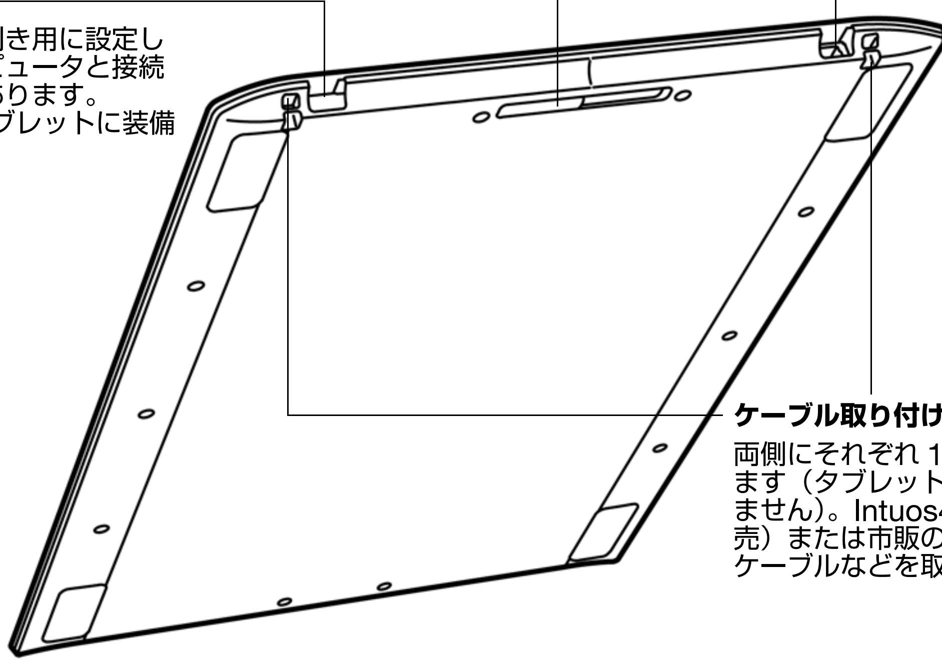
USB **接続ケーブル**

Intuos4 S/M/L タブレットでは、ケーブルの取り外しが可能です。

Intuos4 S タブレットには 2 本のケーブルが付属しています。右利きまたは左利き用にタブレットを設定し、それに合わせてどちらかのケーブルを接続します。

Intuos4 XL タブレットのケーブルはタブレットに直付けになっています。

USB 接続ケーブルの接続もご覧ください。



USB ポート
タブレットを右利き用に設定したときに、コンピュータと接続しやすい位置にあります。Intuos4 M/L タブレットに装備されています。

USB ポートアクセススライダ
スライダを動かしてカバーをスライドさせ、適切な USB ポートを選択します。タブレットの向きを設定するをご覧ください。

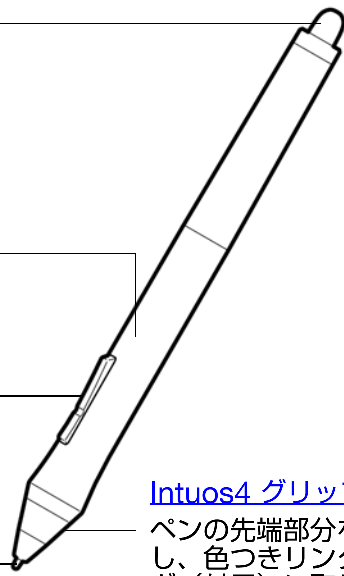
重要：Intuos4 S タブレットには USB ポートは 1 つだけ装備されています。アクセスカバーはありません。Intuos4 XL タブレットは USB 接続ケーブルが直付けのため、USB ポートはありません。

USB ポート
タブレットを左利き用に設定したときに、コンピュータと接続しやすい位置にあります。Intuos4 M/L タブレットに装備されています。

ケーブル取り付け穴
両側にそれぞれ 1 つずつ付いています（タブレット表面側からは見えません）。Intuos4 のペンひも（別売）または市販のセキュリティーケーブルなどを取り付けられます。

ペン、マウス、ペンスタンド

Intuos4 の入力デバイスはコードレスで、電池は不要です。各デバイスにはそれぞれ固有の Intuos4 デバイス ID が書き込まれています。デバイス ID により、複数のペンやマウスに個別の設定をすることができます。



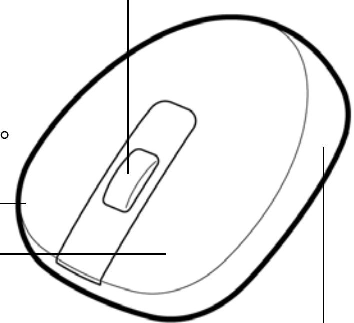
テールスイッチ
（消しゴム）

ラバーグリップ
（交換可能）

サイドスイッチ
（取り外しできます）

芯
（交換可能）

Intuos4 グリップペン
ペンの先端部分を回して軸から外し、色つきリングを他の色のリング（付属）に取り替えることができます。ペンを個別に識別できるようになります。



ホイール

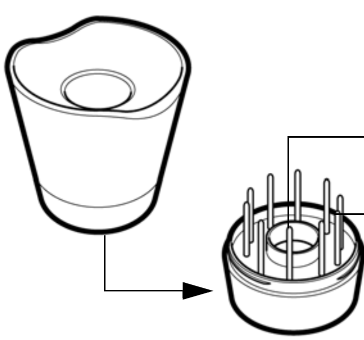
ボタン
カスタマイズできます。

Intuos4 マウス

補足：

- 製品構成によっては、マウスが同梱されている場合があります。
- Intuos4 XL タブレットには、製品構成によっては、Intuos4 グリップペンの代わりに Intuos4 レンズカーソルが同梱されている場合があります。

ペンスタンド
ペンスタンドの下部を回して外し、芯抜きと交換用の芯を取り出すことができます。



芯抜き

交換用の芯

- 標準芯（5 本、黒色）
- ハードフェルト芯（3 本、グレー）
- エラストマー芯
（1 本、中心が白色、外縁が黒色）
- ストローク芯（1 本、白色、バネ付き）

その他ペンやマウス、オプション品の情報については部品と付属品の注文をご覧ください。

姿勢と作業環境を整える

疲労が軽減するように、作業環境を整えて楽に作業できるようにしてください。タブレット、入力デバイス、キーボードを手の届きやすい場所に配置してください。目を疲れさせずに、楽に見ることができるような場所へディスプレイを置いてください。画面のポインタがタブレット上の手の動きと同じ方向へ移動するようにタブレットを置いてください。



- 作業の合間に休憩をとり、筋肉を伸ばしたり、リラックスさせてください。
- ペンやマウスを持つときはなるべく力を抜いてください。
- １日のうちで性質の異なる作業を入れ替えて行い、入力デバイスも持ち替えてください。
- 不快感を伴う不自然な姿勢や、反復動作を控えてください。
- 作業姿勢に不快感を感じたら、姿勢を変えてください。

右手でお使いになる場合、タブレットの操作エリアがファンクションキーの右側にくるようにタブレットを置きます。左手でお使いになる場合、タブレットの操作エリアがファンクションキーの左側にくるようにタブレットを置きます。詳細については、タブレットの向きを設定するをご覧ください。

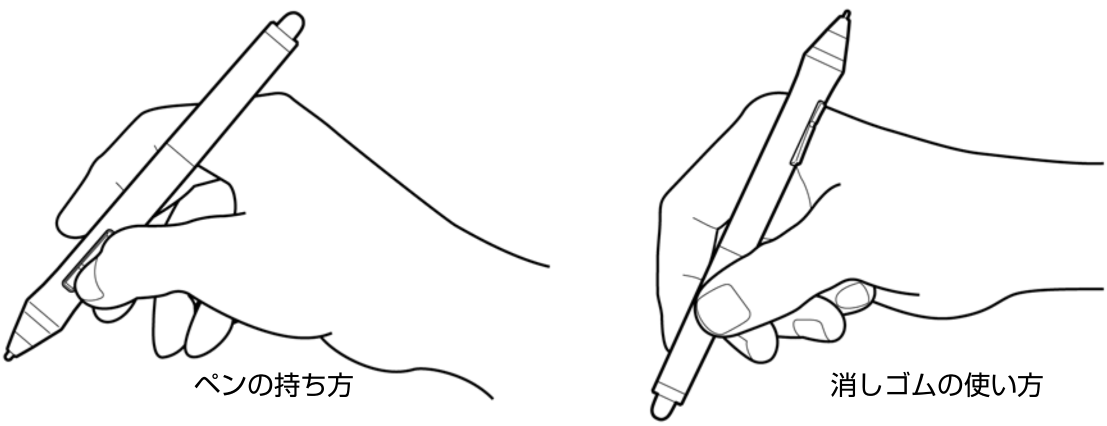
補足：Intuos4 が原因と思われる反復性ストレスの徴候、障害、あるいは症状についての治療や予防の説明、約束、保証はいたしかねます。必ず医師の診断を受け、適切な処置をとるようにしてください。

ペンを使う

ペンの基本的な使い方は、ポインタの移動、クリック、ダブルクリック、ドラッグの４つです。ペンを使うことに慣れていない場合は、次のページからの練習を行ってください。

ペンの持ち方

鉛筆やボールペンと同じようにお持ちください。サイドスイッチが、親指、または人差し指で押せるような位置にあることを確認してください。ペンで線を引いたり位置を決めたりするときに誤ってサイドスイッチを押さないようにしてください。最も描きやすい角度にペンを傾けてご使用ください。

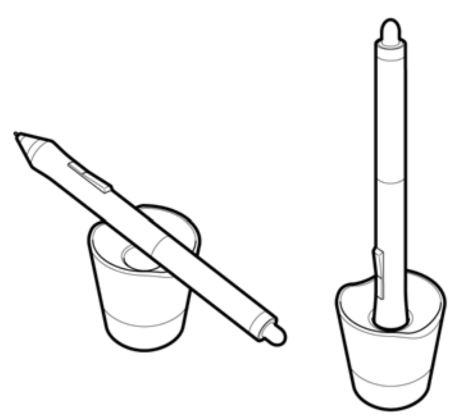


ペンの持ち方　　　消しゴムの使い方

タブレットからすぐ手の届くところにペンスタンドを置いてください。ペンスタンドには、ペンを立てるか横にして置いておくことができます。

重要：Intuos4 ペンを使用しない場合、ペンスタンドに置くか、または机の上にペンを横にして置いてください。ペンの感度を保つためには、ペン先や消しゴムが押されてしまうような入れ物でペンを保管しないでください。ペン先や消しゴムが押された状態でペンを収納すると、故障する場合があります。

Intuos4 入力デバイスをタブレット上に置いたままにすると、通常のマウスなどを使用する際、画面上のポインタの位置決めができなくなる場合があります。また、コンピュータがスリープしなくなる場合があります。

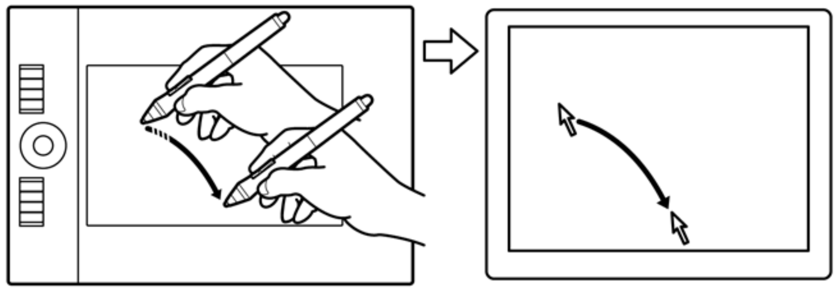


ポインタの移動

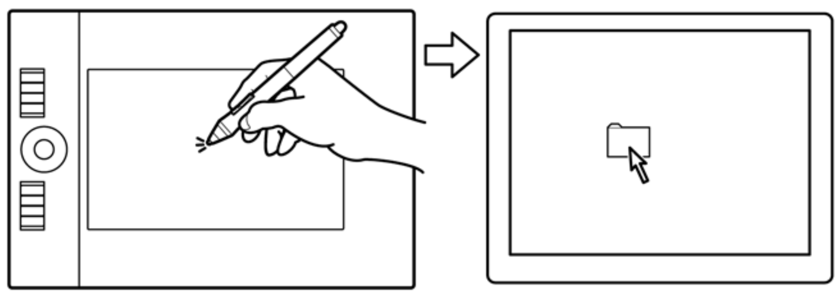
画面にポインタ（またはカーソル）を置きます。

タブレットの操作エリアで、ペンを少し持ち上げて、ペン先を移動させます。画面上のポインタがペン先の移動に合わせて、移動します。

タブレットの操作エリアについてをご覧ください。



デスクトップ上のアイコンやフォルダを選択するには、ペンでポインタを操作してオブジェクトの上に置き、そのまま押します。

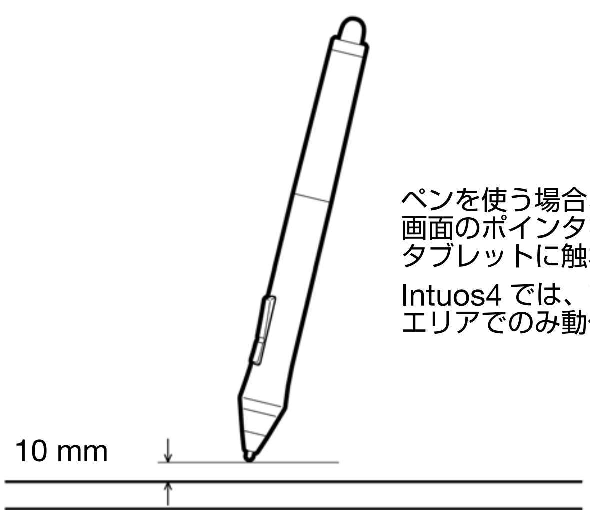


ヒント：

- ペンによる操作に少し違和感がある場合、画面を見ながらペンを使うを参照してください。
- 画面のポインタが、タブレット上の手の動きと同じ方向へ移動するようにタブレットを置くと、ポインタを簡単に操作できるようになります。

画面のポインタは、絶対位置 (ペンモード) または相対位置 (マウスモード) のどちらかで配置できます。

- ペンモードでは、タブレットの操作エリアは、コンピュータ画面に割り当てた表示部と一致します。タブレットにペンを置くと、画面のポインタは画面上の対応する点にジャンプします。これはペンの標準設定です。
- マウスモードでは、通常のマウスのように、動いた方向と距離に応じてポインタが移動します。これは Intuos4 マウスの標準設定です。



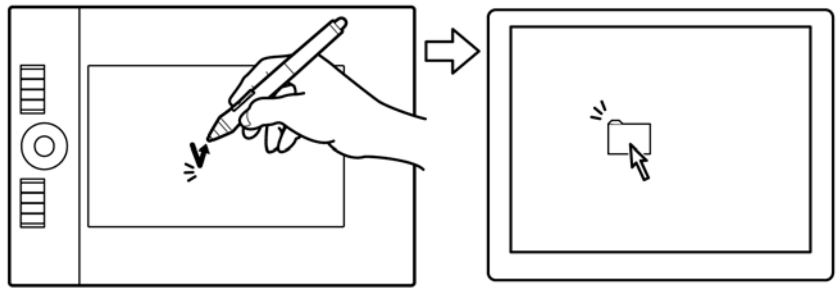
ペンを使う場合、ペン先をタブレット面から 10mm 以内に近づけます。画面のポインタを移動させたり、サイドスイッチを使用するのにペン先でタブレットに触れる必要はありません。

Intuos4 では、マウスを含むすべての入力デバイスは、タブレットの操作エリアでのみ動作します。

クリック

画面上にあるものをハイライトさせたり、または選択する場合、クリックします。開くにはダブルクリックします。

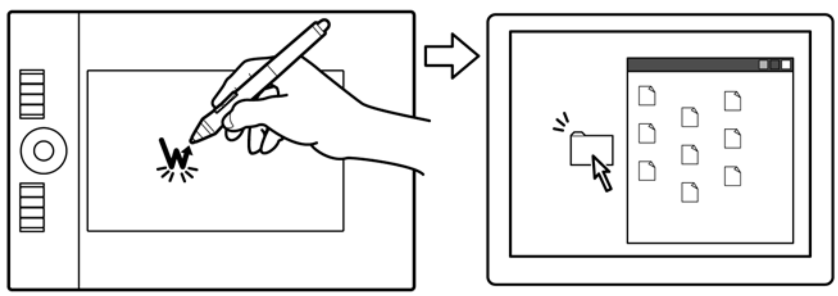
クリック：クリックするには、タブレットを１度ペン先で軽くたたきます。または、強めにタブレットにペン先を押し当てます（ペン先のクリック音は聞こえません）。フォルダアイコン上に画面のポインタを移動させ、ペン先を押してアイコンをクリックしてみてください。フォルダアイコンを押すと、ハイライトされます。



ヒント : ペンをアイコン上に移動した後、シングルクリックでアイコンを起動するように Windows を設定することができます。この機能を使用するには、フォルダを開いて、以下の設定を行なってください。

- Windows Vista の場合 :「整理」プルダウンメニューから、「フォルダと検索のオプション ...」を選択します。「全般」タブで、「ポイントして選択し、シングルクリックで開く」を選択します。
- Windows XP の場合：任意のフォルダを開いて「ツール」メニューを選択し、プルダウンメニューから「フォルダオプション」を選択します。「全般」タブの「クリック方法」から「ポイントして選択し、シングルクリックで開く」を選択します。

ダブルクリック：ダブルクリックするには、ペン先で同じ場所を短く２回たたきます。マウスボタンで２回クリックするのと同じです。フォルダアイコンをダブルクリックして、開いてみてください。

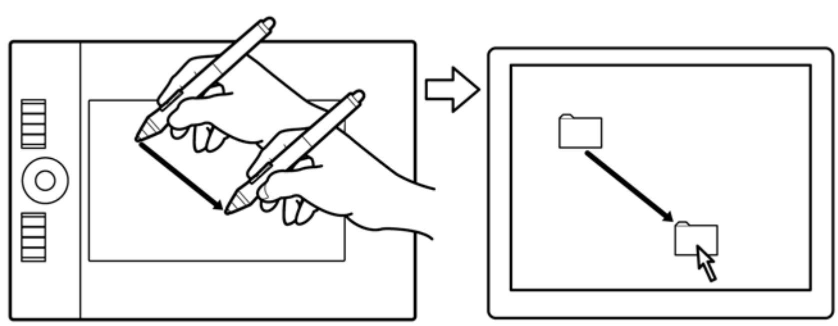


ヒント : 上側のサイドスイッチを押すと、ペン先で２回タブレットをたたくよりも簡単にダブルクリックすることができます。

ドラッグ

ペンで画面上のオブジェクトをドラッグするには、オブジェクトを指定してから、ペン先をタブレットに押し当てます。次に、タブレット面の上を滑るように移動させます。選択したオブジェクトは、画面上を移動します。

テキストを選択するには、画面のポインタを行の開始位置に移動させます。次にタブレット上でペンをドラッグさせ、テキストをハイライトします。



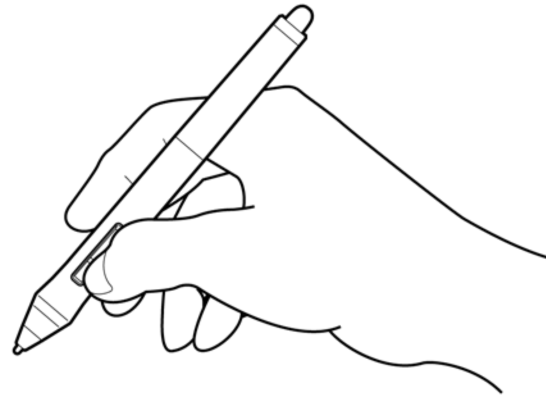
サイドスイッチを使う

Intuos4 グリップペンにはカスタマイズできる２種類の機能を備えたサイドスイッチが装備されています。スイッチをいずれかの方向に押して、機能を切り替えます。

補足：ペン先がタブレットの操作エリアから高さ 10mm 以内にある場合に、サイドスイッチを使用することができます。ペン先がタブレットに触れていなくても、サイドスイッチは使用できます。

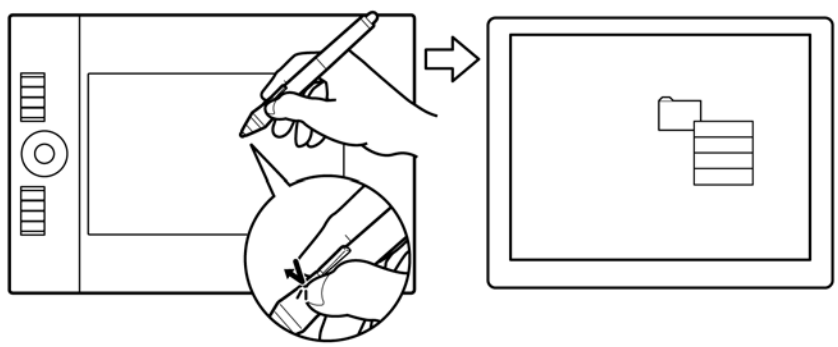
サイドスイッチの標準設定

上側：	「ダブルクリック」
下側：	「右ボタンクリック」



ダブルクリック：ダブルクリックするには、上側のサイドスイッチを押します。ペン先で２度タブレットの面をたたく方法よりも簡単に、ダブルクリック操作を行うことができます。

右クリック：特定のソフトウェア、または特定のアイコンのメニューを表示させるには、右クリックを使います。



新しいスイッチ機能を割り当てるには、サイドスイッチのカスタマイズをご覧ください。

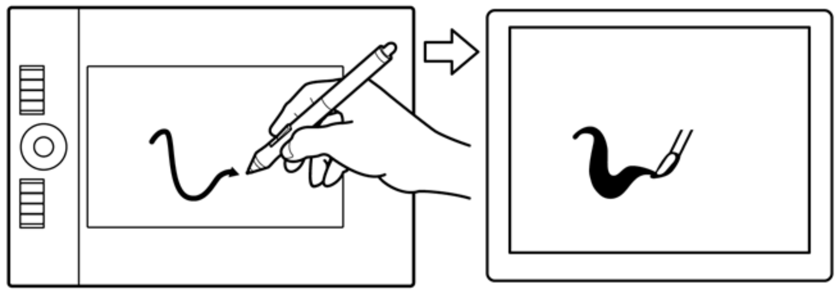
筆圧を使って描画する

Intuos4 ペンは手の動きに応じて、ペンとブラシのストロークを作成できます。多くのグラフィックソフトウェアには、ペンに加えられた筆圧に反応する描画機能が備わっています。Microsoft Windows Vista と Office 2007 のデジタルインク機能も筆圧に反応します。

筆圧を利用して描画するには、初めにソフトウェアのツールパレットから筆圧ツールを選択します。次にペン先を下向きにして筆圧にかける荷重をいろいろ変えながら、タブレット面に描画します。太い線や濃い色を描くには、ペンを強めに押します。細い線や薄い色を描くには、ペンを柔らかく押します。

ペン先の感触を調整するには、ペン先の感触とダブルクリックの調整をご覧ください。

筆圧をサポートするグラフィックソフトウェアについては、ワコムのホームページをご覧ください。本書の製品情報もご覧ください。



ペンを傾けて描画する

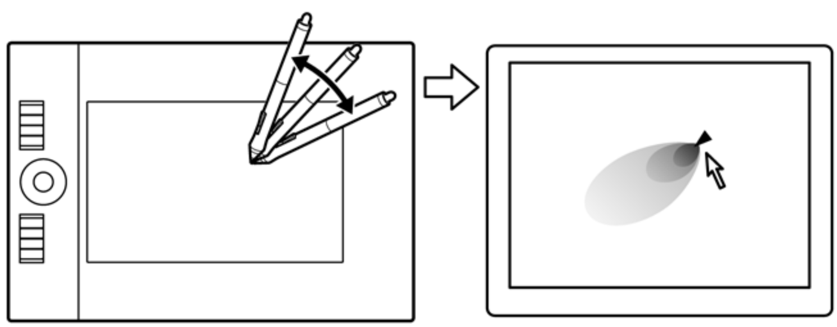
ペンを垂直位置から傾けると、タブレットがこれを認識します。グラフィックソフトウェアのなかには、線の形や太さのコントロールに傾きを使用できるものがあります。これは、ペンを傾けた場合は線が太くなり、ペンを垂直にすると線が細くなるエアブラシと同じような機能です。ソフトウェアによっては、傾きを調整することで、ブラシの太さ、色、不透明度といった特性を決めることができます。

傾きをテストするには、傾きをサポートするPainterなどのようなグラフィックソフトウェアで曲線を描いてみてください。ソフトウェアの傾き認識機能が有効であることを確認し、次にブラシで線を描きながらペンの傾きを変えて、線の形や太さが変わることを確認します。

例として、Photoshop でブラシの形を傾きに対応するように構成した場合、ペンを傾けることにより長く引き伸ばされたパターンが作成できます。これにより、塗面から角度が付いたエアブラシのスプレー効果をシミュレートすることができます。

使用するソフトウェアで、ペンの傾き加減を調整するには、傾き感度のカスタマイズをご覧ください。

傾きをサポートするソフトウェアについては、製品情報をご覧ください。



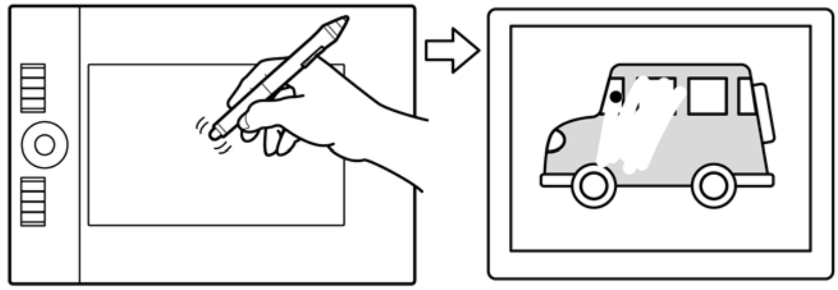
消しゴム

Intuos4 ペンのテールスイッチ（消しゴム）は、鉛筆の消しゴムのように働きます。

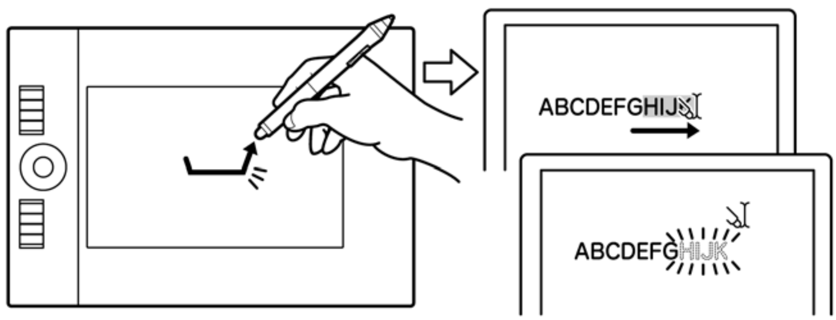
消しゴム機能をサポートするグラフィックソフトウェアでは、直感的に消すことができます。ペンのテールスイッチを使うと、自動的に消しゴムツールに切り替わります。

筆圧をサポートするソフトウェアで、ツールパレットから筆圧感度ツールを選択すると、ペンの筆圧変更と同様に、消す範囲の幅と強さを変化させることができます。

消しゴム機能の使用については、消しゴムの感触を調整するをご覧ください。



Microsoft Windows Vista と Office 2007 では、デジタルインクによるメモやスケッチを削除する場合や、Office でのテキストや表計算セルを選択・削除する場合に、消しゴム機能を使うことができます。

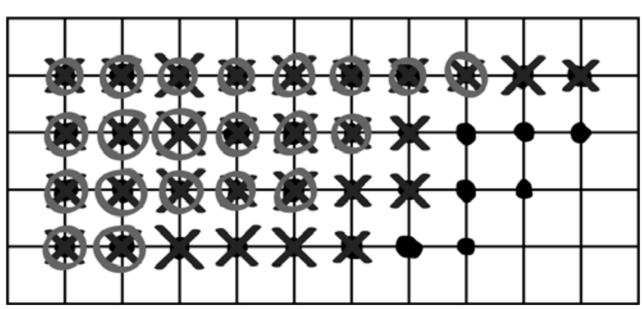


消しゴム機能をサポートするグラフィックソフトウェアのリストについては、ワコムのホームページをご覧ください。消しゴム機能がサポートされていないソフトウェアでも、ポインタの移動や、線引き、アノテーション（書き込み）には、消しゴム機能を使うことができます。

画面を見ながらペンを使う

この練習は、ペンを使用するために、目と手の連動に慣れるために作られています。

1. グラフィックソフトウェアを開きます。線ツールを使って 2 ～ 2.5cm の間隔で格子を描きます。マウスを使ってもよいでしょう。
2. フリーハンドツールを選択して、格子の交点にペンで点を打ちます。
3. 格子の交点にペンで X 印をつけます。
4. 最後に、格子の交点を○で囲んでください。下の図のようになります。

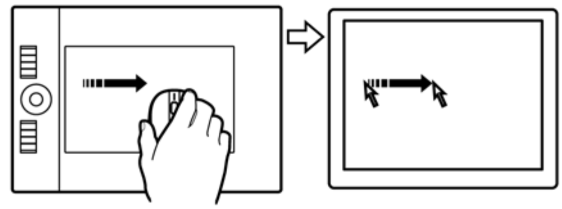


5. 今度は、画面をクリアして好きな絵を描いてみてください。ペンを使うほど、絵を描いたりポインタを操作することが楽になっていきます。

マウスを使う

Intuos4 マウスはコードレスで、電池も使いません。Intuos4 タブレット上で動作します。

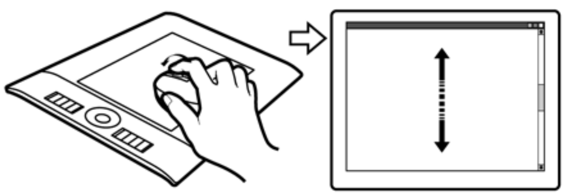
注意：製品構成によってはマウスが付属していません。



ホイール

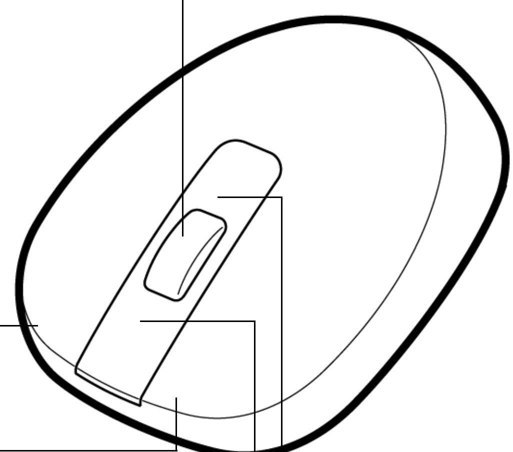
ホイールは、回すことと、押すことができます。

- ホイールを回すと、ほとんどのウィンドウとソフトウェアでスクロールすることができます。ホイールを手前に回すと下方向に、逆に回すと上方向にスクロールします。



- ホイールを押すと、「中ボタンクリック」が実行されます。

ヒント：ホイールマウスをサポートする Microsoft Office では、［Ctrl］キーを押しながらホイールを回転させると、ズーム操作を実行することができます。



右ボタン

押すと、コンテキストメニューが表示されます。

左ボタン

標準設定で「クリック」が設定されています。オブジェクトの選択で使用します。

奥と手前のボタン

インターネットブラウザの「進む」と「戻る」に相当します。

マウスボタンの標準設定

左ボタン：	「クリック」
右ボタン：	「右ボタンクリック」
中ボタン：	「中ボタンクリック」
奥：	「進む」
手前：	「戻る」

重要：Intuos4 マウスを使用しないときは、机の上に置いてください。Intuos4 入力デバイスをタブレットの上に置いたままにすると、通常のマウスなどを使うとき、ポインタの位置決めができなくなる場合があります。また、コンピュータがスリープしなくなる場合があります。

マウスのカスタマイズもご覧ください。

タブレットを使う

Intuos4 タブレットの中央部分が、ペンとマウスを使うことができる操作エリアです。タブレットの操作エリアにペンまたはマウスを置くと、ポインタが、画面上の対応するポイントにジャンプします。使い方については、ペンを使うとマウスを使う参照してください。

下図は Intuos4 M タブレットです。

Intuos4 S タブレットでは、ファンクションキーは 6 つのみです。ファンクションディスプレイは装備されていません。

操作エリア

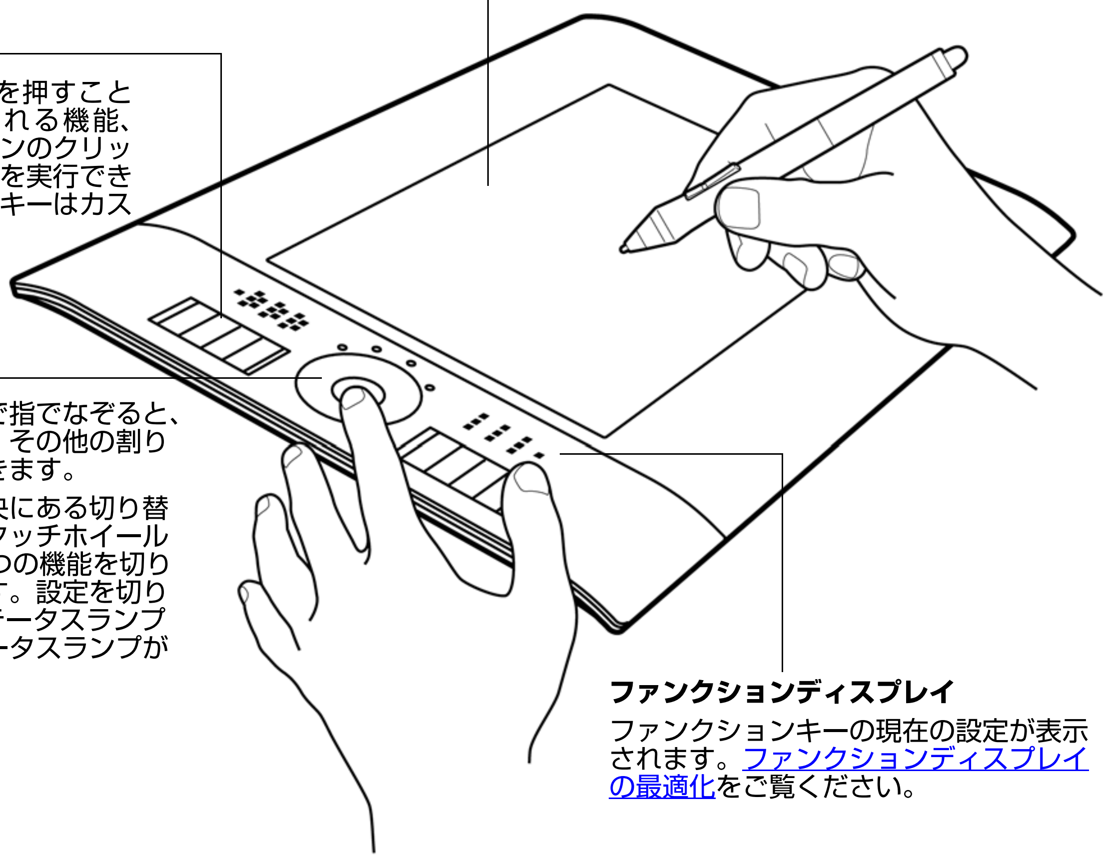
ファンクションキー

ファンクションキーを押すことによって、よく使われる機能、キーストローク、ボタンのクリック、修飾キー押下などを実行できます。ファンクションキーはカスタマイズが可能です。

タッチホイール

タッチホイールの上で指でなぞると、ズームやスクロール、その他の割り当てた機能を実行できます。

タッチホイールの中央にある切り替えボタンを押すと、タッチホイールに割り当てられた 4 つの機能を切り替えることができます。設定を切り替えると、4 つのステータスランプの内、対応するステータスランプが点灯します。



ファンクションディスプレイ

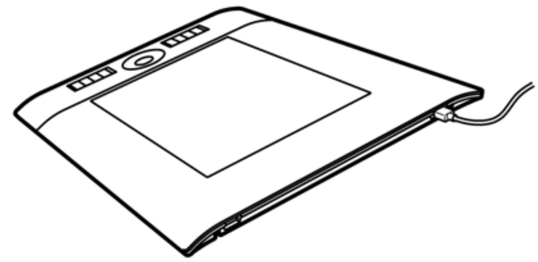
ファンクションキーの現在の設定が表示されます。ファンクションディスプレイの最適化をご覧ください。

タブレットの向きを設定する

ペンを持った利き手で操作中「ファンクションキー」を不意に押さないように、「ファンクションキー」を利き手と反対側に配置することをお勧めします。次のように、Intuos4 を右利き用または左利き用に設定してください。

タブレットを右利き用に設定する

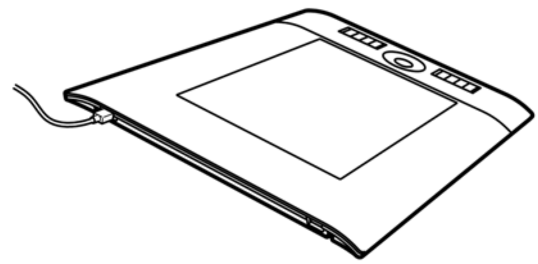
ワコムタブレットコントロールパネルを開いて、「マッピング」タブを選択します。「タブレットの向き」オプションを「ファンクションキーを左側」に設定します。タブレットの設定（ワコムタブレットのコントロールパネルオプションも含みます）が、タブレットドライバにより自動的に右利き用に調整されます。



次に、タブレットを回転させて、タッチホイールが左側に配置されるようにします。必要に応じて再度、USB 接続ケーブルの接続をします。

タブレットを左利き用に設定する

ワコムタブレットコントロールパネルを開いて、「マッピング」タブを選択します。「タブレットの向き」オプションを「ファンクションキーを右側」に設定します。タブレットの設定（ワコムタブレットのコントロールパネルオプションも含みます）が、タブレットドライバにより自動的に左利き用に調整されます。



次に、タブレットを回転させて、タッチホイールが右側に配置されるようにします。必要に応じて再度、USB 接続ケーブルの接続をします。

補足：タブレットドライバ CD からタブレットドライバをインストールすると、標準設定としてのタブレットの向きを選択するように、メッセージが表示されます。ログインおよびユーザ切り替え画面においては、ここで選択したタブレットの向きが使用されます。
タブレットの置き方は、いつでも変更することができます。標準設定としてのタブレットの向きを変えたい場合、タブレットドライバ CD からドライバを再インストールしてください。

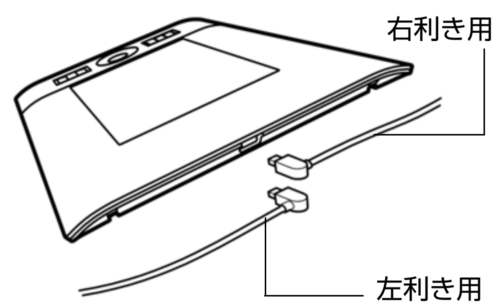
USB 接続ケーブルの接続

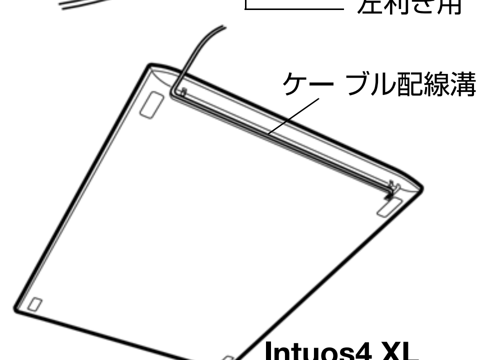
タブレットの機種により接続方法が異なります。

- Intuos4 M または Intuos4 L タブレットでは、USB ポートアクセスカバーをいずれかの方向へスライドさせて、両端にある USB ポートのどちらかを選択します。次に USB 接続ケーブルを接続します。
- Intuos4 S タブレットでは、右利き用または左利き用の USB 接続ケーブルのどちらかを、タブレットの USB ポートに接続します。ケーブルのコネクタがタブレットの USB ポートに正しく接続していることを確認してください。
- Intuos4 XL タブレットでは、タブレット裏面のケーブル配線溝に USB 接続ケーブルを通して、ケーブルの出口を変更することができます。

次に USB 接続ケーブルの片側をコンピュータに接続します。

Intuos4 S
タブレットの場合



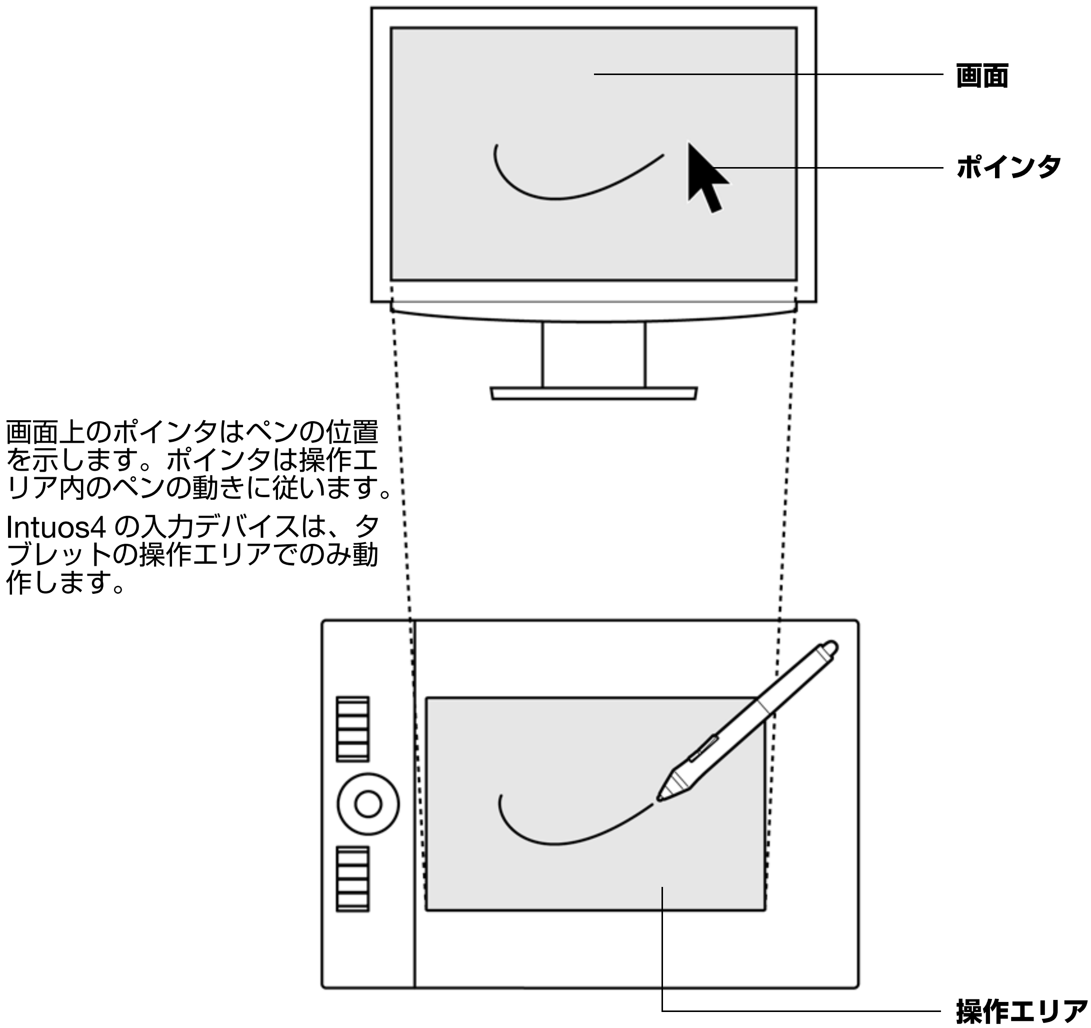


Intuos4 XL
タブレットの場合

タブレットの操作エリアについて

操作エリアは、ペンの動作を感知する操作面の領域です。

タブレットにペンを置くと、ポインタが、画面上の対応するポイントにジャンプします。これがペンの標準設定です。



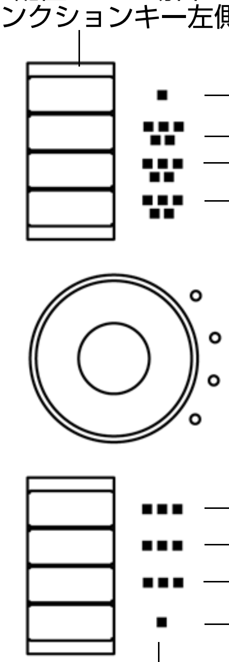
補足：タブレットの操作エリアは、コンピュータ画面に対応しています。標準設定では画面全体、またディスプレイが複数ある場合にはすべてのディスプレイが割り当てられています。タブレットとディスプレイのマッピングを設定するには、タブレットを画面にマッピングするをご覧ください。

ファンクションキーを使う

ファンクションキーは、単独または他のファンクションキーと組み合わせて使用できます。また、入力デバイスといっしょに使うこともできます。これにより、片方の手でペンを使いながら、もう片方の手でツールのプロパティの変更を行うことができます。

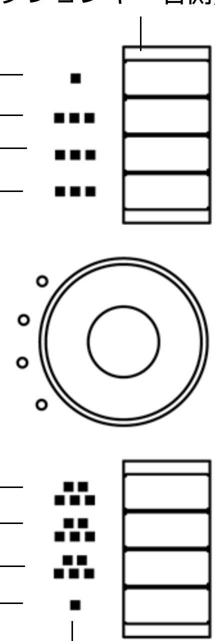
タブレットの左側にファンクションキーが配置された場合（ファンクションキー左側）

タブレットの右側にファンクションキーが配置された場合（ファンクションキー右側）



ファンクションキーの標準設定

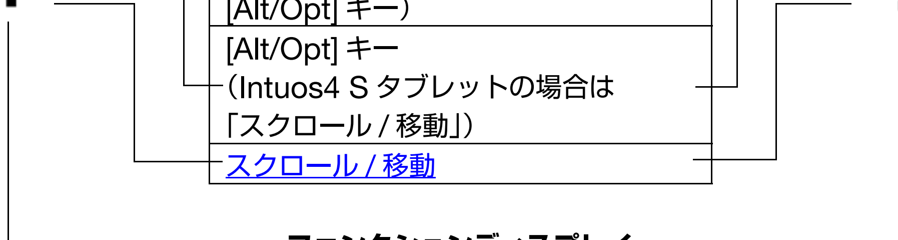
「設定内容の表示」
ラジアルメニュー（Intuos4 S タブレットの場合は「設定内容の表示」）
プレシジョンモード
マッピング画面切り替え（Intuos4 S タブレットの場合 [Shift] キー）
[Shift] キー（Intuos4 S タブレットの場合は [Ctrl/Cmd] キー）
[Ctrl/Cmd] キー（Intuos4 S タブレットの場合は [Alt/Opt] キー）
[Alt/Opt] キー（Intuos4 S タブレットの場合は「スクロール / 移動」）
スクロール / 移動

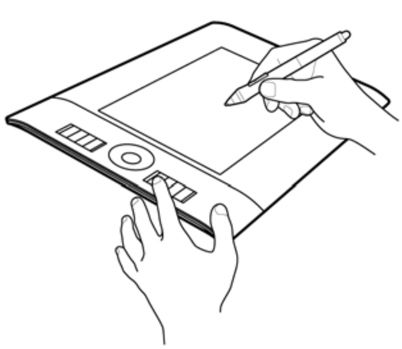


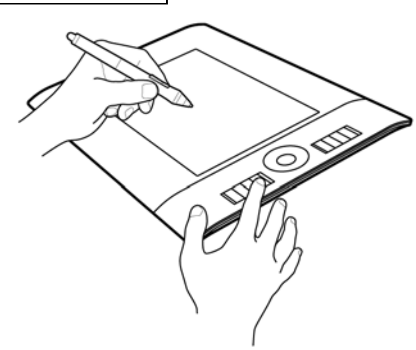
ファンクションディスプレイ

自動的に更新され、実行中のソフトウェアにおけるファンクションキーの設定が表示されます。ファンクションキーが無効の場合、そのキーに対しては何も表示されません。ファンクションディスプレイの最適化もご覧ください。

ファンクションキーの設定を変更するには、ファンクションキーのカスタマイズをご覧ください。







重要：ソフトウェアによっては、ファンクション機能が無効になったり、制限される場合があります。詳細については、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使うをご覧ください。

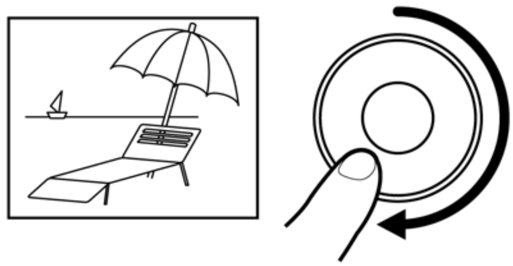
ヒント：Adobe Photoshop や他の多くのグラフィックソフトウェアでは、ALT、CTRL、SHIFT キーを押すと、ツールを変更または補助ツールへの切り替えができます。

タッチホイールを使う

タッチホイールを使って、表示中の文書や画像をスクロールしたり、拡大縮小したりすることができます。割り当てられたキーストローク機能を実行することもできます。

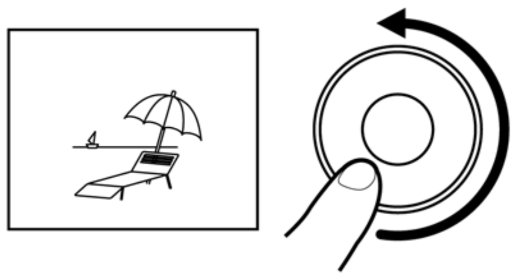
拡大の例

指でホイールを時計回りになぞると、多くのソフトウェアでは拡大、または下方向へスクロールが行えます。



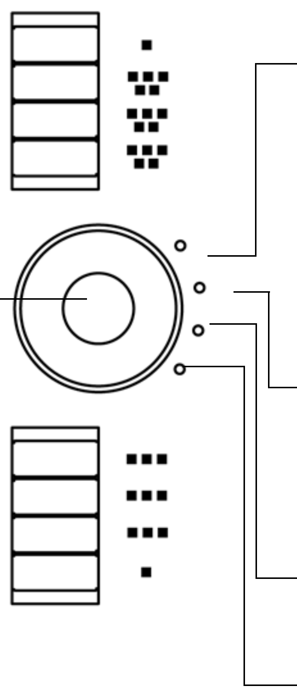
縮小の例

指でホイールを反時計回りになぞると、多くのソフトウェアでは縮小、または上方向へスクロールが行えます。



切り替えボタンを押すと、タッチホイールの 4 つの機能が切り替わります。

機能が切り替わると、対応するステータスランプが点灯します。機能が設定されていないランプは、飛ばして次に切り替わります。



タッチホイールの標準設定

設定 1：「オートスクロール / ズーム」

多くのグラフィックソフトウェアでズーム機能に、他のソフトウェアではスクロール機能に設定されます。

ページ単位のスクロールには、対応していません。

補足：ソフトウェアのなかには、ズーム機能がスクロール機能とみなされスクロール機能が働いたり、あるいは全く働かない場合があります。同様に、スクロール機能がズーム機能とみなされたり、全く働かない場合もあります。

設定 2：「キーストローク、レイヤー切り替え」

Adobe Photoshopで、ファイルに複数のレイヤーがある場合、レイヤーウィンドウのレイヤーを上方向または下方向に切り替えることができます。円に沿って時計回りになぞると、上方向のレイヤーへと切り替わります。

設定 3：「キーストローク、ブラシサイズ」

Adobe Photoshop で、ブラシのサイズを大きくしたり小さくしたりできます。

設定 4：「キーストローク、カンバスの回転」

Adobe Photoshop で、画像全体を回転させたり反転させることができます (Adobe Photoshop CS4 またはそれ以降対応)。

重要：ソフトウェアによっては、タッチホイール機能が無効になったり、制限される場合があります。詳細について は、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使うをご覧ください。

タッチホイールの設定を変更するには、タッチホイールのカスタマイズをご覧ください。

Intuos4 をカスタマイズする

Intuos4 の基本的な使い方を習得したら、Intuos4 タブレットや入力デバイスの機能をカスタマイズします。この章では、コントロールパネルを使い、Intuos4 をカスタマイズする方法を説明します。

操作に慣れたユーザは、特定のソフトウェアに対する設定を作成することにより、Intuos4 を最適な状態でお使いいただくことができます。

コントロールパネルを開く

Intuos4 タブレットからワコムタブレットコントロールパネルを開きます。

入力デバイスをカスタマイズする場合は、対象のペンまたはマウスを使って開きます。

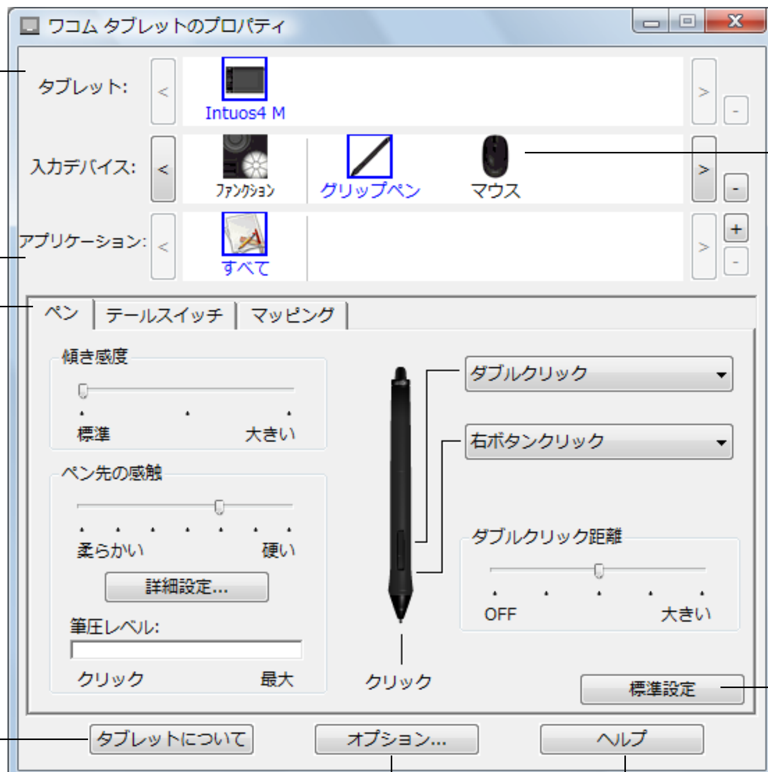
- Windows：Windows の「スタート」ボタンをクリックして、「すべてのプログラム」を選択します。次に「ワコム タブレット」→「ワコムタブレットのプロパティ」を選択します。
- Macintosh：「アップル」メニューあるいは「アプリケーション」フォルダから「システム環境設定」を開きます。「ワコムタブレット」アイコンをクリックします。コントロールパネルを開いて、Intuos4 のカスタマイズをはじめます。

補足：各ユーザごとに設定が行えます。ログインした後、各ユーザはワコムタブレットコントロールパネルに個人の設定をカスタマイズすることができます。別のユーザに切り替えると、自動的にそのユーザの設定が読み込まれます。

コントロールパネル概要

コントロールパネルを使って、Intuos4 タブレットや入力デバイスをカスタマイズできます。

コントロールパネルの上方には、「タブレット」、「入力デバイス」、「アプリケーション」を表すアイコンが表示されます。



タブには、選択したペンやマウスに対してカスタマイズが可能な設定が表示されます。

コントロールパネルの設定をご覧ください。

タブレットとソフトウェアの情報を表示します。「診断」ダイアログボックスにアクセスするオプションも表示されます。

「オプション設定」ダイアログを表示します。

ファンクションキー、タッチホイール、ラジアルメニューの設定をカスタマイズするには「ファンクション」を選択します。

Intuos4 ペンの設定をカスタマイズするには「グリップペン」を選択します。

Intuos4 マウスの設定をカスタマイズするには「マウス」を選択します。

タブの設定を標準設定の状態に戻します。

オンラインマニュアル（本書）を表示します。

設定をいろいろと試して、最適な設定を見つけてください。変更はすぐに反映されます。標準設定の状態にタブを戻すには「標準設定」をクリックします。

ほとんどのコントロールパネルの項目で、項目の上に画面のポインタを静止させるとヒントがすぐにポップアップします。

キーボードのタブと矢印キーでコントロールパネルを操作することもできます。

コントロールパネルリストとタブ： コントロールパネルの「タブレット」、「入力デバイス」、「アプリケーション」リストから、目的のタブレット、入力デバイス、アプリケーション（ソフトウェア）を選択して設定を変更します。入力デバイスの設定を変更する場合は、カスタマイズしたいペンやマウスを使ってコントロールパネルを開きます。そのデバイスが自動的に「入力デバイス」リストで選択され、適切なタブが表示されます。別のデバイスに対する設定をカスタマイズする場合は、「入力デバイス」リストからアイコンをクリックして選択します（適切なタブが表示されます）。詳細についてはペンのカスタマイズ、マウスのカスタマイズ、タブレット機能のカスタマイズ をご覧ください。

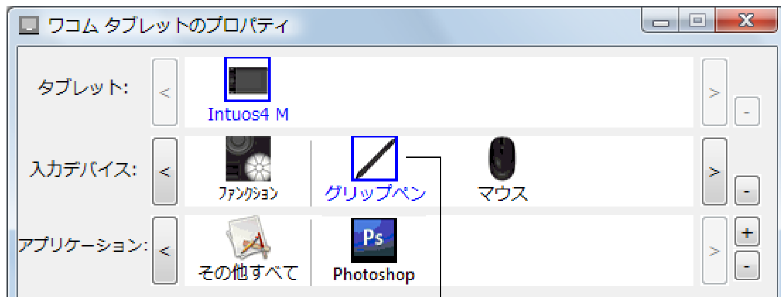
「タブレット」リストには、インストール済みのドライバがサポートしているタブレットのアイコンが表示されます。このリストの下に表示される設定はすべて、選択したタブレットに適用されます。

「入力デバイス」リストには、「ファンクション」と、タブレットに使用される各入力デバイスのアイコンが表示されます。

補足：入力デバイスが、タブレットで初めて使用されると、自動的に「入力デバイス」リストに追加され、標準設定の状態で動作します。複数デバイスでの作業での作業もご覧ください。

「アプリケーション」リストを使うと、特定のソフトウェアに対してのみ適用するペンやマウスの設定を定義できます。特定のソフトウェアに対する設定をご覧ください。

複数タブレットの設置とタブレットモードの変更もご覧ください。



現在、選択されているものがハイライトされます。

補足：コントロールパネルの「アプリケーション」リストは、操作に慣れたユーザ向けの機能です。

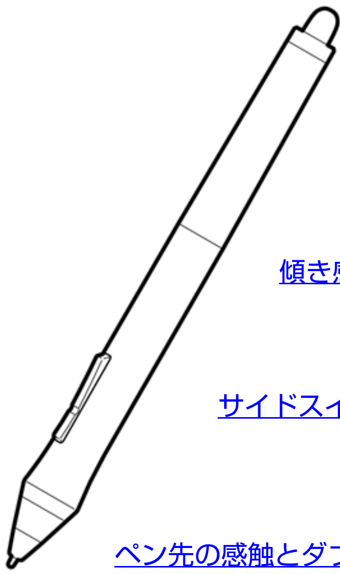
コントロールパネルの設定

次のセクションでは、コントロールパネルのタブと設定がより複雑な項目について説明します。セクションの多くには、カスタマイズに役立つヒントも含まれています。

ペンのカスタマイズ
マウスのカスタマイズ
タブレット機能のカスタマイズ
タブレットを画面にマッピングする
ボタン機能

ペンのカスタマイズ

Intuos4 ペンを使用してコントロールパネルを開きます。ペンが「入力デバイス」リストで自動的に選択され、適切なタブが表示されます。

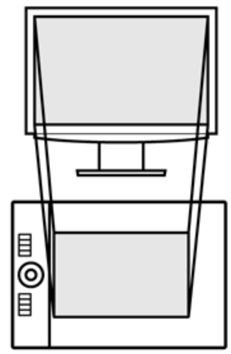


[消しゴムの感触を調整する](#)

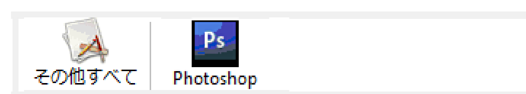
[傾き感度のカスタマイズ](#)

[サイドスイッチのカスタマイズ](#)

[ペン先の感触とダブルクリックの調整](#)



[タブレットを画面にマッピングする](#)



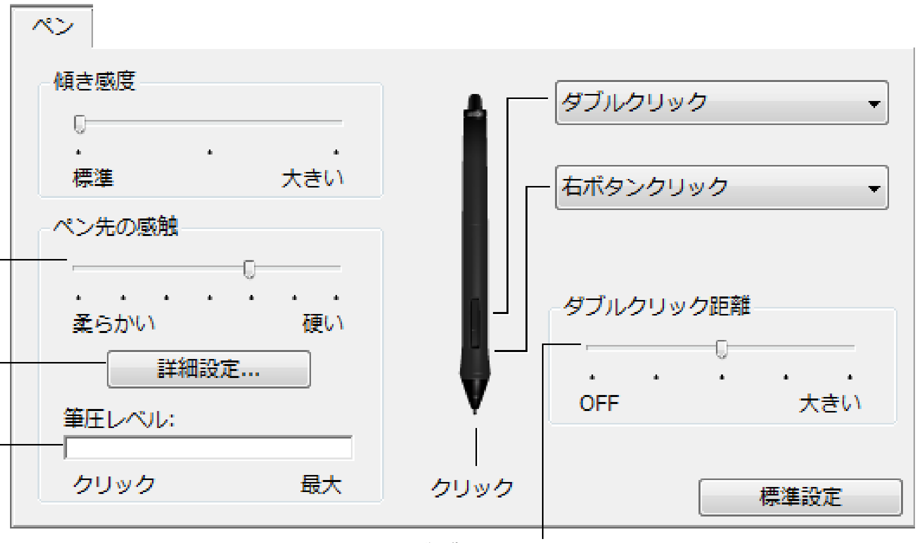
[特定のソフトウェアに対する設定](#)

ペン先の感触とダブルクリックの調整

「ペン」タブを選択します。

クリックしたり線を描いたりする際に必要な筆圧を、カスタマイズします。

[「感触の詳細設定」](#)ダイアログボックスが表示され、ペン先の感触をさらに細かくカスタマイズすることができます。



ペン先でタブレットの操作エリアを押して、設定した「ペン先の感触」をテストします。無理なく最大筆圧が得られるように、「ペン先の感触」をスライダで調整します。

ダブルクリックする領域の大きさを調整します。ダブルクリックアシストを作動しないようにするには、スライダを OFF の位置へドラッグします。

ヒント：

- 「ペン先の感触」を柔らかいほうへ設定すると、筆圧の感度が高まります。筆圧対応のグラフィックソフトウェアでは、この設定をお勧めします。
- ソフトウェアによっては、柔らかい筆圧の設定に過剰に反応する場合があります。ペンを少し押しただけでブラシが画面上で拡大する場合は、「ペン先の感触」を硬いほうへ設定してみてください。
- ダブルクリック：ダブルクリックを簡単にするには、ダブルクリックする範囲（ダブルクリック距離）を大きくします。

  補足：グラフィックソフトウェアによっては、ダブルクリック距離を大きくしたことにより、ブラシストロークの開始が遅れるため、ドラッグ操作やインクのストロークの開始が遅れることもあります。このような場合はダブルクリック距離を小さく設定し、サイドスイッチを使用してダブルクリックしてみてください。（サイドスイッチを使うをご覧ください。）ファンクションキーにダブルクリックを設定することもできます。

消しゴムの感触を調整する

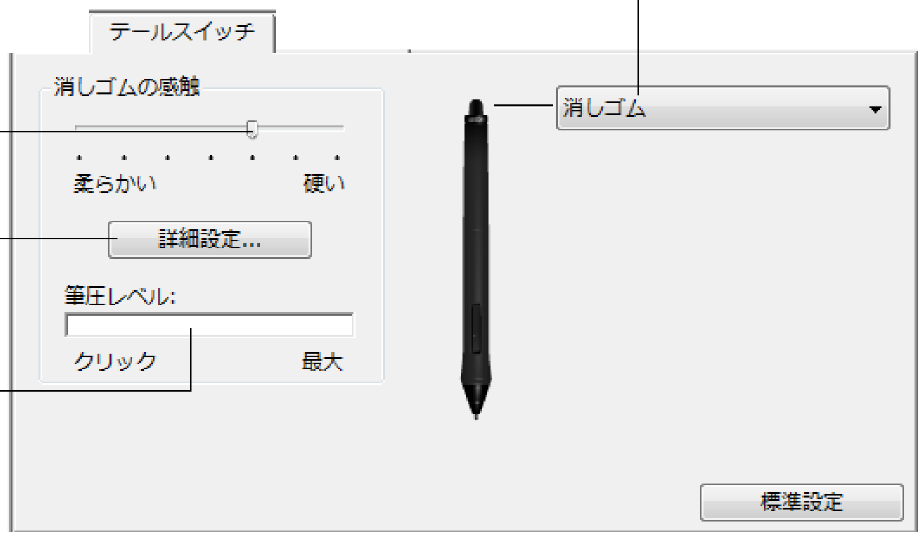
「テールスイッチ」タブを選択します。

消しゴムを使用する場合に実行するボタン機能を選択します。

消しゴムを使うときに必要な筆圧をカスタマイズします。スライダをドラッグして柔らかい、または硬いに設定します。

「感触の詳細設定」ダイアログボックスが表示されます。消しゴムの感触をさらに細かくカスタマイズすることができます。

デスクトップ上の空領域にポインタを置き、消しゴムでタブレットの操作エリアを押して、現在の「消しゴムの感触」をテストします。無理なく最大筆圧が得られるように、「消しゴムの感触」をスライダで調整します。



ペン先と消しゴムの詳細な設定

ペン先、あるいは消しゴムの筆圧を設定する場合、「ペン」、または「テールスイッチ」タブから「詳細設定」ボタンをクリックして、「感触の詳細設定」ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスのオプションで、ペン先または消しゴムの筆圧の感触とクリックのしきい値設定を変更ができます。

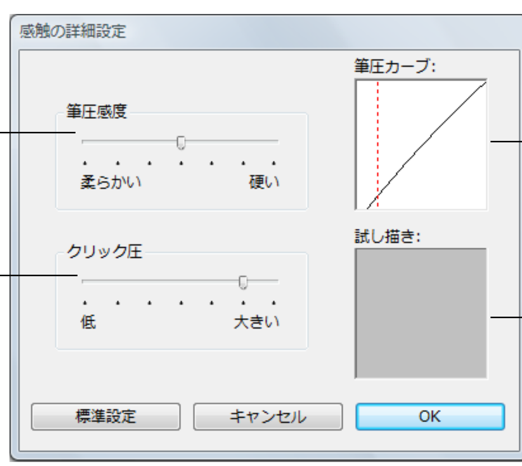
重要：「ペン先の感触」、または「消しゴムの感触」のスライダは、詳細な筆圧の設定より優先されます。詳細な設定をカスタマイズしてから、スライダをドラッグすると、詳細設定で設定した内容が削除されます。

スライダをドラッグして、筆圧感度の設定を選択します。

柔らかいタッチの場合、柔らかい設定を選択します。

スライダをドラッグして、クリックのしきい値を調整します。

この設定により、ペン先でのクリックに必要な荷重が設定されます。



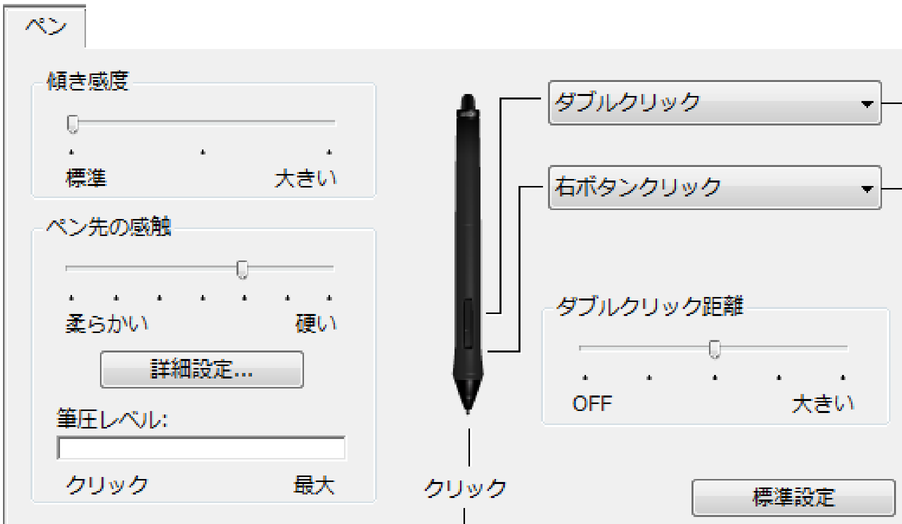
「筆圧カーブ」は、選択した筆圧感度の曲線と「クリック圧」の設定を図で示したものです。

急激な増加を表す曲線は、ペンの感度が高いことを示します。

ペン先、または消しゴムを使って、ボックス内を何度か試し描きしてみて、変更結果をテストしてください。

サイドスイッチのカスタマイズ

「ペン」タブを選択します。



上部、または下部のサイドスイッチを押した場合に働く[ボタン機能]を選択します。

ヒント：簡単にダブルクリックを行うには、「ダブルクリック」を選択して、サイドスイッチが自動的にダブルクリックになるように設定します。

ペン先に割り当てられた機能を変更するには、文字の上をダブルクリックします。

注意：

- クリックが設定されていないと、ペンでウィンドウの操作ができなくなる場合があります。ペンのボタンのいずれか１つを、必ず「クリック」機能に設定してください。
- グラフィックソフトウェアで線を描くためには、ペン先が「クリック」に設定されている必要があります。

補足：右クリックや他のクリック機能を実行する際のペンの操作方法を変えることができます。詳細については[オプション設定]をご覧ください。

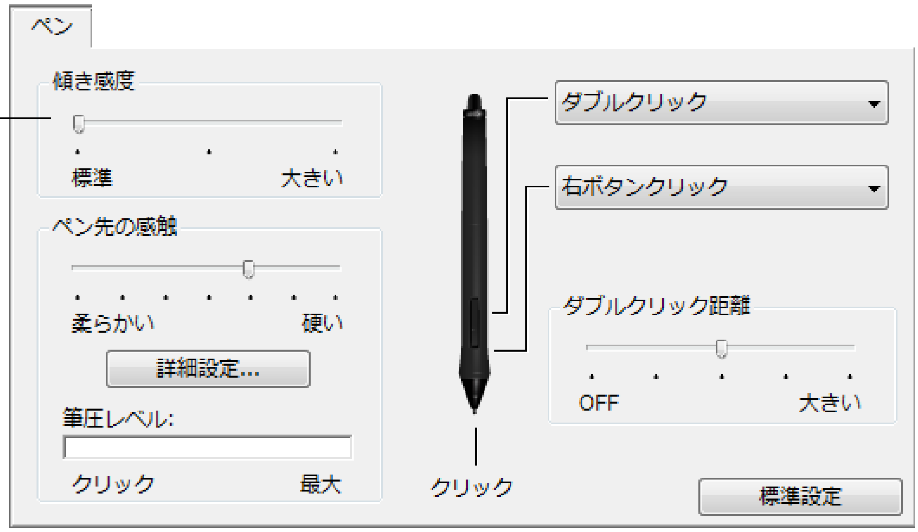
傾き感度のカスタマイズ

Intuos4 ペンの傾き感度を調整するには、「ペン」タブを選択します。

傾きに対応するソフトウェアで、ペンをどれくらい傾けるかを決めて、ペンの傾き効果が最大限に発揮できるようにします。高い感度では、低い感度ほどペンを傾ける必要はありません。

スライダをドラッグして、「傾き感度」の高低を調整してください。次に、傾きをサポートするソフトウェアで新しい設定をテストします。傾きの設定はペン先および消しゴムの両方に適用されます。

補足：傾きはペンを動かす方向に反応します。ソフトウェアによっては、ブラシの方向やその他の特性をコントロールするために、傾きが使えます。

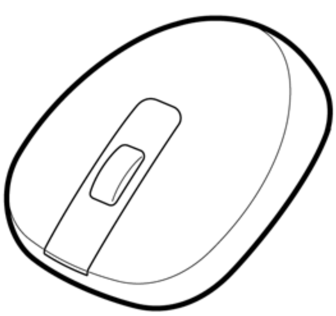


傾きをサポートするソフトウェアの最新情報についてはワコムのホームページをご覧ください。

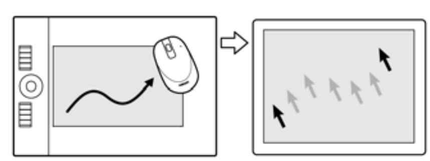
マウスのカスタマイズ

Intuos4 マウスでコントロールパネルを開いてください。「マウス」が「入力デバイス」リストで自動的に選択され、適切なタブが表示されます。利用可能なオプションからマウスをカスタマイズします。

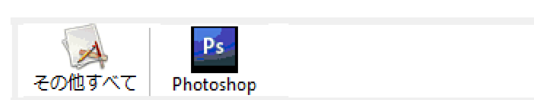
＊製品構成によっては、マウスは付属していません。



マウスボタンのカスタマイズ



マウスモードの設定



特定のソフトウェアに対する設定

マウスボタンのカスタマイズ

Intuos4 マウスでコントロールパネルを開き、「マウス」タブを選択します。

マウスボタンのボタン機能を選択します。



「ホイール」で、ホイールオプションを設定します。標準設定は「スクロール」です。

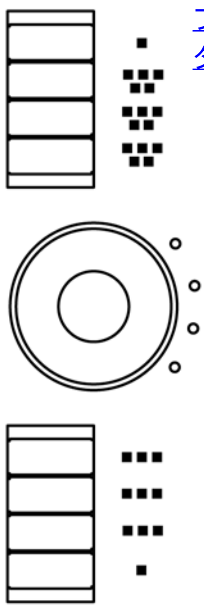
「スクロール」	以下の項目を設定します。 「スクロールスピード」：ホイールを 1 ノッチ（目盛り）回転させたときのスクロールの速度を選択します。 「同時押しキー」：スクロールしながら押す修飾キーを選択します。ズーム操作、または他の操作をソフトウェア内で実行する場合に使えます。 （Macintosh：[option]、[command（アップルキー）]、[control]、[shift] キーを利用できます。）
「キーストローク」	「キーストローク」オプションを選択して、機能をホイールに割り当てます。繰り返しの多い機能を使用する場合に役立ちます。設定したキーストロークは、ホイールの 1 ノッチ（目盛り）につき 1 つ送られます。 **ヒント：**キーストローク動作の速度を 2 倍にするには、「キーストロークを登録」ダイアログボックスで 2 度キーストロークを入力してください。

マウスボタンは複数同時押しが可能です。たとえば、 1 つのボタンに [Ctrl] キーを、別のボタンに [Alt] キーストロークをシミュレートするよう設定した場合、両方のボタンを押すと、[Ctrl]+[Alt] が実行されます。

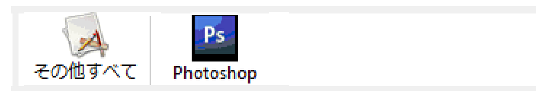
補足：左手操作用の Intuos4 マウスを設定するには、必要に応じてボタン機能を再度割り当てます。ワコムタブレットコントロールパネルを開いて、「オプション」をクリックして、「利き手の設定」で「左」を選択します。

タブレット機能のカスタマイズ

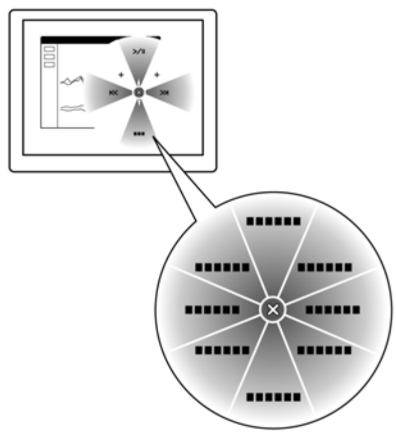
ファンクションキー、タッチホイール、他のタブレット機能をカスタマイズするには、ワコムタブレットコントロールパネルを開いて、「入力デバイス」リストから「ファンクション」アイコンを選択します。カスタマイズするタブを選択して、利用可能なオプションを選択して設定を変更します。



ファンクションキーのカスタマイズ
タッチホイールのカスタマイズ



特定のソフトウェアに対する設定



ラジアルメニューの使い方と設定

ファンクションキーのカスタマイズ

「ファンクションキー」タブを選択すると、現在設定されている各ファンクションキーの機能がプルダウンメニューに表示されます。また、タブレットのファンクションディスプレイには現在のファンクションキーの設定が表示されます。

Intuos4 の使用中、ファンクションディスプレイは自動的に更新され、画面の最前面のソフトウェアに対するキーの設定が表示されます。ファンクションキーに「無効」が設定されている場合、そのキーについては何も表示されません。

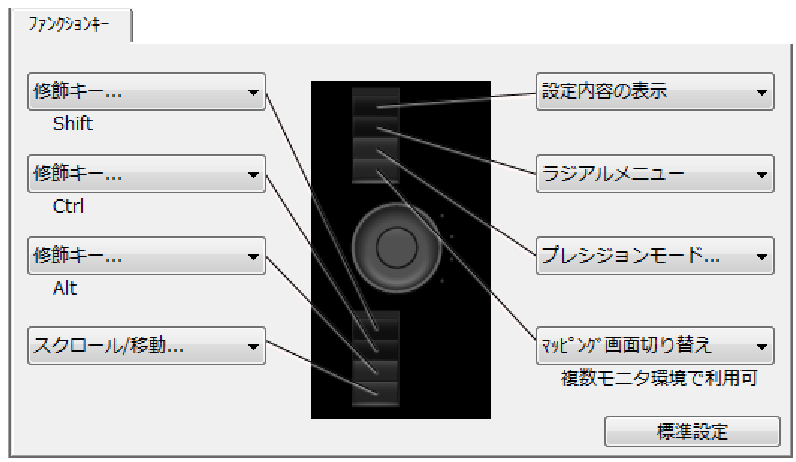
補足：タッチホイールの LED とファンクションディスプレイの明るさを調節する場合は、コントロールパネル下部にある「オプション」ボタンを選択し、「オプション」ダイアログボックスを表示させます。必要に応じて「ファンクションディスプレイの明るさ」で、スライダをドラッグして調節してください。

ファンクションキーをカスタマイズするには、ファンクションキーを押した場合に実行される機能を選択します。標準設定は、ファンクションキーを使うをご覧ください。

Intuos4 S タブレットのファンクションキーは 6 つのみです。ファンクションディスプレイは装備されていません。

補足：ファンクションキーは、特定のアプリケーションごとに設定することができます。設定については、特定のソフトウェアに対する使用をご覧ください。

「ファンクションキー」タブ（右利き用）



タブレットの向きが「ファンクションキー右側」に設定されている場合、ファンクションキーは上下逆に表示されます。

「ファンクションキー」タブ（左利き用）



重要：ソフトウェアによっては、ファンクションキー機能が無効になったり、制限される場合があります。詳細については、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使うをご覧ください。

タッチホイールのカスタマイズ

「タッチホイール」タブを選択すると、現在設定されているタッチホイール機能が表示されます。ズーム機能、スクロール機能あるいはキーストローク機能を実行するようにタッチホイールをカスタマイズすることができます。

補足：タッチホイール機能は、ソフトウェアごとに設定できます。このタブで行った変更は、コントロールパネルの「アプリケーション」リストで選択されているアイコンに適用されます。

このページでは、右利き（ファンクションキー左側）用に構成されたタブを例にしています。



ポインタの速度を、各機能ごとに設定できます。

これによって、ズーム速度やスクロール速度、キーストロークイベントをソフトウェアに送る速度を調整できます。

ヒント: Adobe Photoshop CS3以降での作業中､ポインタの位置周辺で 画像を拡大 / 縮小するには､｢Photoshop｣メニュー→｢環境設定｣→｢一 般｣を 選択します｡続いて｢スク ロールホイールでズーム｣オプショ ンをチェックして､｢OK｣をクリックします｡

タッチホイール使って実行する機能を選択します。標準設定は次の通りです。

「オートスクロール / ズーム」	多くのグラフィックソフトウェアではズーム機能が、他のソフトウェアではスクロール機能が設定されます。ページ単位のスクロール操作はサポートされません。 画面を拡大するか、または下方向へスクロールするには、円に沿って時計回りに指を動かします。画面を縮小するか、上方向へスクロールするには、反時計回りに指を動かします。 **補足：**ソフトウェアのなかには、ズーム機能がスクロール機能とみなされスクロール機能が働いたり、あるいは全く働かない場合があります。同様に、スクロール機能がズーム機能とみなされたり、全く働かない場合もあります。
「キーストローク」「レイヤー切り替え」	作業中のファイルに複数のレイヤーがある場合、レイヤーウィンドウのレイヤーを上方向、または下方向に切り替えることができます。
「キーストローク」「ブラシサイズ」	ブラシのサイズの大小が調整できます。
「キーストローク」「カンバスの回転」	画像全体を回転させたり、または反転させることができます (Adobe Photoshop CS4 またはそれ以降対応)。

タッチホイールに他の操作を設定するには、「キーストローク」オプションを選択し、キーストローク機能を定義します。ソフトウェアによるキーストロークショートカットのサポートについては、ソフトウェアに付属する取扱説明書をご覧ください。

「スキップ」を選択すると、切り替えの順番からスキップされるようにタッチホイールの切り替えボタンを設定できます。

詳細についてはタッチホイールを使うをご覧ください。

重要：ソフトウェアによっては、タッチホイール機能が無効になったり、制限される場合があります。詳細については、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使うをご覧ください。

タブレットを画面にマッピングする

「マッピング」タブを選択して、タブレット操作エリアでの入力デバイスの動作とディスプレイ画面でのポインタの動作の関係を設定します。

選択する「座標検出モード」により、画面のポインタの動き方が異なります。ペンモードでは、入力デバイスの位置に対応して画面のポインタが移動します。タブレットに入力デバイスを置くと、ディスプレイ画面上のポインタは対応する位置へ移動します。

「タブレットの向き」を選択します。「タブレットの向き」はタブレット毎に設定され、この設定は、すべての入力デバイスとソフトウェアに適用されます。その他の「マッピング」タブの設定は、特定のデバイスとソフトウェアに対して設定できます。



表示エリア：タブレットに割り当てるディスプレイ画面の領域を選択します。

縦横比を保持 ：
チェックすると、タブレットと画面は縦横比を保持します。

ディスプレイ画面に割り当てるタブレット操作エリアを選択します。

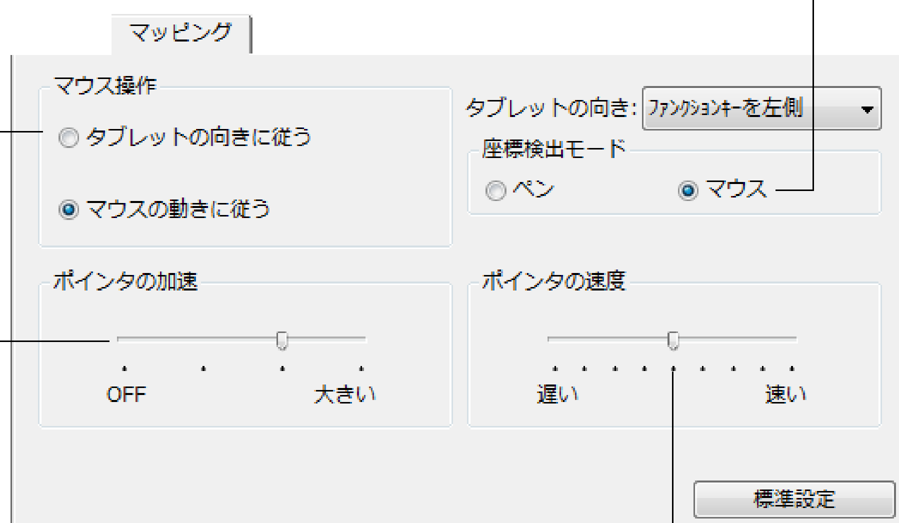
タブレットとディスプレイ画面の画像は直ぐに更新され、選択したマッピングの関係が表示されます。

「マウス」モード を選択すると、マウスの操作について設定できます（「マウス操作」オプションは Intuos4 マウスに対してのみ適用します）。

- 「タブレットの向きに従う」を選択すると、タブレットの上部へマウスを移動させると、ポインタも画面の上へ移動します。このモードでは、タブレットの操作エリアすべてがマウスの操作領域になります。
- 「マウスの動きに従う」を選択すると、マウスの向きに対し上へ移動させると、ポインタも画面の上に移動します。このモードでは、操作エリアの一部分で、マウスを操作できます。これは、Intuos4 タブレット（Intuos4 S 以外）の標準設定です。

  注意：Intuos4 S タブレットは操作エリアが大きくないため、「マウスの動きに従う」オプションはお勧めしません。

「マウス」モードを選択すると、通常のマウスを使うように、画面上のポインタを移動させることができます。



ポインタの加速を設定します。

ポインタの速度を設定します。

補足：

- 画面のラジアルメニューを使用して、「ペン」モードと「マウス」モードを切り替えることもできます。
- 「ペン」モードと「マウス」モードをよく切り替える場合は、ペン、マウスまたはタブレットのボタンに「ペン⇔マウスモード」機能を割り当てることもできます。

タブレットの向き

「マッピング」タブの「タブレットの向き」を変更し、その向きに合わせてタブレット本体を回転させます。この機能を使用すると、左利き用、または右利き用にタブレットを設定できます。または、縦長のディスプレイで作業できるようにタブレットを設定することもできます。タブレットの向きを設定するをご覧ください。

ファンクションキーを左側	タブレットは横長位置で、タッチホイールとファンクションキーは左側になります。これは、右利きのユーザのための設定です。
ファンクションキーを上側	タブレットを時計回りに 90 度回転させ、タッチホイールとファンクションキーを上側に配置します。
ファンクションキーを右側	タブレットは横長位置で、タッチホイールとファンクションキーは右側になります。このオプションを選択すると、タブレットの操作とワコムタブレットコントロールパネルオプションが左利き用に自動的に設定されます。 **補足：**Intuos4 マウスまたはレンズカーソルを使用する場合、コントロールパネルの「オプション」ボタンをクリックして、デバイスを右利き、また左利き用に設定します。オプション設定をご覧ください。
ファンクションキーを下側	タブレットを反時計回りに 90 度回転させ、タッチホイールとファンクションキーを下側に配置します。

コントロールパネルで「タブレットの向き」を設定したら、試しにタブレット上でペンを上方向へ移動させて、タブレットの向きが正しく設定されたことを確認してください。画面上のポインタが上方向に移動すれば、正しく設定されています。選択した「向き」は共通の設定であり、すべてのソフトウェアに適用されます。

表示エリア

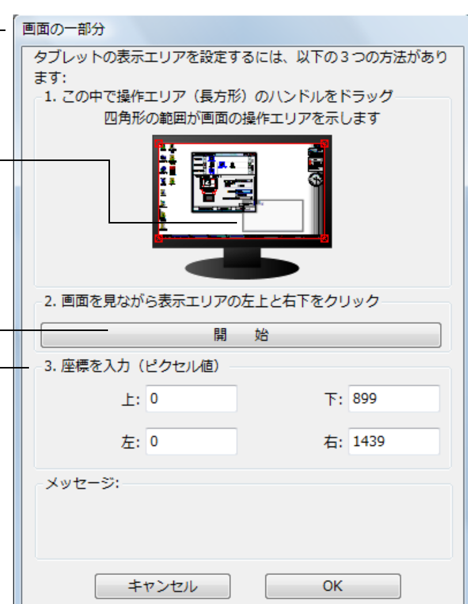
「マッピング」タブの「表示エリア」オプションで、タブレットをディスプレイ画面のどの部分に割り当てるか定義できます。

最大	複数のディスプレイ全体を 1 つの大きな画面とします。標準設定です。詳細についてはマルチディスプレイへのマッピングをご覧ください。
モニタ 1	1 つ選んだディスプレイの領域全体に割り当てられます。複数のディスプレイがシステムに接続されている場合、検出されるそれぞれのディスプレイにオプションを適用できます。
一部領域	タブレットに対してディスプレイ画面の一部分を割り当てることができます。「一部領域」を選択すると、「画面の一部分」ダイアログボックスが表示されます。

次の中から画面の一部分を定義する方法を選択してください。

- 前面の四角形の角をドラッグして、表示エリアを選択する方法です。背景の図は、画面全体を表します。
- 表示エリアを指定するのに画面のポインタを移動する方法です。「開始」ボタンを選択します。画面の一部分を定義しながら、メッセージに従って、マッピングに使用する表示画面の領域を設定します。
- 画面表示エリアの上、下、左、右の境界に対してピクセルの値を入力する方法です。値は、画面の上の左隅から測定されます。メッセージに従って確認してください。

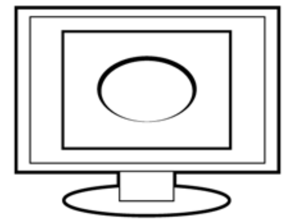
画面の一部領域を定義したあと、表示エリアのその他の領域にアクセスするには、他の入力デバイスなどを使用してください。



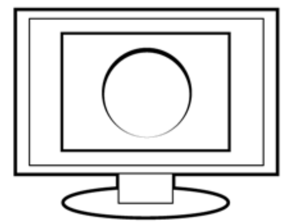
縦横比を保持

「マッピング」タブの「縦横比を保持」ボックスをチェックするか、またはチェックをはずして、タブレットと画面との関係を設定します。

「縦横比を保持」のチェックをはずした場合、正確な縮尺、比率は保持されません。選択したタブレットの操作エリアが、選択した画面の表示エリアに割り当てられます。タブレットに円を描くと、画面に楕円が描かれる場合があります。これが標準設定です。



「縦横比を保持」をチェックすると、タブレットと画面との間で、縦横の正確な比率が保持されます。タブレットに描かれた円は、表示画面の円と一致します。設定によりますが、このオプションが選択されている場合、タブレットの操作エリアで利用できない領域ができることがあります。



補足：Intuos4 タブレットは、16：10 の縦横比表示での利用に最適化されていても、標準設定の場合ディスプレイの設定に合わせて自動で調整されます。

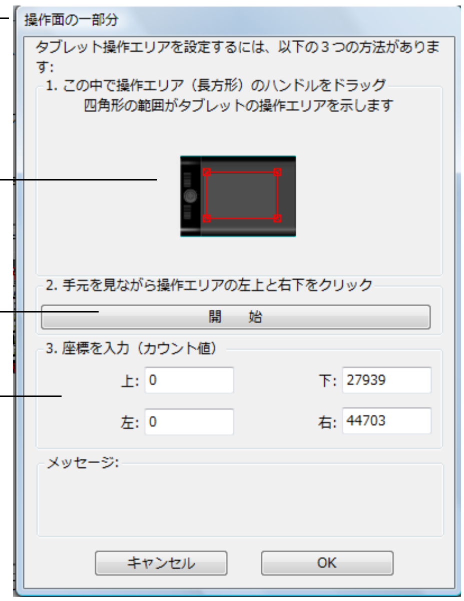
タブレット操作エリア

「マッピング」タブの「タブレット操作エリア」オプションで、画面に割り当てるタブレットの操作領域を定義することができます。

最大	タブレットの操作エリア全体を画面の表示部に割り当てます。標準設定です。
一部領域	「一部領域」を選択すると、「操作面の一部分」ダイアログボックスが表示されます。

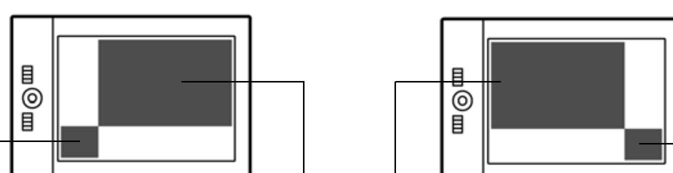
次の中から、タブレットの一部分を定義する方法を選択してください。

- 前面の四角形の角をドラッグして、画面に割り当てるタブレット操作エリアを設定する方法です。
- 「開始」ボタンをクリックして、ペンでタブレット上の操作エリアを指定する方法です。表示されるメッセージに従って、割り当てるタブレットの領域を設定します。
- タブレット操作エリアの上、下、左、右の境界に数値を入力する方法です。



左クイックポイントと右クイックポイント

Intuos4 L/XLタブレットで利用できます。描画のための大きな領域と、メニューの選択や機能の実行などシステムの操作を行うクイックナビゲーションのための小さな領域の２つにタブレットを分割します。２つの領域は、「操作面の一部分」ダイアログボックスで定義する表示エリアに割り当てるか、または標準設定でディスプレイ全体に割り当てられます。



「左クイックポイント」では、「クイックポイント」エリアが、タブレットの左下隅に設定されます。

描画エリア

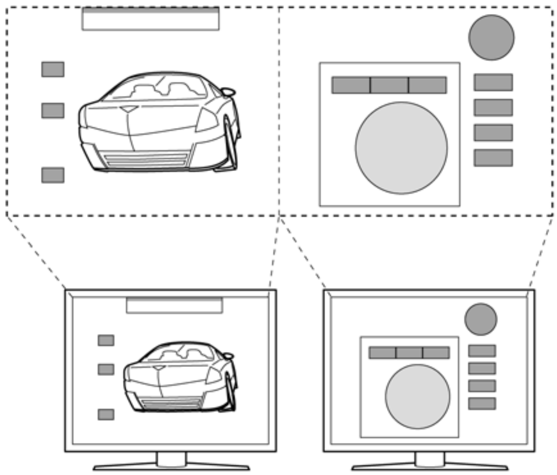
「右クイックポイント」では、「クイックポイント」エリアがタブレットの右下隅に設定されます。

補足：クイックポイントエリアと描画エリアは、タブレット作業面のクロスマークで指示されます。

マルチディスプレイへのマッピング

お使いのコンピュータに複数のディスプレイが接続されている場合、Intuos4 は、「画面のプロパティ」ダイアログのディスプレイ設定に基づいて、ディスプレイをマッピングします。

- 複数のディスプレイが設定されていて、拡張ディスプレイモードをお使いの場合、すべてのディスプレイを 1 つの大きなディスプレイと見なし、タブレットはその全体に割り当てられます。2 台のディスプライを拡張ディスプレイモードで使用する場合、デスクトップ表示は下の図のようになります。



ディスプレイ 1　**ディスプレイ** 2

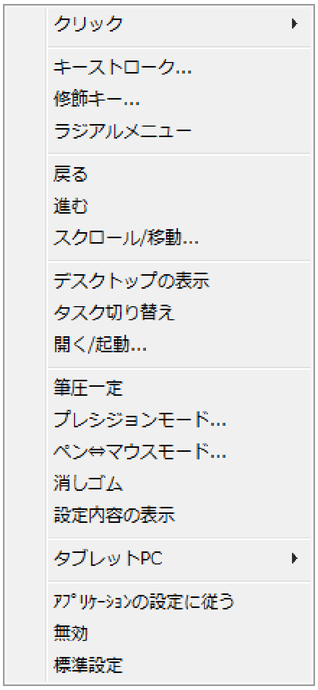
- ミラーモードをお使いの場合、タブレットは各ディスプレイのスペース全体に割り当てられます。ポインタは各ディスプレイに同時に表示されます。

複数ディスプレイでのご利用について、コンピュータとオペレーティングシステムの設定に関する詳細については、コンピュータ本体とオペレーティングシステムの取扱説明書をご覧ください。

複数ディスプレイでのご利用のために、コンピュータを正しく設定したあと、ワコムタブレットコントロールパネルを開いて、適切なオプションを設定することによりタブレットのマッピングを調整できます。

ヒント：システムが複数のディスプレイで構成されている場合、「マッピング画面切り替え」機能をファンクションキーに割り当てます。これにより、システムデスクトップまたはプライマリディスプレイと他のディスプレイ間で、タブレットのマッピングとポインタを交互に切り替えることができます。マッピング画面切り替えを使うをご覧ください。

ボタン機能



サイドスイッチ、ファンクションキー、タッチホイール、ラジアルメニューの設定に利用可能なオプションを説明します。ここに示すオプションは、一部の設定には利用できないことがあります。

機能名	内容
クリック	
• **クリック**	クリックを行います。ポインタの操作やクリックが行えるように、必ずボタンの１つに設定してください。
• **右ボタンクリック**	右クリックを行います。クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。
• **中ボタンクリック**	中ボタンクリックを行います。
• **ダブルクリック**	ダブルクリックを行います。ペン先で２度たたく代わりにこの機能を使用すると、ダブルクリック操作が簡単になります。
• **クリックロック**	スイッチを１回押すと、マウスの左ボタンを押してそのまま押し続けている状態になります。もう一度押すと、左ボタンから指を放す動作になります。クリックロックは、オブジェクトをドラッグする、またはテキストブロックを選択する場合に便利です。
• **第４ボタンクリック**	マウスの第４ボタンを押すことに相当します。
• **第５ボタンクリック**	マウスの第５ボタンを押すことに相当します。

機能名	内容
キーストローク	キーストロークをシミュレートできます。このオプションを選択すると、「キーストロークを登録」ダイアログボックスが表示されます。

１つのキーストロークか、またはキーストロークを組み合わせて「キー」ボックスに入力できます。キーストロークには、文字、数、F3 のようなファンクションキー、修飾キー（Windows では [Shift]、[Alt]、[Ctrl]、Macintosh では [shift]、[option]、[command]、[control] キー）を組み合わせることができます。

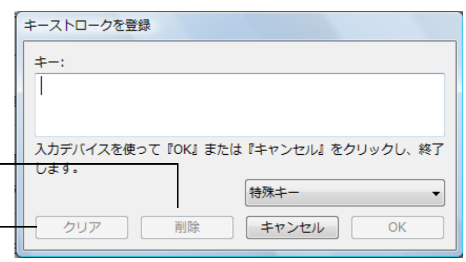
「特殊キー」メニューから、特別なキーストローク、またはキーストロークの組み合わせを選択することもできます。

キーストロークを入力したら、「OK」をクリックします。

> **重要：**[Enter] キー (Windows) と [Return] キー (Macintosh) は、キーストロークとして定義できるため、「キーストロークを登録」ダイアログボックスの「OK」を選択する場合に使用しないでください。必ず入力デバイスを使用して「OK」ボタンをクリックしてください。

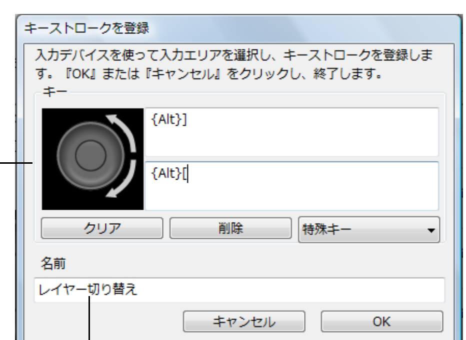
ダイアログが表示されたら、キーストローク定義に名前を入力します。名前は、それぞれコントロールまたはポップアップメニューに表示されます。

キーストローク機能は、ソフトウェアごとに設定できます。詳細については 特定のソフトウェアに対する設定をご覧ください。



キーストローク入力ボックスに入力した最後の内容のみ削除します。

キーストローク入力ボックスをクリアにします。



タッチホイールまたはマウスホイールにキーストロークを割り当てる場合、ダイアログボックスには 2 つの「キー」入力ボックスが表示されます。

上記で述べたように、タッチホイール上での時計回りおよび反時計回りの回転動作やマウスホイールの奥と手前への回転動作にキーストローク機能を割り当てます。

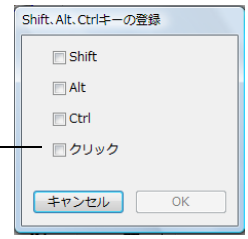
割り当てた一組のキーストロークに名前を入力して、「OK」をクリックします。

ソフトウェアでサポートされているキーストロークショートカットについては、ソフトウェアに付属の取扱説明書をご覧ください。

<table>
<tr><th>機能名</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>修飾キー ....</td><td>修飾キー（Windows では [Shift]、[Alt]、[Ctrl] キー、Macintosh では [shift]、[option]、[command]、[control] キー）をシミュレートできます。

多くのソフトウェアでは、修飾キーを使用してメニューやツールを切り替えます。

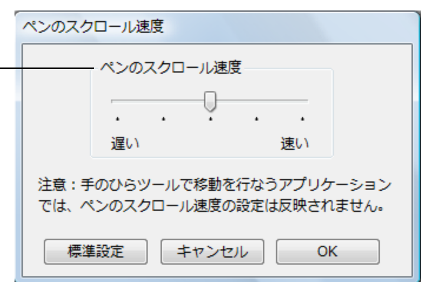
1 つ以上のキーオプションを選択します。「クリック」ボックスをチェックすると、スイッチを押すと必ずマウスのクリックが実行されるようになります。



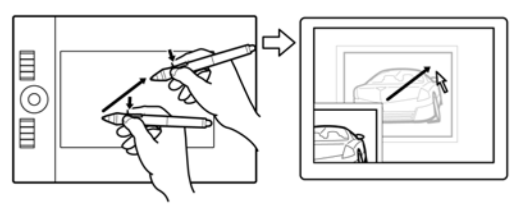
</td></tr>
<tr><td>ラジアルメニュー</td><td>画面上にラジアルメニューを表示します。ラジアルメニューの各階層メニューは、８つの項目から構成され、オプション機能を設定できます。</td></tr>
<tr><td>戻る</td><td>ブラウザで「戻る」機能を実行します。</td></tr>
<tr><td>進む</td><td>ブラウザで「進む」機能を実行します。</td></tr>
<tr><td>スクロール / 移動（ペンのみ）</td><td>「スクロール / 移動」に設定されたサイドスイッチを押して、タブレットの操作エリアでペン先を滑らせるように動かすと、文書または画像をウィンドウ内で自由に移動させることができます。

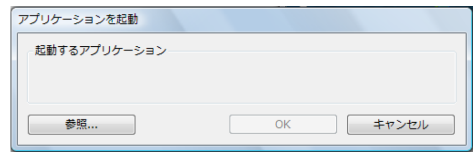
「スクロール / 移動」を選択すると、「ペンのスクロール速度」ダイアログボックスが画面に表示されます。

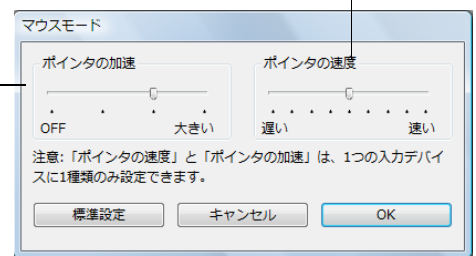
設定値を小さくすると、スクロールの速度が遅くなります。画像を正確にコントロールしなければならないような細かい作業に有効です。



ペンが動く方向に従って文書や画像がスクロール、または移動します。目的位置までスクロールまたは移動させたら、サイドスイッチを指から離すか、ペン先をタブレットから離してください。


</td></tr>
<tr><td>オートスクロール／ズーム</td><td>この機能をタッチホイールに設定すると、ほとんどのグラフィックソフトウェアではズーム操作が、他のソフトウェアではスクロール操作が行われるようになります。</td></tr>
<tr><td>スクロール</td><td>タッチホイールにスクロール動作を設定します。</td></tr>
<tr><td>ズーム</td><td>タッチホイールにズーム動作を設定します。</td></tr>
<tr><td>デスクトップを表示</td><td>開いているウィンドウをすべて最小化して、デスクトップを表示します。</td></tr>
</table>

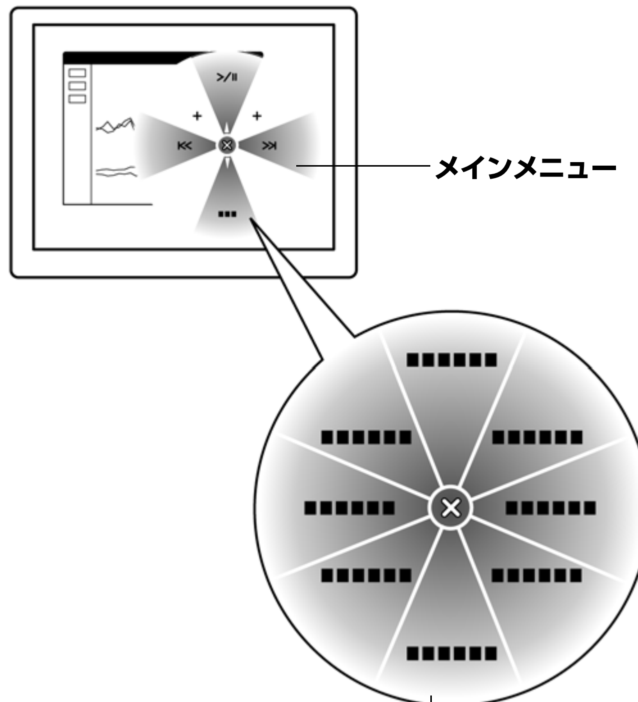
機能名	内容
タスク切り替え	起動中のソフトウェアの中で、前面に表示させたいソフトウェアをタスク切り替えダイアログから選択できます。Aero を搭載した Windows Vista システムでは、3D フリップが起動して、前面に表示させたいソフトウェアを選択できます。
開く／起動	ダイアログボックスを開いて、起動する特定のソフトウェア、ファイル、またはスクリプトを選択できます。 「参照」ボタンをクリックして、起動するソフトウェアを選択します。「起動するアプリケーション」ボックスに、選択したソフトウェアが表示されます。「OK」をクリックします。  ダイアログボックスが閉じ、選択した「アプリケーションを起動」オプションがボタンオプションとして割り当てられます。スイッチやボタンを押すだけで、割り当てたオプションが実行されます。 ラジアルメニューに選択した場合、ラジアルメニューリストに表示されるようになります。
Ink 文字認識 ON/OFF	(Macintosh)　Ink の「手書き認識」機能をオンとオフに切り替えます。Ink は筆跡を認識して、テキストに変換し、ドキュメントに挿入します。この機能を使用するには、Ink をオンにする必要があります。Ink の使い方については、Macintosh のヘルプをご覧ください。
Expose	(Macintosh)：画面に開いているウィンドウをタイル表示します。ダイアログボックスで「キーストローク ....」→「特殊キー」メニューと選択して、このオプションを表示します。
筆圧一定	ボタンを放すまで、筆圧を一定に保ちます。たとえば、ブラシが好みのサイズになるまで、筆圧を変えながら線を描きます。次にボタンを押すと、ボタンを放すまで同じブラシのサイズで描き続けることができます。
プレシジョンモード	現在のペン先位置周辺のマッピングの比率を変更します。ペンを大きく動かしても画面上のポインタは、その 2 分の 1 の距離だけ移動します。このモードを有効にするには、機能が割り当てられたボタンを押し続けます。ボタンを放すと、通常のマッピングに戻ります。 ペンやマウスが「マウスモード」の場合、ポインタの動作について、加速は「OFF」、速度は「遅い」で動作するように調整されます。
マッピング画面切り替え	マルチディスプレイ環境で使用します。この機能が割り当てられたファンクションキーを押すと、ディスプレイ間でタブレットのマッピングやポインタの位置を切り替えることができます。マッピング画面切り替えを使うをご覧ください。

機能名	内容
ペン⇔マウスモード	ペンモードとマウスモードを切り替えます。初めてこの機能をデバイスボタンに設定すると、「マウスモード」ダイアログボックスが表示され、マウスの加速とスピードを調節できます。 マウスモードの場合は、ポインタの速度を設定します。 マウスモードの場合は、ポインタの加速を設定します。  **補足：** 「マウスモード」は、コントロールパネルの多くのダイアログからアクセスして設定できます。マウスの加速と速度の設定は、カスタマイズ中の入力デバイスとソフトウェアにつき、１つしか設定できません。
消しゴム	消しゴムの標準設定です。消しゴムの使用については、消しゴムをご覧ください。
設定内容の表示	タブレットのファンクションキーとタッチホイールの図が表示され（ディスプレイ画面上）、各ボタンに対する機能の設定を確認できます 。
タブレット PC	
• Tablet PC 入力パネル	(Tablet PC 入力パネルをサポートする Windows 7 および Windows Vista システム) この機能を割り当てたボタンを押すと、Tablet PC 入力パネルが開きます。
• Windows Journal	(Windows Journal を含んだ Windows 7 および Windows Vista) Windows Journal を開きます。
• Tablet PC の設定に従う	(Tablet PC 入力パネルをサポートする Windows システム) 以下のダイアログの設定に従い、ボタン機能を設定します。 • 「Tablet PC 設定」と「ペンと入力デバイス」コントロールパネル
無効	すべてのボタン機能を無効にします。
アプリケーションの設定に従う	ソフトウェアにボタンの数の情報を送ります。この機能は、CAD プログラムのように、Intuos4 マウスまたはレンズカーソルに対するサポートが組み込まれたソフトウェアで働きます。 また、高度な統合ソフトウェアによっては、ファンクションキーとタッチホイールを直接コントロールすることができるようになります。
スキップ	タッチホイールの機能切り替え時にスキップさせる（順番を飛ばす）機能を選ぶことができます。
標準設定	設定を標準（お買い上げ時の設定）に戻します。

ラジアルメニューの使い方と設定

ラジアルメニューは円型のポップアップメニューです。ラジアルメニューをカスタマイズすると、編集、ナビゲーション、メディア操作などが簡単に行えるようになります。

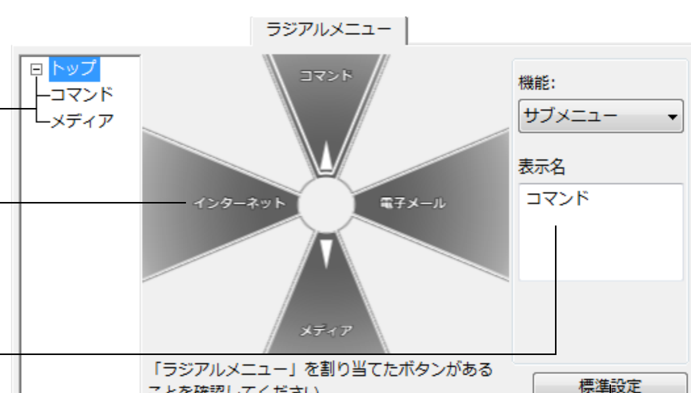
- ラジアルメニューを表示するには、ペンのスイッチ、マウスのボタン、またはファンクションキーに「ラジアルメニュー」を設定します。ボタンを押すと、ラジアルメニューがポインタの位置を中心として表示されます。
- ラジアルメニューはデスクトップ全体に、円形で表示されます。メニューの各レベルを構成する 8 つの項目に含まれる、様々な機能やオプションが選択可能です。
- ラジアルメニュー内でメニュー項目をクリックします。項目によってはサブメニューが表示され、利用可能なオプションをさらに選ぶことができます。
  ラジアルメニューを呼び出すボタンを押し続けると、ラジアルメニューを表示したままメニュー項目をクリックできます。
- ラジアルメニューからオプション機能を選択すると、メニューは終了します。機能を選択せずにメニューを終了する場合、メニュー中央の「X」ボタンをクリックするか、またはオプション機能が割り当てられていない空の項目をクリックしてください。
  「ラジアルメニュー」が割り当てられたボタンを押して、再びメニューを表示することができます。



「ラジアルメニュー」タブで、ラジアルメニューに割り当てるオプション機能を設定します。

1. メニューまたはサブメニューを選択します。
2. メニュー項目を選択して、設定をカスタマイズします。
3. 実行する「機能」を選択します。

   補足：「Enter (Return)」キーを押すと、複数行のテキストを追加できます。



現在、表示されているラジアルメニュー を標準設定に戻します。

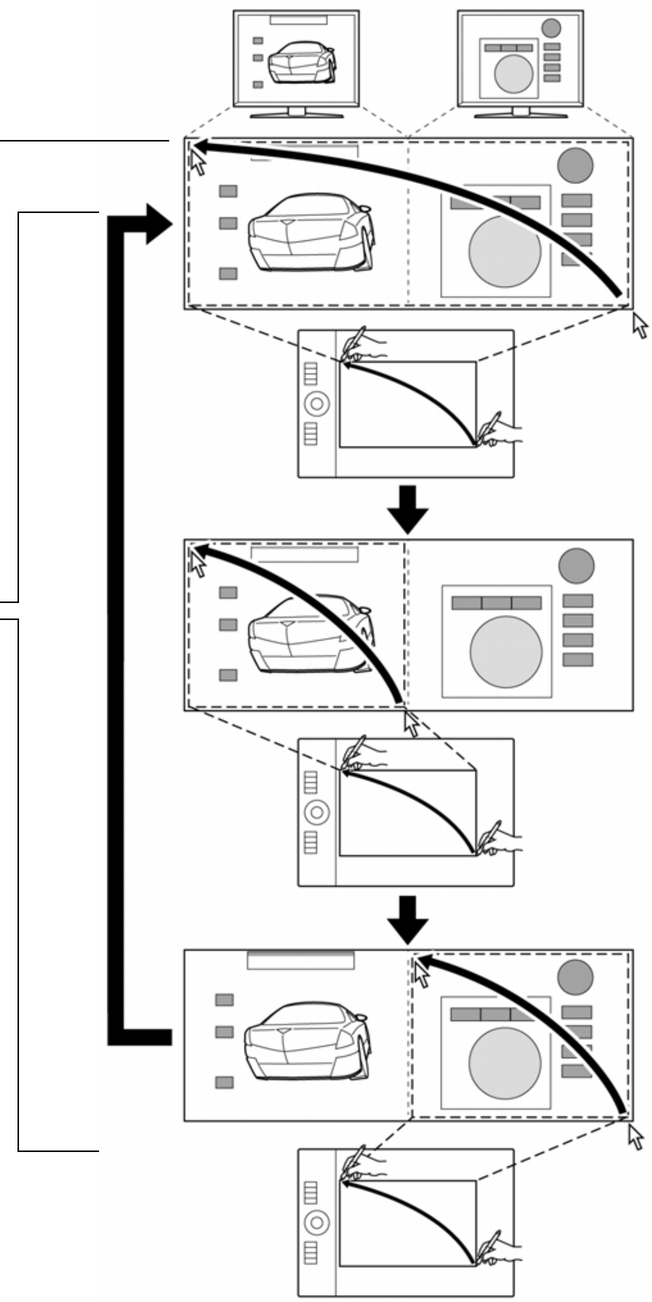
マッピング画面切り替えを使う

「マッピング画面切り替え」は、システムがマルチディスプレイで構成されている場合にお使いになれます。この機能を使うと、タブレット 1 台でディスプレイ全体、またはディスプレイ 1 つずつで作業を行えます (マルチディスプレイへのマッピングをご覧ください)。

ファンクションキーを「マッピング画面切り替え」に設定すると、ボタンを押すことで、基本マッピング（「マッピング」タブの設定）や、その他のディスプレイマッピングを順番に切り替えられます。

例：

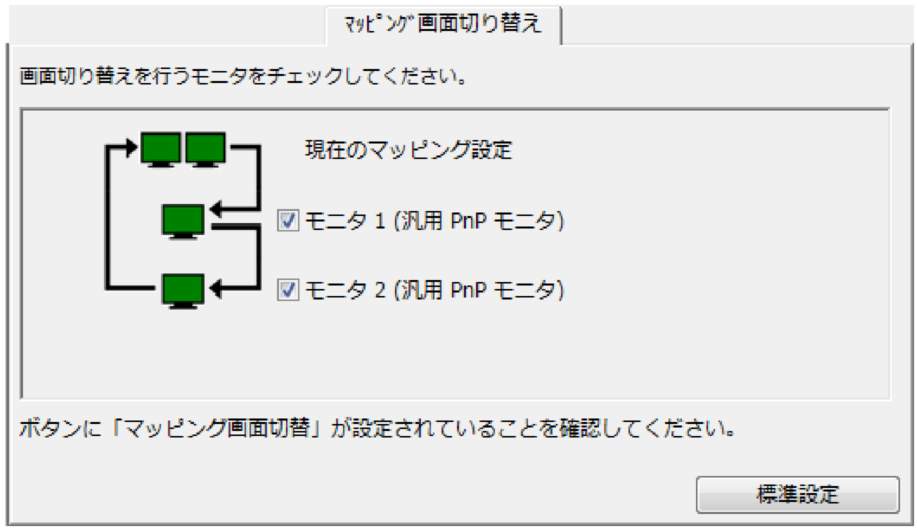
1. マルチディスプレイの表示領域全体が拡張モードに設定されていて、Intuos4 の操作エリアに割り当てられています。
2. 「マッピング画面切り替え」機能が割り当てられたボタンを押すと、タブレットのマッピングを次のディスプレイへ切り替えます。



Intuos4 タブレットがマルチディスプレイ環境に接続されている場合、ワコムタブレットコントロールパネルには「マッピング画面切り替え」タブが表示されます。このタブで、ディスプレイを切り替える順番を設定します。

「マッピング画面切り替え」タブの標準設定では、すべてのモニタが選択されています。モニタのチェックをはずすと、そのモニタは順番切り替えの対象ではなくなります。

- 基本マッピングとは、「マッピング」タブで設定されているタブレッ トとモニタの関係を言います。「マッピング」タブで、1 台のモニタをプライマリディスプレイに設定していない限り、標準設定ではすべてのモニタが切り替えの対象となります。
- 次のモニタに切り替えると、ペンやマウスの有効な操作エリアが該当するモニタに割り当てられます（ペンモードの場合のみ）。
- チェックされた最後のモニタまで切り替えた後、もう 1 度切り替えると、基本マッピング（現在のマッピング設定）に戻ります。



重要：「マッピング画面切り替え」で「特定のアプリケーションに対する設定」を使用している場合、アプリケーションリスト（「その他すべて」も含む）上のカスタマイズ済みのアプリケーション（ソフトウェア）に「マッピング画面切り替え」が割り当てられたボタンがあるかを確認してください。「特定のアプリケーションに対する設定」を作成する前に、ファンクションキーに「マッピング画面切り替え」を割り当てることをお勧めします。

次の動作のいずれかを行うと、切り替えの順番は基本マッピングに戻ります。

- 筆圧をサポートするグラフィックソフトウェアを起動したとき
- システムをログアウトするか、再起動したとき
- ユーザを切り替えたとき（ファーストユーザスイッチ）
- システムをスリープモードにしたとき
- 「マッピング」タブまたは「マッピング画面切り替え」タブの設定を変更したとき
- システム上のディスプレイの解像度または数を変更したとき
- 「マッピング切り替え」機能を使用したとき
- ラジアルメニューから「ペンモード」または「マウスモード」を選択したとき

ヒント：「ディスプレイ全体」オプションを含めずに、ディスプレイ間を切り替えるには、「マッピング画面切り替え」タブ上の 1 番目のディスプレイ を無効にします。次に、「マッピング」タブで 1 番目のディスプレイに対して現在の「表示エリア」を設定します。

複数デバイスでの作業

コントロールパネルは、Intuos4 デバイスのカスタマイズと管理に役立つように設計されています。コントロールパネルを開く際に使用したデバイスが自動的に選択され、そのデバイスに適したタブが表示されます。

Intuos4 グリップペンやオプションデバイスにはそれぞれ固有のデバイス ID が書き込まれています。どのような設定も、設定が行われた特定のデバイスに対してのみ適用されます。同一のデバイスには番号がつけられて、表示されます。選択したデバイスは、ハイライトされます。

「入力デバイス」リストには、タブレットの「ファンクション」アイコンとタブレット上で使用された Intuos4 デバイスが表示されます。

特定のアプリケーション（ソフトウェア）に対する設定が追加されていない場合、「すべて」アイコンが表示され、デバイスに対する設定はすべてのソフトウェアに適用されます。



選択したデバイスを削除します。リストに項目が 1 つしかない場合、ボタンは働きません。「ファンクション」アイコンは削除できません。

タブの設定は、選択したデバイスとアプリケーション（ソフトウェア）に対してのみ適用されます。

ヒント：デバイスのアイコンをダブルクリックし、新しい名前を入力することで、デバイス名を変更できます。「ファンクション」アイコンの名前は変更できません。

コントロールパネルの「入力デバイス」リストにデバイスを追加するには、Intuos4 タブレット上で追加するデバイスを使用してください。

- 新しいデバイスを初めてタブレットに置いたとき、デバイスは標準設定で動作します。同じデバイスがあったとしても、その設定が適用されることはありません。コントロールパネルを開くと、デバイスは自動的に「入力デバイス」リストに追加されます。タブの設定を変更して、デバイスをカスタマイズできます。
- 「入力デバイス」リストに追加したデバイスを選択すると、そのデバイスに適したタブの設定が表示されます。タブの設定を変更すると、直ちにデバイスに適用されます。

選択したデバイスを「入力デバイス」リストから削除するには、「入力デバイス」リストの [−] ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスから、「削除」をクリックして、選択を確認します。選択したデバイスは、そのデバイス向けに作成した設定とともにリストから削除されます。（削除したデバイスをタブレットの上に戻すと、「入力デバイス」リストに再び追加されます。）

特定のソフトウェアに対する設定

使用する Intuos4 入力デバイスは、特定のソフトウェア向けにカスタマイズできます。たとえば、あるソフトウェアでは、ペン先の筆圧を硬めに設定して、他のソフトウェアでは柔らかく設定できます。「アプリケーション」リストにアプリケーション（ソフトウェア）を追加し、次に追加したソフトウェアに対して入力デバイスの設定をカスタマイズします。

- **ソフトウェアごとの設定を行わずに、デバイスを「入力デバイス」リストから選択した場合、**「アプリケーション」リストには「すべて」アイコンが表示されます。「すべて」アイコンは、ソフトウェアすべてにデバイスの設定を適用します。以下の例では、特定のソフトウェアに対する設定が「マウス」に行われていません。そのため、「すべて」アイコンが表示されています。「マウス」の設定はすべてのソフトウェアに共通です。



- **特定のソフトウェアに対する設定が、「アプリケーション」リストに加わると、**「すべて」アイコンは「その他すべて」に変わります。新しく追加されたソフトウェアに対してアイコンが表示されます。



  上記の例では、特定のソフトウェアに対する設定が、「グリップペン」に追加されています。「その他すべて」アイコンを選択して設定を変更する場合、その変更は、「アプリケーション」リストに追加したソフトウェア以外のすべてのソフトウェアで適用されます。ソフトウェアのアイコンを選択してタブの設定を変更する場合は、そのソフトウェアを使用する間のみ設定が適用されます。

特定のソフトウェアに対する設定を作成すると、選択した入力デバイスとソフトウェアに対して個別のグループが作成されます。詳細については次のセクションをご覧ください。

特定のソフトウェアに対する設定を作成する
特定のソフトウェアに対する設定を変更する
特定のソフトウェアに対する設定を削除する

ヒント：画面の最前面にあるソフトウェアに対して、ファンクションキーまたはタッチホイール機能の設定を確認するには、「設定内容の表示」にファンクションキーを設定してそのキーを押すと確認できます。

特定のソフトウェアに対する設定を作成する

初めに、特定のソフトウェア向けの設定を作成するタブレットと入力デバイスを選択します。次に「アプリケーション」リストの［+］ボタンをクリックすると、「アプリケーションを登録」ダイアログボックスが表示されます。

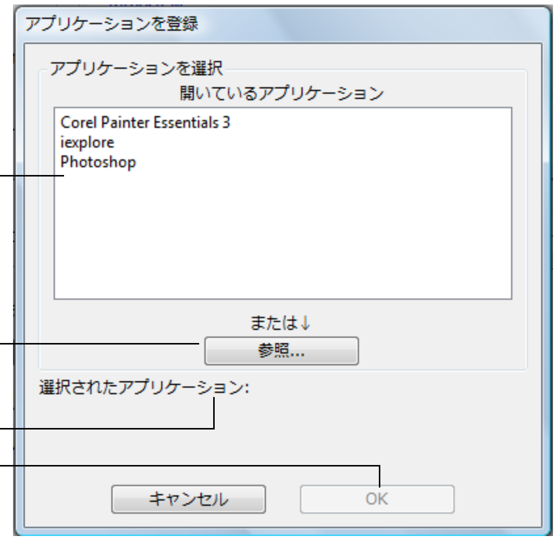
ソフトウェアを選択するには、次の２つの方法のうちいずれかを選択します。

- 設定を作成するソフトウェアを起動します。次に「開いているアプリケーション」ボックスからそのソフトウェアを選択します。
- 「参照」を選択して、コンピュータにインストールされているソフトウェアの実行ファイルを選択します。

「選択されたアプリケーション」欄に、選択したソフトウェアの名称が表示されます。

「OK」をクリックして、終了します。

補足：２つのソフトウェアが同じ実行ファイル名をもつ場合、２つのソフトウェアはカスタマイズされた設定を共有します。



ソフトウェアを追加したあと、各デバイスを「入力デバイス」リストから選択すると、追加したソフトウェアのアイコンが「アプリケーション」リストに表示されます。追加したソフトウェアを選択して、次にデバイスと追加したソフトウェアに対してタブの設定をカスタマイズします。

特定のソフトウェアに対する設定を作成すると、この方法でカスタマイズされなかったソフトウェアには「その他すべて」の入力デバイスの設定が適用されます。

ヒント：任意のソフトウェアに対して設定を作成してみてください。それにより、ペンが使いやすくなったら、さらに、別のソフトウェア向けにも設定をしてみてください。

特定のソフトウェアに対する設定を変更する

指定のソフトウェアに対して入力デバイスの設定を変更するには、デバイスとソフトウェアを選択して、次にタブの設定をカスタマイズします。

特定のソフトウェアに対する設定を削除する

特定のソフトウェアに対する設定を削除するには、

1. 「入力デバイス」リストから、設定を削除したいデバイスを選択します。次に「アプリケーション」リストから、削除するソフトウェアを選択します。
2. 「アプリケーション」リストで、[−] ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスから「削除」をクリックして、選択を確認します。ソフトウェアは、作成した入力デバイスの設定とともにリストから削除されます。

ヒント：1つの入力デバイスから特定のソフトウェアに対する設定をすべて削除するには、「入力デバイス」リストからデバイスを削除します。
次に入力デバイスをタブレットの上に戻すと、デバイスは、標準設定の状態で「入力デバイス」リストに追加されます。

トラブルシューティング

トラブルが発生した場合、以下のことを行ってください。

1. ペンタブレットドライバが正しく読み込まれなかった場合、画面に表示されるエラーメッセージで推奨される処置をまず行なってください。それでも問題が解決されない場合は、本章のトラブルシューティング手順を参照ください。
2. トラブルシューティング情報をご覧ください。問題が記載されている場合、その指示に従ってください。
3. Windows の場合「お読みください」、Macintosh の場合「Read Me.rtf」を開いて、最新情報をお読みください。
4. タブレットと入力デバイスを診断します。タブレットのテストと入力デバイスのテストをご覧ください。
5. Intuos4 と新しいハードウェア、またはソフトウェア製品間に互換性の問題が発生した場合、更新したタブレットドライバのダウンロードに関する情報について、ドライバのダウンロードをご覧ください。ワコムは新しい製品との互換性を維持するためにドライバソフトウェアを定期的に更新しています。
6. お住まいの地域向けワコムのホームページで、FAQ（よくある質問）を参照してください。
7. このマニュアルの解決のポイントを読んでも、問題が解決しそうにない場合、ワコムのサポート窓口にお問い合わせください。

タブレットのテスト
入力デバイスのテスト
トラブルシューティング情報
テクニカルサポート
ドライバのダウンロード

タブレットのテスト

1. コンピュータの電源を入れて、システムが完全に読み込まれるまで待ちます。
2. **タブレットの接続をチェック**

   タブレットがコンピュータに適切に接続され、USB デバイスとして認識されると、タブレットのステータスランプが点灯します。ランプが点灯したら、次のステップ3に進んでください。

   コンピュータの電源を入れ、システムが完全に読み込まれても、ステータスランプが点灯しない場合：

   - タブレットの USB 接続ケーブルが、コンピュータの有効な USB ポートにしっかりと接続されていることを確認してください。Intuos4 は、コンピュータ本体に設置されている USB ポートに接続する必要があります。
   - タブレットを、別の USB ポートに接続するか、または別のコンピュータの電源が供給される USB ポートに接続してみてください。
   - コンピュータの電源を入れて、オペレーティングシステムの起動が終了しても、タブレットのステータスランプが点灯しない場合、USB ポートが機能していないかもしれません。タブレットが有効な USB ポートに接続されていることを確認してください。
3. **グリップペンのチェック**
   - タブレットの操作エリアの上でペンを移動させてみてください。画面上のポインタが、ディスプレイ画面で対応する方向へ移動すれば正常です。
   - タブレットにペン先を押しあてます。ステータスランプが明るく点灯すれば正常です。
   - 次に、ペン先に荷重がかからないようにして、タブレットの面からおおよそ 6mm 以内のところで留めておき、サイドスイッチを押します。ステータスランプが、再度明るく点灯すれば正常です。
   - ペンを回転させ、テールスイッチをタブレットに押しあてます。ステータスランプが明るく点灯すれば正常です。
   - 入力デバイスのテスト をご覧ください。
4. **タッチホイールをチェック**

   入力デバイスのテストをご覧ください。
5. **ファンクションキーをチェック**

   入力デバイスのテストをご覧ください。
6. **Intuos4 マウスまたは他の入力デバイスをチェック**

   入力デバイスのテストをご覧ください。
7. これらのテストのいずれかに不合格の場合、タブレット、または入力デバイスの故障が考えられます。

   テクニカルサポートをご覧ください。
8. テスト前にカスタム設定を使っていた場合は、テストが終わってからコントロールパネルを使って設定を元に戻してください。

入力デバイスのテスト

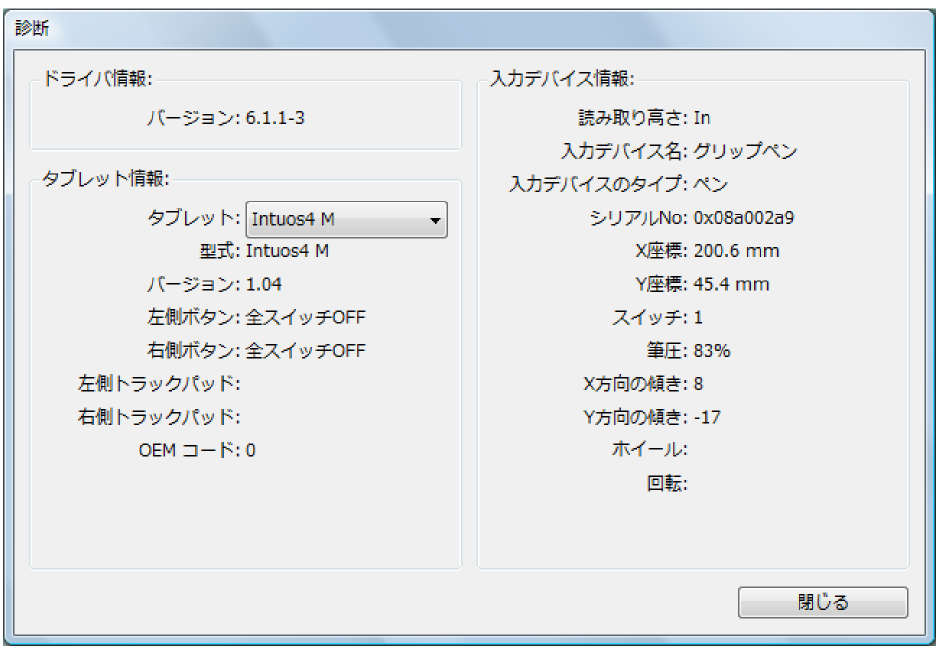
入力デバイスが思うように動作しない場合、初めにコントロールパネルを開き、割り当てた機能をチェックするか、あるいは入力デバイスを標準設定の状態に戻すことをお勧めします。

- 入力デバイスを標準設定の状態に戻すには、コントロールパネルの「入力デバイス」リストの右端にある [−] ボタンをクリックしてリストから入力デバイスを削除します。
- 入力デバイスが削除されたあと、再び入力デバイスをタブレットに置きます。入力デバイスは標準設定の状態でリストに再び追加されます。

入力デバイスをテストするには：

- コントロールパネルを開いて、「タブレットについて」ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示されますので、「診断」ボタンをクリックして、「診断」ダイアログボックスを開きます。
- 複数のタブレットがシステムに接続されている場合、「タブレット情報」欄で入力デバイスをテストするタブレットを選択してください。
- タブレットや入力デバイスをテストする際は、「診断」ダイアログボックスに表示される情報をご利用ください。

補足：入力デバイスのボタンをテストする場合、ボタンが「ラジアルメニュー」または「開く／起動」に設定されていると、ボタンを押すとその機能が実行されます。このような場合、テストの前にボタンの機能を変更してください。



ペンのテスト
タッチホイールのテスト
ファンクションキーのテスト
マウスのテスト

ペンのテスト

1. 「診断」ダイアログボックスの「入力デバイス情報」欄を見ながら、Intuos4 入力デバイスをタブレットの操作エリアから高さ 10mm を越えないように浮かせます。「読み取り高さ」、「入力デバイス名」、「入力デバイスのタイプ」、「シリアル NO」の値が表示されます。複数のタブレットがシステムに接続されている場合、「タブレット情報」欄で、デバイスをテストするタブレットが選択されていることを確認してください。
2. タブレットの操作エリアでペンを移動させると、X 座標と Y 座標のデータの値が、デバイスの位置を反映して変化します。
3. Intuos4 ペンのボタンをテストします。ペン先でクリックしたり、サイドスイッチを押したり、あるいはテールスイッチ（消しゴム）をタブレットの上で押すと、タブレットのステータスランプが明るく点灯します。
   - タブレットエリアをペン先でクリックします。「入力デバイス情報」の「スイッチ」の状態と「筆圧」の値が変化します（筆圧は圧力が全くかかっていない状態から最大圧力をかけた状態まで、0% からおよそ 100%まで変化します）
   - タブレットにペン先を押しあてずに、サイドスイッチを押します。「スイッチ」の状態が変わります。
     （Intuos4 ペンの両方のサイドスイッチに対してこれを行います。）

ペン	ペン先＝ 1 サイドスイッチ（下側）＝ 2 サイドスイッチ（上側）＝ 3 消しゴム＝ 1
エアブラシ	ペン先＝ 1 サイドスイッチ＝ 2 消しゴム＝ 1

   - タブレットにペンのテールスイッチ（消しゴム）を押しあてます。スイッチの状態と筆圧の値が変わります（筆圧は 0% から 100%まで変わります）。
   - エアブラシの場合は、ホイールを奥に回します。ホイールを完全に奥まで回すと、値はおよそ 0 まで減少します。ホイールを手前に回していき、完全に手前まで回すと、ホイールの値はおよそ 1000 まで増加します。
4. X 軸方向の傾きをテストします。X の「傾き」の値は、ペンを垂直位置から右方向へ傾けると、およそ 0 から＋ 60 まで変わります。ペンを垂直位置から左方向へ傾けると、X の「傾き」の値は、およそ 0 から－ 60 まで変わります。
5. Y 軸方向の傾きをテストします。Y の「傾き」の値は、ペンを垂直位置からタブレットの手前に傾けると、およそ 0 から＋ 60 まで変わります。ペンを垂直位置からタブレットの向こう側へ傾けると、Y の「傾き」の値は、およそ 0 から－ 60 まで変わります。
6. アートペンをテストする場合はペンを垂直に持ち、ペン軸を中心に回転させてペンの回転をテストします。「回転」の値が変化します。
7. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

タッチホイールのテスト

1. 「診断」ダイアログボックスを開いたままタッチホイールのテストをして、「タブレット情報」欄を観察してください。複数のタブレットがシステムに接続されている場合、「タブレット情報」欄でテストするタブレットが選択されていることを確認します。
2. タッチホイールの周りを一周するように指を滑らせます。タッチホイールに触れて、指先を滑らせるように動かすと、現在の指の位置が「左トラックパッド」または「右トラックパッド」に数値で示されます。
3. タッチホイールの切り替えボタンを押して、カスタマイズ可能な 4 つの機能を切り替えます。設定を切り替えるたびに、対応するステータスランプが点灯します。「診断」ダイアログボックス内にも、ボタンの状態が「左側ボタン」に表示されます。

   補足：タッチホイール機能に「スキップ」が設定された場合、対応するステータスランプは点灯しません。
4. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

   重要：ソフトウェアによっては、タッチホイールの設定が無効になったり、制限される場合があります。タッチホイールのテストを行うときは、コントロールパネル以外のソフトウェアを終了させることをおすすめします。詳細については、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使うをご覧ください。

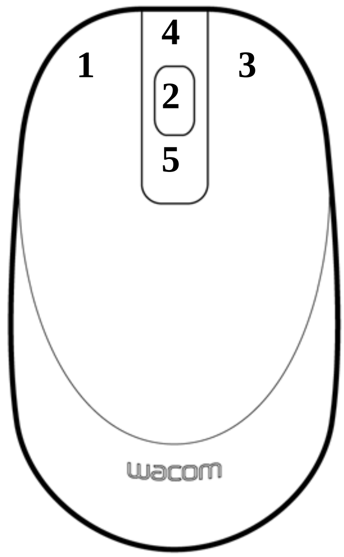
ファンクションキーのテスト

1. 「診断」ダイアログボックスを開いたまま、各ファンクションキーをテストして、「タブレット情報」欄を観察してください。複数のタブレットがシステムに接続されている場合、「タブレット情報」欄でテストするタブレットが選択されていることを確認します。
2. ファンクションキーを 1 つずつ押して、テストします。キーを押すと、「左側キー」カテゴリーのとなりに番号が表示されます。
3. タブレット上でも、ファンクションキーに対応するアイコンが表示されるか確認してください。
4. 終了後、「閉じる」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

   重要：ソフトウェアによっては、ファンクションキーの設定が無効になったり、制限される場合があります。ファンクションキーのテストを行うときは、コントロールパネル以外のソフトウェアを終了させることをおすすめします。詳細については、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使うをご覧ください。

マウスのテスト

1. 「診断」ダイアログボックスを開いたまま、Intuos4 マウスをタブレットの操作エリアに置きます。各ボタンをクリックして、ボタンをテストします。タブレットのステータスランプが明るく点灯すれば正常です。また「スイッチ」の状態が変わります。



2. 「診断」ダイアログボックスを最初に開いた場合、「ホイール」の状態は 0 のはずです。ホイールを手前に回すと、「ホイール」の状態は 0 から＋ 1 に変われば正常です。
3. ホイールを奥へ回すと、「ホイール」の状態は－ 1 まで変化すれば正常です。
4. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

トラブルシューティング情報

Intuos4 タブレットまたは入力デバイスで問題が生じた場合、次の表を参照し、解決策をお試しください。また、必ず「Read Me」ファイルを参照して、最新の情報を確認してください。

問題のより詳細な情報については、ワコムのホームページ（http://tablet.wacom.co.jp/support）をご覧ください。

一般の問題
Windows の問題
Macintosh の問題

一般の問題

タブレットのステータスランプが点灯しない。ペン、マウス、タッチホイールの切り替えボタンをタブレット上で使用しても、ランプが点灯しない。	タブレットの USB 接続ケーブルがタブレットに正しく接続されているか、有効な USB ポートに正しく接続されているか確認してください。 タブレットの USB 接続ケーブルがコンピュータ本体の USB ポートに接続されていることを確認してください。
タブレットを接続した後、USB デバイスを動作させるのに必要な電力が不足していることを示すメッセ―ジが表示される。	タブレットが、コンピュータ本体の USB ポートに接続されていることをご確認ください。
ペンを使ってタッチホイールを操作できない。	タッチホイールは指で操作してください。ペンでは操作できません。
ペンがマウスモードでのみ動作する。筆圧感度を使って線が描けない。	タブレットドライバがインストールされていないか、または適切に読み込まれていません。 • タブレットドライバがインストールされていて、コントロールパネルが開けるか確認して下さい。またインストールされている場合、設定ファイルユーティティーを削除して下さい。 • タブレットドライバがインストールされていない場合は、タブレットドライバ CD をコンピュータに挿入し、タブレットドライバをインストールします。
ペンが筆圧を検出して描けない。	ソフトウェアによっては筆圧機能をオンにすることが必要なものもあります。または、ペンの前に選択したツールが筆圧検出ツールとして反応することがあります。
クリックが利かない。	「ペン先の感触」を柔らかくしてください。ペン先の感触とダブルクリックの調整をご覧ください。

ペン先でダブルクリックが利かない。	• サイドスイッチでダブルクリックしていただくことをお勧めします。クリックをご覧ください。 • タブレットの操作エリアの同じ場所を 2 回、速くたたいていることを確認してください。 • ペン先の「ダブルクリック距離」を大きくします。ペン先の感触とダブルクリックの調整をご覧ください。 • 「ペン先の感触」を柔らかく設定します。ペン先の感触とダブルクリックの調整をご覧ください。 • ファンクションキーの 1 つを「ダブルクリック」に設定して、ダブルクリックを実行します。 • **Windows**：1 回のクリックでプログラムが起動するように設定します。クリックをご覧ください。
ペンがあらゆるものを選択して、止まらない。	コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」スライダを「硬い」方へ移動させます。あるいは、「詳細設定」を選択して「クリック圧」の設定を大きくします。芯の抜き差しも行って下さい。正常に戻らない場合、入力デバイスのテストをご覧ください。またはカスタマーサポートセンター へご連絡ください。
消しゴムがあらゆるものを選択する。消し続ける。	コントロールパネルを開いて、「テールスイッチ（消しゴム）」タブを選択します。「消しゴムの感触」スライダを「硬い」方へ移動させます。あるいは、「詳細設定」を選択して「クリック圧」の設定を大きくします。正常に戻らない場合は、入力デバイスのテストをご覧ください。またはカスタマーサポートセンター へご連絡ください。
ペンのストロークやブラシストロークの開始が遅れる。	コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。「ダブルクリック距離」を少なくしてください（ ペン先の感触とダブルクリックの調整をご覧ください）。動作しない場合、「オフ」位置へ「ダブルクリック距離」のスライダをドラッグして「ダブルクリックアシスト」をオフにします。
クリックしたり描画したり、文字を書く場合、ペンを強く押さなければならない。	コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」のスライダを「柔らかい」へ移動させます。また、「詳細設定」を選択して、「筆圧感度」と「クリック圧」の設定を減少させます。
ペン先が利かない。	• 必ずペンタブレットに付属のペン、またはオプションのペンを使用して下さい。それ以外のペンは Intuos4 タブレットで正しく機能しない場合があります。 • ペン先を押したとき、ステータスランプが明るく点灯することを確認してください。明るくならない場合、タブレット本体に問題があるかもしれません (入力デバイスのテストをご覧ください)。 • コントロールパネルの「ペン」タブで、「クリック」機能がペン先に割り当てられていることを確認してください。
入力デバイスに対して機能の設定を変更しても反映されていない。	設定が変更を、使用中のデバイスとソフトウェアに対して行っているか確認してください。複数デバイスでの作業と特定のソフトウェアに対する設定をご覧ください。

ペンのサイドスイッチが利かない。	必ずペンタブレットに付属のペン、またはオプションのペンを使用して下さい。それ以外のペンは Intuos4 タブレットで正しく機能しない場合があります。 ペン先がタブレットの操作エリアから 10mm 以内にあるときに、サイドスイッチを押しているか確認してください。ペン先でタブレットを押さずにこれを行ってください。 コントロールパネルで、サイドスイッチが、使用中のソフトウェアと入力デバイスで実行する機能に設定されていることを確認してください。 「サイドスイッチエキスパートモード」も確認してください。「ペン先とともにクリック」が選択されている場合は、クリック操作を行うためには、サイドスイッチを押しながらペン先をタブレット表面にタッチさせる必要があります（サイドスイッチのカスタマイズをご覧ください）。 サイドスイッチを押すと、タブレットのステータスランプが明るく点灯することを確認してください。点灯しない場合、タブレット本体に問題があるかもしれません（入力デバイスのテストをご覧ください）。
画面のポインタがジャンプして引き戻される。	Intuos4 入力デバイスを使用しないとき、または他のデバイスを利用しているとき、Intuos4 入力デバイスをタブレットの上に置かないでください。タブレットの上に置いたままにして、通常のマウスなどを利用すると、画面のポインタの位置決めができなくなる場合があります。
ポインタが画面上の思う位置に移動しない。またはペイントソフトウェアで、描いた線とポインタの位置が合わない。	コントロールパネルを開いて、「マッピング」タブを指定します。「ペン」モードが選択され、選択したデバイスとソフトウェアに対して「表示エリア」が「最大」に設定されていることを確認してください。効果がない場合、「標準設定」ボタンをクリックしてください。それでも効果がない場合、タブレットの設定ファイルを削除してください。

コンピュータが節電モードにならない。	Intuos4 入力デバイスを使用しない場合、タブレットの上にデバイスを置いたままにしないでください。置いたままにすると、タブレットはデータを送り続け、コンピュータは節電モードにはなりません。
画面のポインタが揺れたり、飛び回ったりする。	まれに、タブレットはコンピュータディスプレイやラジオ局から電磁波の影響を受ける場合があります。ディスプレイからの電磁波による影響に気付いた場合、タブレットをディスプレイから少なくとも 30cm ほど離してみてください。あるいは、ディスプレイのリフレッシュレートまたは解像度を変更してください。
マルチディスプレイで Intuos4 を使用している場合、他のディスプレイ上でペン先が機能しない。	ファンクションキーの 1 つが「マッピング画面切り替え」に設定されていて、そのボタンを誤って操作した可能性があります。詳細についてはマッピング画面切り替えを使うをご覧ください。 「マッピング」タブの「表示エリア」が「最大」に設定されていることを確認してください。 マウスモードでペンを使って、他のディスプレイを操作することもできます。マウスモードにするには、初めにサイドスイッチを「ペン⇔マウスモード」に設定します。次に、スイッチを使ってペンモードとマウスモードを切り替えます。
ソフトウェアによって、ファンクションキーやタッチホイールがコントロールパネルの設定と異なる動作をする。	ソフトウェアによっては、ファンクションキーやタッチホイールの設定が無効になったり、制限されることがあります。 • ファンクションキーの設定がソフトウェアによって無効にされた場合は、ファンクションディスプレイに新たな機能名称か、または「アプリケーションの設定に従う」と表示されます。 • タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使うをご覧ください。 特定のソフトウェアに対する設定を使用している場合は、目的のソフトウェアに対して設定を行ったかどうか確認してください。
コントロールパネルから「タブレットの向き」を設定したにも関わらず、ログイン画面では、設定したのとは違う向きで動作する。	タブレットドライバ CD からタブレットドライバを再インストールし、タブレットの向きの標準設定を変更してください。詳細については、タブレットの向きを設定するをご覧ください。

Windows の問題

タブレットの設定ファイルが壊れている。 または、設定ファイルを標準設定の状態にもどす。	次のようにしてタブレットの設定ファイルを削除します。 起動中のソフトウェアをすべて終了します。「スタート」メニューをクリックし、「すべてのプログラム」を選択します。次に「ワコムタブレット」→「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を選択します。ダイアログボックスから、「ログインユーザーの設定ファイルを削除」ボタンをクリックして、ログインユーザーの設定ファイルを削除します。 Windows Vista や XP 上でマルチユーザーの設定ファイルを削除するには「すべてのユーザーの設定ファイル」から「削除」ボタンをクリックします。すべてのユーザーの設定ファイルを削除するには、administrator 権限が必要です。現在開いているタブレット用ソフトウェアを再起動してください。 以前の設定ファイルのバックアップがある場合は、「ログインユーザーの設定ファイル」の「復元」ボタンをクリックするとタブレットの設定を素早く復元できます。
コンピュータのマウスコントロールパネルの右手と左手の設定を変更した後、ペン先が適切に機能しなくなり、Intuos4 マウスのボタン機能が反転する。	Intuos4 入力デバイスの設定を正しく認識させるには、Windows を再起動させます。

Macintosh の問題

コンピュータを起動すると、ドライバの読み込みに失敗したか、あるいはタブレットの設定ファイルがまだ作成されていないという内容のダイアログボックスが表示される。	タブレットが、起動時に検出されませんでした。USB 接続ケーブルがタブレットに正しく接続されているか、コンピュータ本体の有効な USB ポートに接続されているか確認してください。また、タブレットのステータスランプが点灯しているかも確認してください。タブレットが電源の入った USB ハブに接続されている場合、ハブが接続されていて有効であることを確認してください。 「移動」メニューから、「ユーティリティ」フォルダを選択して「システムプロファイラ」を起動します。「内容」一覧の「ハードウェア」から「USB」を選択します。ワコム USB タブレットがリストに表示されます。表示されない場合、USB 接続ケーブルの接続を確認するか、あるいはタブレットを別の USB ポートに接続してみてください。 これで解決しない場合は、ワコムのテクニカルサポートに連絡してください。テクニカルサポートをご覧ください。
タブレットの設定ファイルが壊れている。 または、設定ファイルを標準設定の状態にもどす。	タブレットの設定ファイルを削除します。まず「アプリケーション」フォルダを開きます。次に、「ワコム タブレット」フォルダを開いて、「ワコム タブレットの削除」ユーティリティを実行します。 • **シングルユーザー：**ユーティリティが起動したら、「ログインユーザー」を選択し、「削除」ボタンをクリックします。ログアウトしてから、再度ログインします。タブレットドライバが読み込まれると、新しい設定ファイルが標準設定で作成されます。 • **マルチユーザー：**ユーティリティが起動したら、「すべてのユーザー」を選択してから「削除」ボタンをクリックします。ログアウトしてから、再度ログインします。タブレットドライバが読み込まれると、新しい設定ファイルが標準設定で作成されます。 設定ファイルのバックアップを取っておけば、ユーティリティの中の「復元」ボタンをクリックして「ログインユーザー」または「すべてのユーザー」の設定ファイルを素早く復元することができます。 **補足：**「WacomTablet.Prefpane」ファイルを「ライブラリ」フォルダの「PreferencePanes」フォルダから手動で削除しないでください。このファイルは、タブレットドライバをアンインストールする場合と、今後「ワコムタブレットの削除」ユーティリティを使用する場合にのみ削除されます。

Ink が、Intuos4 で正しく動作しない。	Ink の設定ファイルに問題があるかもしれません。次のようにして、損傷した設定ファイルを削除します。手書き入力認識を有効にすると、設定ファイルは再作成されます。 1.「システム環境設定」画面を開き、「すべてを表示」を選び、「Ink」を選択します。次に「手書き認識」を「切」にします。 2.「移動」メニューから、「ホーム」を選択します。「ライブラリ」を開いて、「Preferences」フォルダを開きます。次の「preference」ファイルを削除します。 • com.apple.ink.framework.plist • com.apple.ink.inkpad.plist • com.apple.ink.inkpad.sketch 3. 再度、「システム環境設定」→「Ink」を選択します。「手書き認識」を「入」にします。 4. ワコムタブレットとペンを使って、Ink 機能をテストします。 この処理で Ink の問題が解決されずに、さらにサポートが必要な場合はアップルコンピュータに連絡してください。

テクニカルサポート

ペンタブレットに問題がある場合、初めにクイックスタートガイドを読んで、タブレットドライバが正しくインストールされていることを確認してください。次に、トラブルシューティングの処理を見直してください。

このマニュアルで解決法が見つからない場合、「Read Me」ファイル（タブレットドライバ CD にあります）に、問題に関する最新情報が記載されていることがあります。ワコムのホームページの製品 FAQ（よくある質問）もチェックしてください。

インターネットに接続できる場合は、ワコムのホームページから最新のタブレットドライバをダウンロードできます。ドライバのダウンロードをご覧ください。

問題が解決せず、ワコムタブレットが正しく動作していないと思われる場合、ワコムカスタマーサポートセンターに連絡してください。連絡先については、ワコムタブレットに付属のタブレットドライバ CD に収録されている「Read Me」ファイルをご覧ください。

電話によるサポートを受ける場合、次の情報を用意してください。

- 本書
- ペンタブレットのシリアルとモデル番号（タブレット本体の背面をご覧ください）
- ドライバのバージョン（タブレットドライバ CD をご覧ください。あるいはコントロールパネルの「タブレットについて」ボタンをクリックしてください。）
- コンピュータの製造元と型式、およびオペレーティングシステムのバージョン
- コンピュータに接続された周辺機器のリスト
- 問題が発生した時に使用していたソフトウェアとバージョン
- 画面に表示された正確なエラーメッセージ
- 問題が発生した時に起こったことをどう処置したか
- どのように問題を解決しようとしたか

ドライバのダウンロード

ワコムは新しい製品との互換性を維持するために、定期的にタブレットドライバを更新します。機能を最適に使用するためにドライバを定期的に更新することをお勧めします。新しいタブレットドライバ（利用可能な場合）は、ワコムのホームページからダウンロードできます。

ワコムのホームページ：　http://tablet.wacom.co.jp/download

付録

このセクションでは、タブレットとデバイスのお手入れ、タブレットドライバのアンインストール、ライセンスと保証などに関する情報とヒントを説明しています。

タブレットと入力デバイスのお手入れ

Intuos4 入力デバイスとタブレットは清潔にお使いください。ちりや砂ぼこりは、タブレットの表面を傷つけます。柔らかい布を水や刺激の少ない石けん水で濡らし、固く絞って、定期的にタブレットを拭いてください。タブレット、ペン、マウスなどを長い期間ご利用いただくことができます。水で薄めた刺激の少ないせっけんを使用して、布を湿らせることもできます。アルコール、シンナー、あるいはベンゼンのような揮発性の液体は、プラスチックケースを傷めますので使用しないでください。

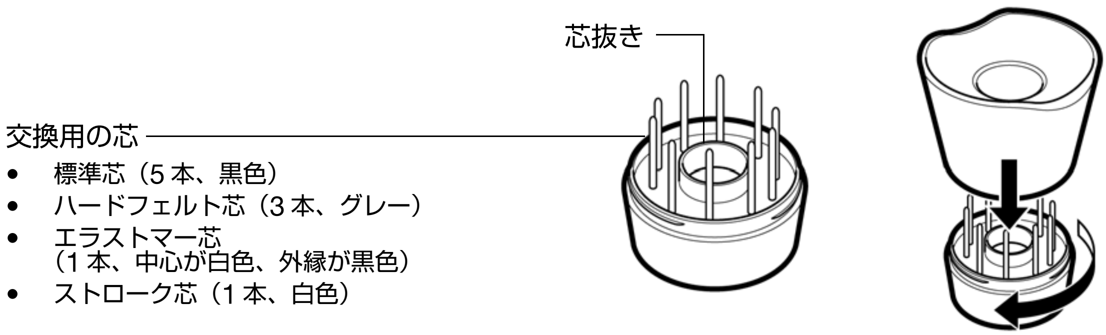
タブレットを清潔に、涼しい場所で、極端な温度変化を避けて保管してください。Intuos4 入力デバイスとタブレットは分解しないソフトウェアでください。ペンを強くねじると、ペンが壊れる可能性があります。製品を分解すると、保証が無効になります。

重要：タブレットや入力デバイスに液体をこぼさないように注意してください。タブレットのファンクションキーやタッチホイール、ペンのスイッチを濡らさないよう、特に注意してください。液体が入ると故障するデリケートな電子部品が入っています。

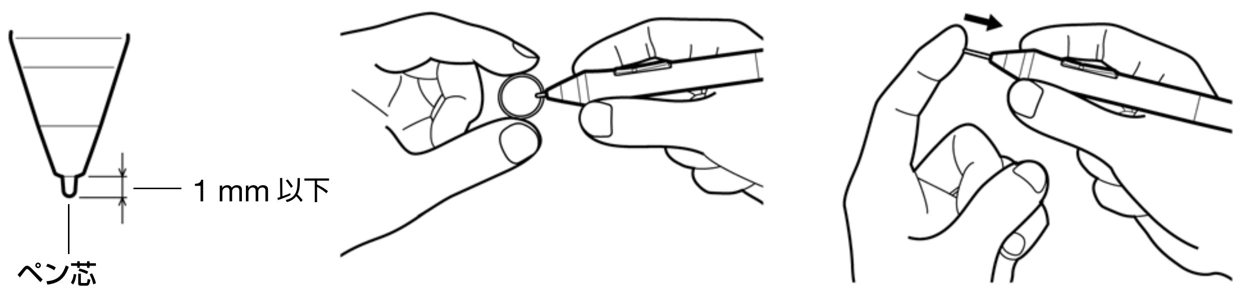
芯を交換する

ペン芯は、使っていく間に磨り減っていきます。過度な力を加えると、より早く磨耗します。芯が短くなりすぎた場合（約 1mm 以下)、平らになった場合は交換してください。

1. ペンスタンドの底部分を回して外し、芯抜きと交換用の芯を取り出します。



2. 芯抜き、ピンセットなどで芯を挟んで、ペンからまっすぐに引き抜きます。



3. 新しい芯の先を、止まるまで差し込んでください。

補足：ストローク芯にはバネが組み込まれているため、Intuos4 ペンあるいはエアブラシで作業するときに独特の手応えが加わります。ストローク芯は、標準のペン芯と同じ方法で取り付けることができます。

警告：子供がペン芯やサイドスイッチを飲み込まないようにご注意ください。

交換部品の注文については、利用可能な部品と付属品をご覧ください。

重要：ペンを使用していない間は、ペンスタンドに置くか、あるいは机の上に横にして置いてください（オプション品のエアブラシは、机の上に横にして置いてください)。
ペン先に接触するような入れ物に入れて、保管しないでください。ペン先を押した状態でペンを収納すると、ペンが故障する場合があります。

タブレットドライバのアンインストール

タブレットとタブレットドライバをシステムから削除するには、以下の方法で行ってください。

重要：タブレットドライバをシステムからアンインストールすると、ペンタブレットのタブレット機能は動作しませんが、マウスとしては機能します。

Windows Vista（64 ビット版を含む）:「スタート」ボタンをクリックして、コントロールパネルを選択します。コントロールパネルから「プログラムと機能」を選択します。ダイアログボックスから「ワコムタブレット」オプションを選択します。「アンインストール」ボタンをクリックして、画面の指示に従い、タブレットドライバを削除します。

Windows XP（64 ビット版を含む）：
「スタート」をクリックして、「スタート」メニューから「コントロールパネル」を選択します。次に、「プログラムの追加と削除」を選択します。「プログラムの追加と削除」ウィンドウで、「ワコムタブレット」を選択して「削除」ボタンをクリックします。画面の指示に従い、タブレットドライバを削除します。ドライバが削除されたら、タブレットをコンピュータからはずします。

Macintosh：

「Finder」の「移動」メニューから「アプリケーション」を選択して、「ワコムタブレット」フォルダを開きます。「タブレットドライバの削除」アイコンをダブルクリックして、「タブレットドライバの削除」ボタンを選択します。管理者の「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。削除が終了したら、「OK」をクリック し、コンピュータからタブレットをはずします。

補足：パスワードとは Mac のログインパスワードです。

タブレット設定ファイルの管理

ワコムタブレット設定ファイルユーティリティを使用すると、シングルユーザーまたはマルチユーザーのタブレット設定ファイルの管理が行えます。

Windows **の場合は、**起動中のソフトウェアをすべて終了します。次に、「スタート」アイコンをクリックし、「すべてのプログラム」を選択します。「ワコムタブレット」→「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を選択します。

- ログインユーザーの設定ファイルを削除するには、「ログインユーザーの設定ファイル」から「削除」ボタンをクリックします。
- マルチユーザーの設定ファイルを削除するには、「すべてのユーザーの設定ファイル」から「削除」ボタンをクリックします。すべてのユーザーの設定ファイルを削除するには、administrator 権限が必要です。最後に現在開いているタブレット用ソフトウェアを再起動してください。
- 現在の設定ファイルをバックアップするには、「ログインユーザーの設定ファイル」から「バックアップ」をクリックします。
- 以前にバックアップを行った設定ファイルを復元するには、「ログインユーザーの設定ファイル」から「復元」をクリックします。

表示されるダイアログの内容を確認してから、実行してください。

Macintosh **で設定ファイルユーティリティを開くには、**最初に「アプリケーション」フォルダを開きます。次に「ワコムタブレット」フォルダを開いて、「ワコムタブレットの削除」ユーティリティを実行します。

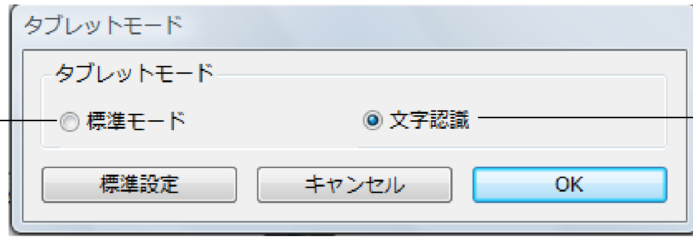
- 設定ファイルを削除するには、「ログインユーザー」または「すべてのユーザー」のいずれかを選択してから、「削除」ボタンをクリックします。ログアウトしてから再度ログインします。タブレットドライバが読み込まれると、新しい設定ファイルが標準設定で作成されます。
- 設定ファイルをバックアップするには、「ログインユーザー」または「すべてのユーザー」のいずれかを選択してから、「バックアップ」ボタンをクリックします。
- 以前にバックアップを行った設定ファイルを復元するには、「ログインユーザー」または「すべてのユーザー」のいずれかを選択してから、「復元」ボタンをクリックします。

表示されるダイアログの内容を確認してから、実行してください。

タブレットモードの変更

コントロールパネルの「タブレット」リストで、タブレットアイコンをダブルクリックして、「タブレットモード」ダイアログボックスを表示させます。「タブレットモード」の設定は、すべてのデバイスとソフトウェアに適用されます。

グラフィックソフトウェアで推奨します。これが標準設定です。



最大のデータ速度です。手書き認識ソフトウェアで必要になる場合があります。

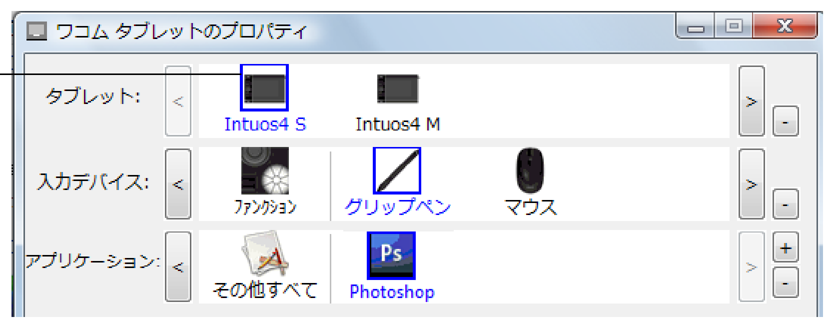
複数タブレットの設置

「タブレット」リストには、サポートされたタブレットでシステムに検出されたものがアイコンで表示されます。

新しいタブレットを追加するには、タブレットをコンピュータに接続します。

- システムは USB ポート上の接続されたタブレットを検索します。新しいタブレットが検出されると、自動的に初期化されます。
- 複数のタブレットが設置されていると、コントロールパネルを開くために使用したタブレットが、デフォルトのタブレットとして選択されます。

入力デバイスとソフトウェアをカスタマイズするタブレットのアイコンを選択します。

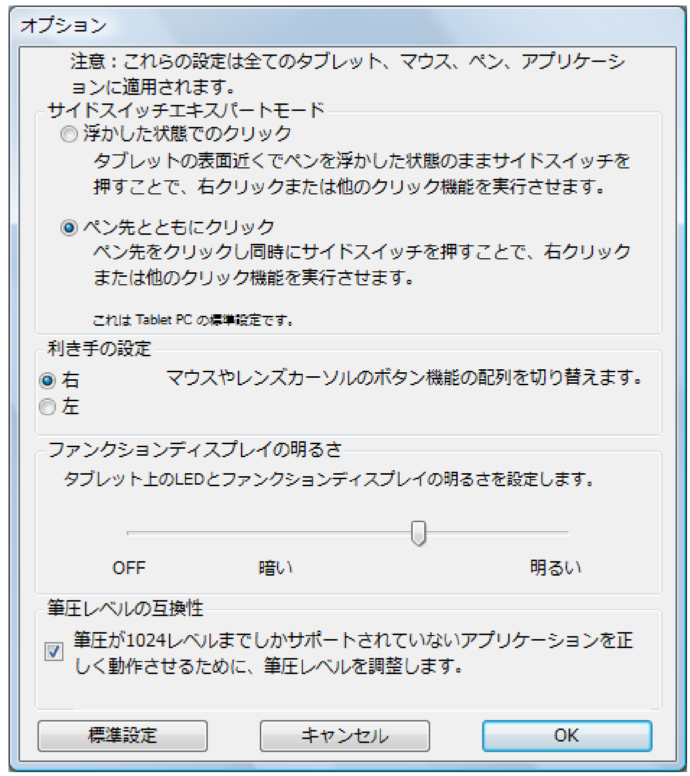


重要：複数のタブレットを Windows システムに追加する場合、追加されたタブレットではソフトウェアによって消しゴムが機能しない場合があります。最初にコントロールパネルに設置されたタブレットでは、正しく機能します。

ドライバから複数あるタブレットのうちの１つを削除するには：コントロールパネルで、削除するタブレットを選択します。「タブレット」リストのとなりにある［—］ボタンをクリックします。タブレットをドライバに再度追加するには、先にコンピュータを再起動する必要があります。ご注意ください。

オプション設定

「オプション」ダイアログボックスを表示するには、コントロールパネルで「オプション」ボタンを押します。



「サイドスイッチエキスパートモード」では、右クリックや他のクリック機能を実行する際のペンの操作方法を変えることができます。

- **「浮かした状態でのクリック」を選択した場合**：ペンをタブレット面から少し浮かせた状態でサイドスイッチをクリックします。



浮かした状態でのクリック

- **「ペン先とともにクリック」を選択した場合**：正確なクリック位置を決めることが可能です。クリック操作を行うには、サイドスイッチを押しながら、ペン先をタブレット表面にタッチさせます。



ペン先とともにクリック

「利き手の設定」では、Intuos4 マウスやレンズカーソルを右手、または左手で使えるように、ボタンの向きを変更します。

「ファンクションディスプレイの明るさ」では、接続されたすべてのタブレット上にあるタッチホイールのステータスランプや、ファンクションディスプレイの明るさを設定できます。スライダが左端にあるときは、タッチホイールのステータスランプが暗くなり、ファンクションディスプレイは消灯します。ファンクションディスプレイの最適化もご覧ください。

補足：タブレットの省電力モードでは、タッチホイールのステータスランプやファンクションディスプレイの明るさは次のように変化します。

5 分間操作無し：	低輝度
10 分間操作無し：	ファンクションディスプレイは消灯、 タッチホイールのステータスランプは低輝度
操作有り：	設定した明るさに戻る

サポートする筆圧レベルが 1024 レベルまでのグラフィックソフトウェア（Adobe CS3、Corel、Painter 9、その他のソフトウェア）を使用する場合は、「筆圧レベルの互換性」チェックボックスを必ず選択してください。これを選択しないでソフトウェアを使用すると、ペンの感度が高くなり過ぎてしまいます。

ファンクションディスプレイの最適化

ペンタブレットのファンクションディスプレイは、有機発光ダイオード(OLED)を使用しています。ディスプレイは、高度な性能を長時間維持できるように設計されていますが、長い間点灯し続けたピクセルは、明るさが低下していきます。点灯していないピクセルとの明るさの違いを最小に抑えるためには、「ファンクションディスプレイの明るさ」で、必要な最低限の明るさに設定することをお勧めします。 詳細はオプション設定をご覧ください。

補足：5 分間入力が行われない場合、ペンタブレットの消費電力機能により、ファンクションディスプレイは自動的に明るさが低下します。ペンタブレットが 10 分間操作されない場合、ディスプレイの電源はオフになります。

タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う

ソフトウェアによっては、ペンタブレットのファンクションキーまたはタッチホイール機能を直接操作するように設計されているものがあります。この処理を組み込んだソフトウェアで作業を行う場合、ファンクションキーまたはタッチホイールは、ワコムタブレットコントロールパネルで設定されている機能とは異なる動きをする場合があります。

- ファンクションキーの機能がソフトウェアによって書き換えられた場合、ファンクションディスプレイは自動的に更新され、新しい機能名か、または「アプリケーションの設定に従う」のいずれかが表示されます。ソフトウェアによっては、ファンクションキーのいくつか、またはすべてがソフトウェアにより書き換えられることがあります。
- タッチホイールの機能がソフトウェアによって書き換えられた場合、すべてのタッチホイール機能がその影響を受けます。ソフトウェアが 4 つのタッチホイール機能のうち 1 つ、2 つまたは 3 つだけ変更されると、残りの機能はスキップされます。
- ソフトウェアが実行中または画面の最前面にある場合のみ、このソフトウェアはファンクションキーあるいはタッチホイールの機能をコントロールします。そのソフトウェアを終了する（または作業するために別のソフトウェアのウィンドウ枠を選択する）と、ワコムタブレットコントロールパネルの設定は以前の状態に戻ります。
- 画面の最前面にあるソフトウェアに対して、ファンクションキーまたはタッチホイール機能の設定を確認するには、「設定内容の表示」にファンクションキーを設定してそのキーを押します。

通常、このような処理を組み込んだソフトウェアでは、ワコムのペンタブレットの使用にあたり、この機能を選択しないかまたは無効にできます。機能についての具体的な詳細、およびこの機能をカスタマイズする、または無効にする方法についてはソフトウェアで提供される取扱説明書をご覧ください。

ソフトウェア操作時に表示される説明、またはソフトウェアの取扱説明書に、この機能を無効にする方法が記載されていない場合、ワコムタブレットコントロールパネルを使って、特定のソフトウェアに対する設定を作成し、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアの動作に優先させることができます。

特定のソフトウェアに対する設定を作成するための情報については、特定のソフトウェアに対する設定をご覧ください。

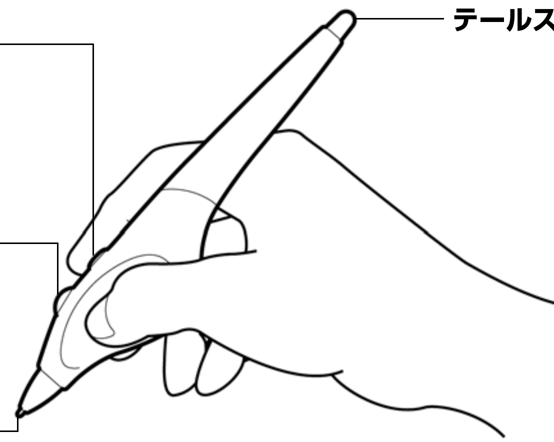
重要：特定のソフトウェアに対する設定をタブレットコントロールできる処理を組み込んだアプリケーションで作成した場合、「アプリケーションの設定に従う」をファンクションキーまたはタッチホイールに設定すると、このアプリケーションによってこれらの機能がコントロールされます。

エアブラシとアートペンを使う

オプション品の Intuos4 エアブラシはペンのように使うことができます。エアブラシにはホイールが付属しており、ホイールを使って、エアブラシの太さなどに変化を与えることができます。

ソフトウェアのサポートにより、エアブラシの写実的な描写がシミュレートできます。たとえば、エアブラシを傾けると、スプレーパターンを長くできます。ホイールを回転させると、スプレーの強さが調節でき、ペン先の筆圧により、ブラシのサイズがコントロールできます。

エアブラシを親指と中指で持ちます。人差し指で回転させやすい位置にホイールを配置します。筆圧を使用して、色を塗ったり、絵を描いたりしやすいような位置までエアブラシを傾けます。



テールスイッチ

サイドスイッチ
標準設定：

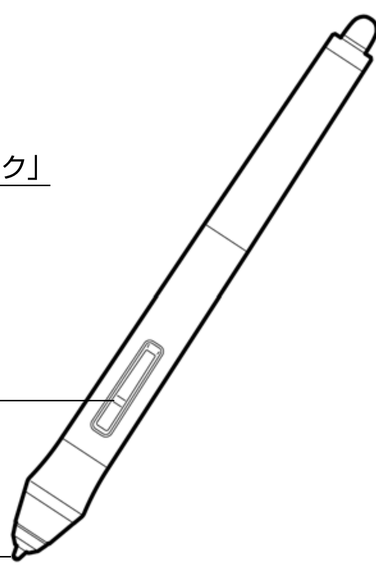
Windows:	「右クリック」
Macintosh:	「ダブルクリック」

ホイール
手前に回転させると、インクの量またはブラシのサイズが大きくなり、奥へ回転させると少なくなります。

人差し指でホイールを操作します。ホイールはペン先に適する筆圧とは無関係に操作できます。

芯は交換可能です。

オプション品の Intuos4 アートペンは、ペンに与える筆圧、傾き、回転に対応します。



テールスイッチ
回転をサポートしません

サイドスイッチ
標準設定：

上側：	「ダブルクリック」
下側：	「右クリック」

アートペンは、ペン軸 360°の回転をサポートします。回転の検出をサポートするソフトウェアで使用すると、アートペンを少し回転させるだけで、線の幅を狭くしたり太くしたりできます。

たとえば、絵を描いているとき、非円形のブラシの回転を様々に変えることにより、ストロークの線幅を変化させることができます。ソフトウェアで選択したブラシの形の特徴に応じて、カリグラフィペン、幅広のフェルト芯アートペンやその他の非円形のブラシまたはツールをシミュレートできます。

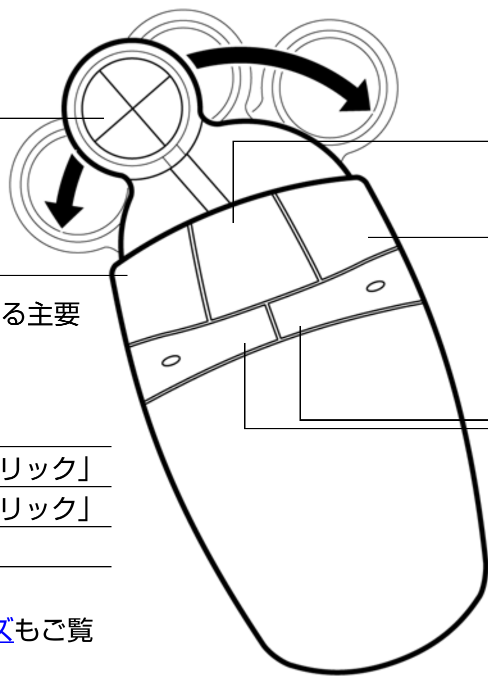
芯は交換可能です。

重要：Intuos4 エアブラシまたはアートペンを使用していないときは、机の上に横にして置いてください。入力デバイスの感度を保持するために、ペン先や消しゴムに接触するような入れ物に入れて、保管しないでください。また、タブレット上に Intuos4 ペンやマウスを置いたままにすると、通常のマウスなどを使う場合、ポインタの位置決めができない場合があります。

ワコムのホームページで、エアブラシのホイール、アートペンの回転をサポートしているソフトウェアを確認できます。

Intuos4 レンズカーソル

レンズカーソルは、正確な座標位置を入力するのに理想的なデバイスです。Intuos4 XL タブレットで使うことができます。コンピュータに操作面上の正確な位置を知らせ、グラフィックソフトウェアや CAD ソフトウェアで図面をデジタイジングするのに特に役立ちます。



レンズ
見やすい角度にレンズを回転させます。

中央ボタン
「中ボタンクリック」が実行されます。

右ボタン
コンテキストメニューが表示されます。

左ボタン
「クリック」と選択に使用される主要なボタンです。

マウスボタンの初期設定：

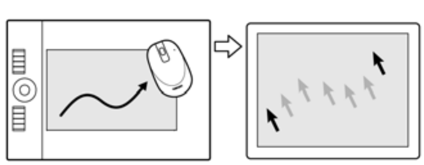
左ボタン：	「クリック」
右ボタン：	「右ボタンクリック」
中ボタン：	「中ボタンクリック」
左奥ボタン：	「戻る」
右奥ボタン：	「進む」

レンズカーソルのカスタマイズもご覧ください。

左奥／右奥ボタン
インターネットブラウザで、「戻る」機能と「進む」機能が設定されています。

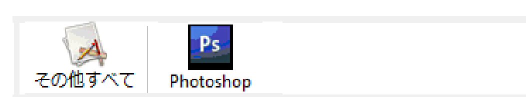
Intuos4 レンズカーソルの初期設定は「マウス」モードです。通常のマウスを使うように、画面上のポインタを移動させることができます。図面の電子化にレンズカーソルを使用する場合は、「ペン」モードに設定する必要があります。

重要：レンズカーソルを使用しない場合は、机の上に置いておきます。Intuos4 入力デバイスをタブレットの上に置いたままにすると、通常のマウスなどを使用した場合、画面上のポインタの位置決めができないことがあります。



「マウスモード」の設定

レンズカーソル、その他の Intuos4 入力デバイスのご購入については、部品と付属品の注文をご覧ください



特定のソフトウェアに対する設定

レンズカーソルのカスタマイズ

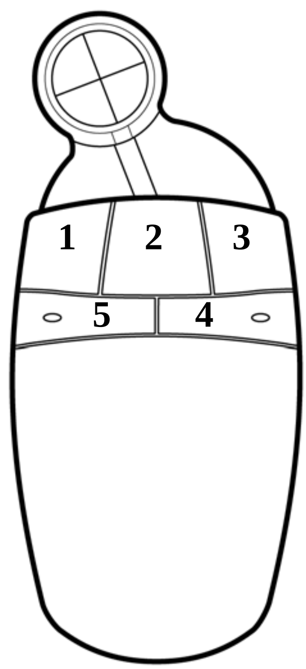
Intuos4 レンズカーソルボタンの設定を変更するには、レンズカーソルを使ってタブレットのコントロールパネルを開き、「マウス」タブを選択します。次に、各ボタンに対して実行する[ボタン機能](#)をプルダウンメニューから選択します。

レンズカーソルのボタンは、複数ボタンの同時押しが可能です。たとえば、1 つのボタンを [Ctrl] キーに、別のボタンを [Alt] キーストロークに設定した場合、両方のボタンを押すと、[Ctrl+Alt] が実行できます。

補足：左手で使用できるようにレンズカーソルを設定するには、必要に応じて、再度ボタン機能を割り当てます。

レンズカーソルの診断

1.「診断」ダイアログボックスを開いて、タブレットの入力エリアに Intuos4 レンズカーソルを置きます。各ボタンをクリックして、ボタンをテストします。タブレットのステータスランプの色が明るく点灯して、「診断」ダイアログボックスの「スイッチ」の状態がクリックした各ボタンに応じて変われば正常です。



2. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

AutoCAD での作業

Intuos4 タブレットは、Windows システムのポインティングデバイス、あるいは Wintab と互換性のあるデジタイザとして AutoCAD でサポートされています。AutoCAD の初期設定で、Intuos4 をシステムポインティングデバイスとして使用できるように設定されています。

タブレットメニューから Intuos4 を使用して、正確な縮尺で図面を電子化する場合、以下の手順に従ってください。

補足：AutoCAD あるいは類似ソフトウェアで、レンズカーソルあるいはマウスを左手で使用するように設定するには、タブレットのコントロールパネルを開いて、「オプション」をクリックし、「利き手の設定」で「左」を選択します。

Wintab と互換性のあるデジタイザに対する AutoCAD の設定
AutoCAD におけるタブレットメニューとスクリーンポインティングエリアの設定
AutoCAD での Intuos4 の位置調整

Wintab と互換性のあるデジタイザに対する AutoCAD の設定

1. AutoCAD を起動します。「ツール」メニューまたは「補助」メニューを開き、「オプション」を選択します（AutoCAD 2009 以降では、左上にある赤色の「A」の付いたボタンをクリックしてから「オプション」を選択します）。
2. 「オプション」ウィンドウから「システム」タブを選択します。
3. 「現在使用中のポインティングデバイス」で、「Wintab Compatible Digitizer」を選択します。
4. AutoCAD がどのデバイスからの入力を受けるかを決めます。「入力の受け入れ」セクションからオプションを選択します。

- **「デジタイザのみ」** AutoCAD 図面には、Intuos4 からだけ入力できます。
- **「デジタイザとマウス」** AutoCAD 図面には Intuos4 と通常のマウスの両方から入力できます。

5. 「OK」をクリックして「オプション」ウィンドウを閉じます。

AutoCAD におけるタブレットメニューとスクリーンポインティングエリアの設定

システムポインタが操作できるタブレット上の長方形のエリアがスクリーンポインティングエリアです。スクリーンポインティングエリアの中では、AutoCAD の作図エリア外にあるウィンドウやメニューやその他のソフトウェアに対して操作できます。スクリーンポインティングエリアは、固定またはフローティングのいずれにも設定可能です。

タブレットの設定を行う前は、タブレット有効エリア全体が固定スクリーンポインティングエリアに設定されています。AutoCAD ソフトウェアでは、固定スクリーンポインティングエリアのサイズを変更して、タブレット上の小さなエリアをディスプレイスクリーンにマッピングすることを推奨しています。さらにソフトウェアが提供するデフォルトタブレットメニューや行、列を選択することを薦めています。

タブレットメニューの設定後、AutoCAD は固定あるいはフローティングスクリーンポインティングエリアの設定を促します。これにより、タブレットのエリアをウィンドウズシステムのポインタとして設定できます。

固定スクリーンポインティングエリアは、タブレットモードをオンにしてAutoCADでポイントをタブレットから入力しているときは使うことができません。これはタブレットと AutoCAD の作図エリアが 1 対 1 で対応しているからです。タブレットからメニューを利用するには、フローティングスクリーンポインティングエリアを使用する必要があります。これにより、タブレット操作エリアのどこからでもメニューにアクセスして、終了したらオフに切り替えることができます。ボタンをフローティングスクリーンエリアのオンとオフを切り替えるようにも定義できます。

重要：フローティングスクリーンポインティングエリアは、メニューエリア、「タブレットモードオン」、固定スクリーンポインティングエリアより優先されます。

1. AutoCAD 図面から「ツール」メニューまたは「補助」メニューを開きます（Release13 では「Option」メニュー）。
2. 「タブレット設定」または「タブレット」、次に「メニュー領域設定」を選択します（AutoCAD 2009 以降では、コマンドプロンプトから直接「tablet cfg」と入力します）。
3. タブレットメニューエリアを定義します。AutoCAD 図面の下にコマンドウィンドウが表示されます。タブレットメニューの番号（0-4）を入力して、「Enter」を押します。メニューテンプレートを使用しない場合は「0」を入力します。メニューエリアの左上隅、左下隅、右下隅をデジタイズして「Enter」を押します。次に、列の番号を入力して「Enter」を押します。行の番号を入力して「Enter」を押します。各メニューエリアに対して繰り返します。
4. 固定スクリーンポインティングエリアを定義します。初期設定では、タブレット全体が固定スクリーンポインティングエリアです。メニューテンプレートを使用する場合、テンプレートに合うように固定スクリーンポインティングエリアを再度指定します。AutoCAD 図面画面下のコマンドウィンドウのメッセージに従ってください。
5. フローティングスクリーンポインティングエリアを定義します。それにより、画面のエリアすべてにアクセスできます。フローティングスクリーンポインティングエリアは、「タブレットモードオン」、固定スクリーンポインティンエリア、メニューエリアより優先されます。AutoCAD 図面画面下のコマンドウィンドウのメッセージに従います。

詳細は、AutoCAD のユーザーズガイドなどを参照してください。

AutoCAD での Intuos4 の位置調整

Intuos4 を使って図面をデジタル入力する場合、その図面の座標系にあわせて、Intuos4 の位置調整を行う必要があります。位置調整後は、図面上のポインティング位置が正しくデジタル入力され、図面に反映されます。

1. 図面から、「ツール」メニューを開きます。（Release13 の場合「Option」メニュー）
2. 「タブレット設定」、次に「位置合わせ」を選択します（AutoCAD 2009 以降では、コマンドプロンプトで直接「tablet cal」と入力します）。
   - 紙図面上のポイント #1 をタブレット上から入力（クリック）します。次に入力したポイントに紙図面からの xy 座標を入力します。
   - 紙図面上のポイント #2 をタブレット上から入力（クリック）します。次に入力したポイントに紙図面からの xy 座標を入力します。
   - 必要に応じて複数のポイントを電子化します。4つ以上のポイントをとった場合、AutoCAD がもっとも適切な射影変換を計算するのに予想以上に時間がかかることがあります。
3. 終了したら「Enter」を押します。

Intuos4 をデジタイザとして設定し調整した後は、Intuos4 をデジタイザとして使用するかまたは Windows システムポインタとして使用するかを「Ctrl」+「T」を使って切り替えることができます。

Windows Vista でのペンおよびデジタルインク入力機能

Microsoft Windows Vista（Home Basic を除く）では、ペン入力をサポートしています。Windows Vista（Home Basic を除く）が稼働するコンピュータと、Intuos4 を組み合わせることで Windows Vista のペン入力機能を最大限に活用できます。さらに Windows Vista、Office2007、Intuos4 を組み合わせることで、効果的な書類作成やプレゼンテーション、コミュニケーションを可能にします。

- **手書き文字認識機能**　Windows Vista の「手書き文字認識機能」は、ペンタブレットで書いた手書き文字を、素早くテキストに変換する機能。クセ字を学習する高性能な手書き認識エンジンも搭載され、書いた文字を正確に認識します。Tablet PC 入力パネルの使い方については、Windows Vista Tablet PC 入力パネルについてをご覧ください。
- **ジェスチャー機能**　タブレット上でペンを動かすだけで、コンピュータ操作を可能にする「ペンフリック」機能を備えています。上下左右斜めの 8 方向へのペンの動きにショートカットなどを設定でき、キーボードを使わずに簡単操作ができます。
- **手書きメモ作成機能**　Windows Vista の「Windows Journal」をペンタブレットで操作すれば、手書きメモや図形をファイルに直接書き込むことができます。
- **Office 2007 デジタルインク機能**　「2007 Microsoft Office system」の各ソフトウェア（Word・Excel・PowerPoint・Outlook）では、ペンタブレットを接続することで、ペンによる手書き文字や図形などを自在に書き込めるデジタルインク機能が使用できます。ファイル上での手書き校正などが可能になります。

Microsoft Windows Vista でペンを最大限に活用するには、Windows Vista トレーニングツールや Tablet PC チュートリアルなど、システム付属の資料をお読みください。Vista の「スタート」メニューで「すべてのプログラム」→「Tablet PC」→「Tablet PC ペンのトレーニング」と進むと、Tablet PC ペンのトレーニングを選択できます。

補足：描画パフォーマンスを向上させ、Windows Vista で発生する誤ったダブルクリックを最小限に抑えるために、次の回避策がペンタブレットドライバでとられています。

- Wintab API を使用するほとんどのグラフィックソフトウェアで、Windows Vista のペンフリックおよびプレスアンドホールドは、無効になります。
- Windows Vista の「ペンと入力デバイス」コントロールパネルで、ペンフリックおよびプレスアンドホールドの両方の機能を無効にして、Windows Journal や他の Windows Vista のインク機能で描画する場合、筆圧が無効になります。

Windows Vista Tablet PC 入力パネルについて

入力パネルでは、Intuos4 を使って手書きするか、画面上のキーボードでテキストを直接入力するかを設定できます。以下のいずれかの方法で入力パネルを起動できます。

- 画面のポインタがテキスト操作エリアに移動すると表示される入力パネルのアイコンをクリックします。
- 標準設定で表示画面の左端に配置されている入力パネルのタブをクリックします。
- Windows のタスクバーに配置されている「Tablet PC 入力パネル」アイコンをクリックします。アイコンが見えない場合は、タスクバーを右クリックして、「ツールバー」、「Tablet PC 入力パネル」を選択します。

入力パネルのカスタマイズは以下の手順で行います。

1. 初めに、入力パネルを開いて、メニューバーの「ツール」をクリックします。
2. 「オプション」を選択して、「入力パネルオプション」ダイアログボックスを開きます。
3. 作業しやすいように、入力パネルの設定をカスタマイズします。

Microsoft Windows Vista および Office 2007 については、システムおよび Microsoft Office に付属の資料を参照ください。

Windows Vista での活用方法については、ワコムのウェブサイト www.wacom.co.jp/vista もご覧ください。

製品仕様

Intuos4 タブレット共通の仕様

縦横比	16：10
読取分解能	200lpmm
読取精度（ペン）	+/- 0.25 mm
読取精度（マウス）	+/- 0.5 mm
読取精度（レンズカーソル）	+/-0.15mm (Intuos4 XL)
傾き検出角度 （すべてのペン）	+/- 50 ° （Intuos4 S）／ +/- 60 ° （Intuos4 M/L/XL）
読取可能高さ	10 mm
読取速度	最高 200 ポイント / 秒
ファンクションキーストローク	約 0.25 mm
インタフェース準拠規格	USB
コネクタ	Intuos4 S/M/L：USB mini-B タイプ （USB mini-B － A の USB 接続ケーブル付属） Intuos4 XL：USB A タイプ
ケーブル長さ	約 2.5m
電源電圧／消費電流	5V ／ 300 mA 以下　コンピュータの USB ポートから供給
使用環境	温度：5 ～ 40 ℃ 保管温度：-15 ～ 60 ℃ 湿度：30 ～ 80% （結露がないこと） 保管湿度：30 ～ 85%（結露がないこと）
適合規格	FCC class B, CE, VCCI Class B, Industry Canada Class B、BSMI, C-Tick, MIC, GOST-R, RoHS, Chinese RoHS

Intuos4 S (PTK-440) タブレット

読取可能範囲 （W x D）	157.5 x 98.4 mm
外形寸法 （W x D x H）	約 309 x 208 x 12 mm
質量	約 700 g

Intuos4 M (PTK-640) タブレット

読取可能範囲 （W x D）	223.5 x 139.7 mm
ファンクションディスプレイ	64 x 128 ドット (x2), 白色
外形寸法（W x D x H）	約 370 x 254 x 12 mm
質量	約 1000 g

Intuos4 L (PTK-840) タブレット

読取可能範囲 （W x D）	325.1 x 203.2 mm
ファンクションディスプレイ	64 x 128 ドット (x2), 白色
外形寸法（W x D x H）	約 474 x 320 x 14 mm
質量	約 1800g

Intuos4 XL (PTK-1240) タブレット

読取可能範囲 （W x D）	487.7 x 304.8mm
ファンクションディスプレイ	64 x 128 ドット (x2), 白色
外形寸法（W x D x H）	約 623 x 462 x 28mm
質量	約 3500g

Intuos4 グリップペン (KP-501E)

ペン先の動作ストローク	約 0.2 mm 以下
筆圧レベル	2048 レベル
消しゴムの動作ストローク	約 1.5 mm
外形寸法 (L x D)	156.5 x 14.9 mm
質量	約 18 g

Intuos4 エアブラシ (KP-400E)

ペン先の動作ストローク	0.2 mm 以下
ホイールの回転ストローク	10 mm
ホイールの回転検出レベル	約 1024 レベル
筆圧レベル	2048 レベル
消しゴムの動作ストローク	約 1.5 mm
外形寸法 (L x W x D)	162.5 x 17.5 x 32.5 mm
質量	約 23 g

エアブラシはオプション品です。

Intuos4 インクペン (KP-130)

ペン先の動作ストローク	0.2 mm 以下
筆圧レベル	2048 レベル
外形寸法 (L x D)	151.5 x 12.5 mm
質量	約 12 g

インクペンはオプション品です。

Intuos4 アートペン（KP-701E）

ペン先の動作ストローク	0.2 mm 以下
筆圧レベル	2048 レベル
消しゴムの動作ストローク	約 1.5 mm
回転機能	360 度
外形寸法 (L x D)	156.3 x 15.9 mm
質量	約 20 g

アートペンはオプション品です。

Intuos4 クラシックペン（KP-300E）

ペン先の動作ストローク	0.2 mm 以下
筆圧レベル	2048 レベル
消しゴムの動作ストローク	約 1.5 mm
外形寸法 (L x D)	150.7 x 12.2 mm
質量	約 12 g

クラシックペンはオプション品です。

Intuos4 マウス (KC-100)

外形寸法 (L x D x H)	102.9 x 61.8 x 38.6 mm
質量	約 83 g
ボタンの動作ストローク	約 1.3 mm 以下
ホイールのタイプ	回転式、1 周 24 ピッチ

マウスはオプション品です。

Intuos4 レンズカーソル（KC-210）

外形寸法 (L x D x H)	159 x 66 x 33.8 mm
質量	約 75 g
ボタンの動作ストローク	約 1.3 mm 以下

レンズカーソルはオプション品です。Intuos4 XL (PTK-1240) タブレットで使うことができます。

ワコムのタブレット製品は、欧州連合 RoHS 指令（2002/95/EC）に対応しています。

製品情報

筆圧、傾き、消しゴムなどの Intuos4 の機能をサポートするソフトウェアについてはワコムのホームページをご覧ください。http://tablet.wacom.co.jp/

部品と付属品の注文

Intuos4 はクリエイティブな仕事に携わる方に最適なデバイスです。Intuos4 グリップペンやその他のオプションデバイスを組み合わせ、イラスト作成や画像編集を行うことができます。Intuos4 グリップペンやオプションデバイスにはそれぞれ固有のデバイス ID が書き込まれ、それぞれに設定を記憶することも可能です。Intuos4 の機能を最大限に使いこなすために、以下の利用可能な部品と付属品もご覧下さい。
これらのオプションデバイスやその他部品を購入するには、ワコムのホームページをご覧下さい。
http://tablet.wacom.co.jp

利用可能な部品と付属品



Intuos4 グリップペン（KP-501E）：消しゴム機能付き筆圧ペン。筆圧と傾きを検出します。電池レスでコードレス、メンテナンスフリーで幅広い用途を持つグリップペンです。マウス操作はもちろんのこと描画作業や細かい作業に最適な Intuos4 の標準的なデバイスです。テールスイッチや２つのサイドスイッチにはショートカットやキーの割り当てが可能です。エルゴノミクスデザインで握りやすいラバーグリップが自然な描画を実現します。以下の付属品が同梱されています。ペンスタンド、標準芯（1 本）、ストローク芯（1 本）、ハードフェルト芯（1 本）、エラストマー芯（1 本）



Intuos4 マウス（KC-100）： Intuos4 マウスは電池レスでコードレスでメンテナンスフリー。5 つのボタンを備えたマウスは通常のマウス作業がタブレット上で行える理想的なマウスデバイスです。中央部には中ボタンと上下のスクロールに便利な回転ホイールが装備されており、ボタンにはそれぞれ様々なキーストロークやショートカットなどの割り当てが可能です。



Intuos4 エアブラシ（KP-400E）：Intuos4 エアブラシは筆圧検出、消しゴム機能だけでなくホイール機能を搭載したペンです。アナログのエアブラシの感覚をそのままに作業できます。以下の付属品が同梱されています。ペンスタンド、標準芯（1 本)、ストローク芯（1 本)、ハードフェルト芯（1 本)、エラストマー芯（1 本）



Intuos4 インクペン（KP-130）：インクペンは筆圧と傾きを検出します。インクペンはコンピュータ画面でも紙面でも、確かな描き心地を生み出すよう作られています。インクペンには、黒のボールペン芯と、インクを使わずに描画するための２つのポリアセタールの芯が付属しています。インクペンには筆圧を検出するペン先が備わっていますが、消しゴムとサイドスイッチはありません。以下の付属品が同梱されています。ペンスタンド、標準芯（2 本)、黒ボールペン芯（黒、3 本）

補足：インクペンを購入すると、ポリアセタールの芯が付属しています。ピンセットなどを使用して、空のペン先をペンからそっと引き抜きます。次に、インクペンに付属する銀色のボールペン芯を挿入します。ボールペン芯のペン先はワックスコートされています。インクを出しはじめる前に剥がしてください。



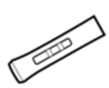
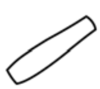
Intuos4 アートペン (KP-701E)：Intuos4 アートペンは筆圧、傾き検出と回転機能に対応したペンです。ペン軸の回転を検出することによりカリグラフィブラシやアナログのマーカーのような描写を実現します。幅広いニブを装備したペン先の書き味はアナログのマーカーそのものです。以下の付属品が同梱されています。ペンスタンド、彫刻刀型ポリアセタールニブ（2 本)、彫刻刀型フェルトニブ（2 本)、ポリアセタール芯（3本)、ハードフェルト芯（3 本）



Intuos4 クラシックペン(KP-300E)：Intuos4 グリップペンと同じ機能を持つペン軸の細いペンです。以下の付属品が同梱されています。ペンスタンド、標準芯(1 本)、ストローク芯(1 本)、ハードフェルト芯(1 本)、エラストマー芯(1 本)



Intuos4 レンズカーソル (KC-210)：Intuos4 XL タブレットでのみ使用可能です。レンズカーソルは、正確な座標位置を入力するデバイスです。図面のトレースやデジタル化、CAD 処理、ベクトル設計などの正確な座標情報の入力が必要なソフトウェアに最適です。レンズは、作業中、左から右へと使いやすい位置へ移動させることができます。

種類	型番
グリップペン、エアブラシ、クラシックペン用替え芯	
標準芯：滑らかな書き味と耐久性を兼ね備えた芯、材質ポリアセタール、5 本入り	ACK-20001
ストローク芯：組み込まれたスプリングによって芯先が約 1mm 上下する芯、材質ポリアセタール、5 本入り	ACK-20002
ハードフェルト芯：高摩擦係数でありながら耐久性も備えた芯、材質フェルト、5 本入り	ACK-20003
エラストマー芯：もっとも摩擦係数が高く弾性のある芯、材質エラストマー、5 本入り	ACK-20004
Intuos4 アートペン用芯セット（ポリアセタール芯 3 本、ハードフェルト芯 3 本、彫刻刀型ポリアセタールニブ 2 本、彫刻刀型フェルトニブ 2 本）	ACK-20006
 Intuos4 グリップペン用ラバーグリップ（標準径 / サイドスイッチ用穴有り／ 2 本入り）	ACK-30001
 Intuos4 グリップペン用ラバーグリップ（太径 / サイドスイッチ用穴無し／ 2 本入り）	ACK-30002
Intuos4 グリップペン用ラバーグリップ（標準径 / サイドスイッチ用穴無し／ 2 本入り）	ACK-30003
オーバーレイシート	
Intuos4 S 用標準マットタイプ	ACK-10011
Intuos4 M 用標準マットタイプ	ACK-10021
Intuos4 L 用標準マットタイプ	ACK-10031
Intuos4 S 用トレース用透明（マット）タイプ	ACK-10012
Intuos4 M 用トレース用透明（マット）タイプ	ACK-10022
Intuos4 L 用トレース用透明（マット）タイプ	ACK-10032
Intuos4 XL 用標準トレース用透明（マット）タイプ	ACK-10042

注文については、部品と付属品の注文をご覧ください。

オプション品は、オンラインショッピングサイト「ワコムストア」でお買い求めいただくことができます。

以下のホームページをご覧ください。
http://tablet.wacom.co.jp/store/wacomclub/

安全上のご注意

警告

タブレットや入力デバイスを子供の手の届く場所に置いたり放置したりしないでください。
ペン芯、サイドスイッチ、またはその他の可動部品は、子供が噛んだりして偶然外れ、誤って飲み込まれる場合がありますのでご注意ください。また、替え芯やペンスタンドなどの小さな部品も、取り外され誤って飲み込まれる場合がありますのでご注意ください。

高度な安全性や信頼性が要求される設備の制御システムには使用しない。
他の電子装置に影響を与えたり、他の電子装置から影響を受けて誤動作することがあります。

電子機器の使用が禁止されている場所・場合では、タブレットの電源を切ってください。
航空機内など電子機器の使用が禁止されている場所・場合では、タブレットが他の電子機器に影響を与える可能性があります。コンピュータから USB ケーブルを抜いて、タブレットの電源を切ってください。

タブレットや入力デバイスを分解しないでください。
タブレットや入力デバイスを分解、改造しないでください。発熱、発火、感電、けがなどの原因となります。製品を分解した場合は、保証の対象外となります。

ケーブルの傷などにご注意ください。
タブレットのケーブルが破れていたり、傷が付いていたりした場合は、故障、感電、火災の原因となることがあります。使用をやめて販売店またはワコムのカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

本製品に水や液体をこぼさないでください。
タブレットや入力デバイスに液体をこぼさないようご注意ください。故障や感電の原因となります。水や液体をこぼしたときは、USB ケーブルを外してください。電源ケーブルがある場合は、電源ケーブルをコンセントから抜きます。コンピュータを終了し、タブレットとコンピュータをつなぐケーブルをすべて外してください。使用をやめて販売店またはワコムのカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

USB ポートやその他の開口部に異物を入れないでください。
USB ポートやその他の開口部に金属片や異物が入ると、故障や発熱、感電の原因となることがあります。

注意

傾いた場所や台の上に本製品を置いたり、使用したりしないでください。
ぐらついた場所や傾いた場所、振動する台の上などに本製品を置かないでください。落下して故障やけがの原因となります。

タブレットを拭くときは、USB ケーブルをコンピュータとタブレットから抜いて本機の電源を切ってください。
コンピュータに接続したままタブレットを拭くと、感電の原因となることがあります。

■不安定な場所には置かない

ぐらついたり傾いたりした場所、また振動の激しい場所に本製品を置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因になります。

■重いものを置かない

本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。故障の原因となることがあります。

■お手入れのときは USB コネクタを取り外す

お手入れのときは、USB コネクタをコンピュータの USB ポートから取り外してください。感電の原因となることがあります。

■温度が高すぎる場所や低すぎる場所に置かない

暑い場所（40° 以上）や寒い場所（5° 以下）に本製品を置かないでください。また、温度変化の激しい場所に置かないでください。本体や部品に悪影響を与え、故障の原因になります。

■アルコール、ベンゼン、アセトンなどの有機溶剤でタブレットやペンを拭かない

ヒビ割れが生じる場合があります。

■タブレットやペンを落下させない

故障の原因になります。

■ケーブルを持ってタブレットを持ち上げたり、引っ張ったりしない

故障の原因になります。

■雷が近くに来ているときは使用を控え、電源を抜く

落雷により、故障、感電、火災の原因になります。

ペン、タブレットに関するその他の注意：

- ペン芯や消しゴム、サイドスイッチに過度に力を加えないでください。ペン芯の寿命を縮めたり、故障の原因となります。
- ゆがんだり、曲がったペン芯を使用すると、ペンが正しく動作しないことがあります。ペンを使用するときは過度な筆圧をかけないでください。
- ワコム製品以外のペン芯を使用すると、故障の原因となります。
- 使用中に金属物を本製品の上に置かないでください。障害、不具合、故障の原因となります。
- 付属の Intuos4 グリップペンで硬いものを叩かないでください。故障の原因になります。
- ペン先、テールスイッチおよびサイドスイッチに無理な力を加えないでください。ペンの寿命が短くなったり、故障の原因になります。
- ペン先、テールスイッチおよびサイドスイッチが押された状態で、保管しないでください。故障の原因になります。
- ペンに磁石や磁気を近づけないようにしてください。誤動作する場合があります。

用語

画面のポインタ：表示画面のポインタ。ポインタは、起動しているソフトウェアにより、I 型ポインタ、矢印、あるいはボックスなど様々な形に変わります。

傾き感度：デバイスが傾く角度を読み取るペン先と消しゴムの特性。これは、傾き対応のソフトウェアで、ペン、ブラシ、消しゴムの自然な感じのストロークを作成するのに役立ちます。

クイックポイント：クイックポイントオプションは、タブレットを２つの独立した領域に分割します。描画のための大きな領域と、メニューを選択したり、機能を実行するクイックナビゲーションのための小さな領域です。

クリック圧：クリックする時、ペン先にかかる力の大きさ。

消しゴム対応ソフトウェア： Intuos4の消しゴムがサポートされているソフトウェア。ソフトウェアによっては、テールスイッチ（消しゴム）を別の機能に使うことができます。

修飾キー：Windows では［Shift］、［Alt］、［Ctrl］キー、Macintosh では、［shift］、［control］、［command］、［option］キーの修飾キーがあります。Intuos4 デバイスは、修飾キーをシミュレートするようにカスタマイズできます。

縦横比：タブレット、またはディスプレイ画面の縦と横の比率。

芯：ペン先で交換が可能な部分。

操作エリア：Intuos4 デバイスが検出されるタブレットの描画領域。

タッチホイール：タブレット上にある、カスタマイズ可能なリング状の装置です。

ダブルクリックアシスト：ダブルクリック距離の大きさを設定することにより、ダブルクリックを簡単にするコントロールパネルの機能。

ダブルクリック距離： ペン先でダブルクリックするときに、2回目のクリックがずれてもよい距離を画面のドット数で表します。ダブルクリック距離を大きくすると、ペン先でダブルクリックしやすくなりますが、グラフィックソフトウェアによっては、線の引き始めにポインタがダブルクリック距離の外へ出るまで線が現れないことがあります。

ダブルクリック速度： ダブルクリックの１回目と２回目のクリックの間隔の設定。遅くするとペン先でダブルクリックしやすくなりますが、グラフィックソフトウェアによっては、線の引き始めに「ダブルクリックの速度」で設定されている時間が過ぎるまで線が現れないことがあります。

デジタルインク：コンピュータへのペン入力で作成した手書きコンテンツの総称。この手書きコンテンツには、画像、インクマークアップ、手書きがあります。手書きコンテンツは、キーボード入力したテキストに変換するか、手書きのままで使用できます。システムおよびソフトウェアを設定すると、デジタルインクによる手書きのテキストを書き終わった文字からすぐに変換することも、最後にまとめて変換することもできます。

デバイス ID：Intuos4 入力デバイスひとつひとつに書き込まれている ID。ペンのタイプを認識するだけでなく、２つの同タイプのペンで作業する場合も、各入力デバイスがタブレットにより個別に認識されます。これは、ペンをカスタマイズする場合に特に役立ちます。

特定のソフトウェアに対する設定：ソフトウェアごとに Intuos4 デバイスとタブレットの設定をカスタマイズします。コントロールパネルを使って、目的のソフトウェアで特別に機能するようにカスタマイズします。特定のソフトウェアに対する設定は、設定したソフトウェアを使用すると必ず実行されます。特定のソフトウェアに対する設定をご覧ください。

ピクセル：ディスプレイ画面上の最小の測定単位。

筆圧対応：筆圧の荷重を読み取るペン先と消しゴムの特性。これは、筆圧対応のソフトウェアで、ペン、ブラシ、消しゴムの自然な感じのストロークを作成するのに使用されます。

筆圧対応ソフトウェア：筆圧をサポートするソフトウェア。

ファンクションキー：タブレット上にあるカスタマイズ可能なキーです。

ファンクションキーを左側：「タブレットの向き」の設定。タッチホイールとファンクションキーがタブレットの左側になります。

ファンクションキーを右側：「タブレットの向き」の設定。タッチホイールとファンクションキーがタブレットの右側になります。

ペンモード：ポインタの位置決めの方法。Intuos4 デバイスをタブレット上に置くと、画面のポインタが画面上の対応点にジャンプします。これは絶対的位置決めと言われ、すべての Intuos4 ペンの標準設定です。ペンモードでは、先に画面上でポインタを確認してデスクトップ上で動かさなくても、ポインタの位置を決められます。マウスモードもご覧ください。

ホイール： Intuos4 マウスとオプション品のエアブラシのコントロールホイール。

Intuos4 マウスの加速：デバイスがマウスモードのとき、ポインタの加速を調節できます。

マウスモード：ポインタの位置決めの方法。Intuos4 デバイスをタブレット上に置くと、ポインタは、従来のマウスと同様に動いた方向と距離に応じて移動します。
これは相対的な位置決めと言われ、Intuos4 マウスと Intuos4 レンズカーソルの標準設定です。ペンモードもご覧ください。

マウス速度：Intuos4 デバイスがマウスモードのとき、ポインタのスピードを調節できます。

マッピング：タブレット上の Intuos4 デバイスの位置とディスプレイ画面上のポインタの位置との関係。

マッピング画面切り替え：マルチディスプレイ全体、または 1 つのディスプレイを使って作業できます。システムがマルチディスプレイで構成されている場合にお使いになれます。詳細についてはマッピング画面切り替えを使うをご覧ください。

有機発光ダイオード（OLED)：有機発光ダイオード（OLED) は半導体ポリマーを材料とします。OLED はバックライトを必要としないため消費電力が小さく、LCD パネルに較べて大幅に薄くすることができます。

読み取り高さ：Intuos4 デバイスが検出されるタブレットの操作エリアからの高さ。ポインタの移動 もご覧ください。

ラジアルメニュー：円型の階層メニュー。各階層のメニューは 8 つの項目から構成され、オプション機能を設定できます。メニューを表示するために、サイドスイッチに機能を割り当てる必要があります。

Tablet PC 入力パネル：Microsoft Windows Vista Tablet PC 入力パネルで、Intuos4 ペンを使って手書きメモを作成したり、画面上のキーボードを使って文字入力を行うことができます。手書き文字が、入力パネルでテキストに変換されます。Tablet PC 入力パネルから入力した文字を文書や表計算、イラストに 挿入できます。Windows Vista でのペンおよびデジタルインク入力機能をご覧ください。

USB：Universal Serial Bus。コンピュータの周辺装置を接続するためのハードウェアインタフェースの基準。USB ポートはホットプラグをサポートし、これにより、コンピュータの電源を切らなくても USB デバイスの取り外しができます。

Windows Journal：紙のメモ帳の電子版だが、デジタルノートだけの特長も備えた Microsoft Windows ソフトウェア。たとえば、簡単に描画や手書きのメモを作成して、テキストに変換した後、デジタルデータとしてほかの人たちに送ることができます。Windows Journal には、様々な Intuos4 ペンの消しゴムで動作する消しゴム機能が備えられています。Windows Journal では、手書きのコンテンツも検索できます。

Wintab：タブレットの情報を受け取る Windows ソフトウェアによって使用されるインタフェースの基準。Intuos4 は、Windows 環境で Wintab と互換性のあるソフトウェアをすべてサポートします。

索　引

このページを印刷してご利用ください（「お問い合わせ」または「修理依頼」に○をつけてください）。太枠内を記入してください。

◯ お問い合わせ
◯ 修理依頼

FAX 送付先 ：03-5309-1514

受付 No.

発信	年 月 日

お客さま	フリガナ		会社名（学校名）・所属部署	
	氏名			
	使用場所	会社（学校）・自宅	連絡先	会社（学校）・自宅
	住所	〒 ※修理のご依頼の場合は、修理完了品の返送先をご記入ください。 E-mail：		
	TEL	（ ）	FAX	（ ）

タブレット	型式		PTK-440, 640, 840, 1240	シリアル番号	
	タブレットドライバ		バージョン：		
	購入年月日		年 月 日		
使用環境	使用コンピュータ		メーカー：	機種名：	
			モデム内蔵 Yes ・No	使用 OS	（バージョン： ）
	使用アプリケーション		（バージョン： ）		
	周辺機器など	種類	メーカー	機種名	接続ポート
		他の USB 機器			
		USB ハブ			
		ディスプレイ			
		ビデオカード			
		その他			
内容	現象発生日		年 月 日		
	現象発生頻度		常時・ときどき（システム起動時・使用中・その他： ）		

ここに記入されたお客さまの個人情報は、お客さまへのサポート、および修理品の返却のみに利用し、それ以外に利用することはありません。

WACOM INTERNATIONAL OFFICES

株式会社ワコム

〒 164-0012
東京都中野区本町 1-32-2 ハーモニータワー 21 階
インターネット：
http://www.wacom.co.jp
カスタマーサポートセンター
電話：0570-05-6000
受付時間　平日 9:00 ～ 20:00
土曜 10:00 ～ 17:00

Wacom Co., Ltd.

Asia Pacific Marketing and Sales Division
Harmony Tower 18F, 1-32-2 Hon Cho,
Nakano-Ku, Tokyo 164-0012
Japan
Telephone: +81.3.5309.1513
Fax: +81.3.5309.1514

Wacom Technology Corporation

1311 S.E. Cardinal Court
Vancouver, WA 98683
U.S.A.
Telephone: +1.360.896.9833
Fax: +1.360.896.9724

Wacom Europe GmbH

Europark Fichtenhain A9
47807 Krefeld
Germany
Telephone: +49.(0)2151.361.444
Fax: +49.(0)2151.3614.111

Wacom China Corporation

Unit 2807, 28th Floor, Capital SK Tower
No 6 Jia, Jianguomenwai Avenue,
Beijing, 100022, China
Internet: http://www.wacom.com.cn

Wacom Digital Solutions Co., Ltd.

Gangnam Telepia B/D 9th Fl, 662-18
Yeoksam-dong, Gangnam-gu, Seoul, 135-080
Korea
Telephone: +82.2.557.3894
Fax: +82.2.557.3895

Wacom Australia Pty. Ltd.

Unit 8, Stage 1
Cumberland Green
2-8 South Street, Rydalmere
NSW 2116 Australia
Telephone: +61.2.9422.6700
Fax: +61.2.9420.2272

Wacom Singapore Pte. Ltd.

3 Bishan Place,
CPF Bishan Building #06-08
Singapore 579838
Telephone: +65.6258.8640
Fax: +65.6258.8697

Wacom Taiwan Information Co., Ltd.

Suite 605, 6th floor, No. 205 Tun-Hwa North Road
Taipei, 105 Taiwan
Telephone: +886.2.2712.2675
Fax: +886.2.2712.9789